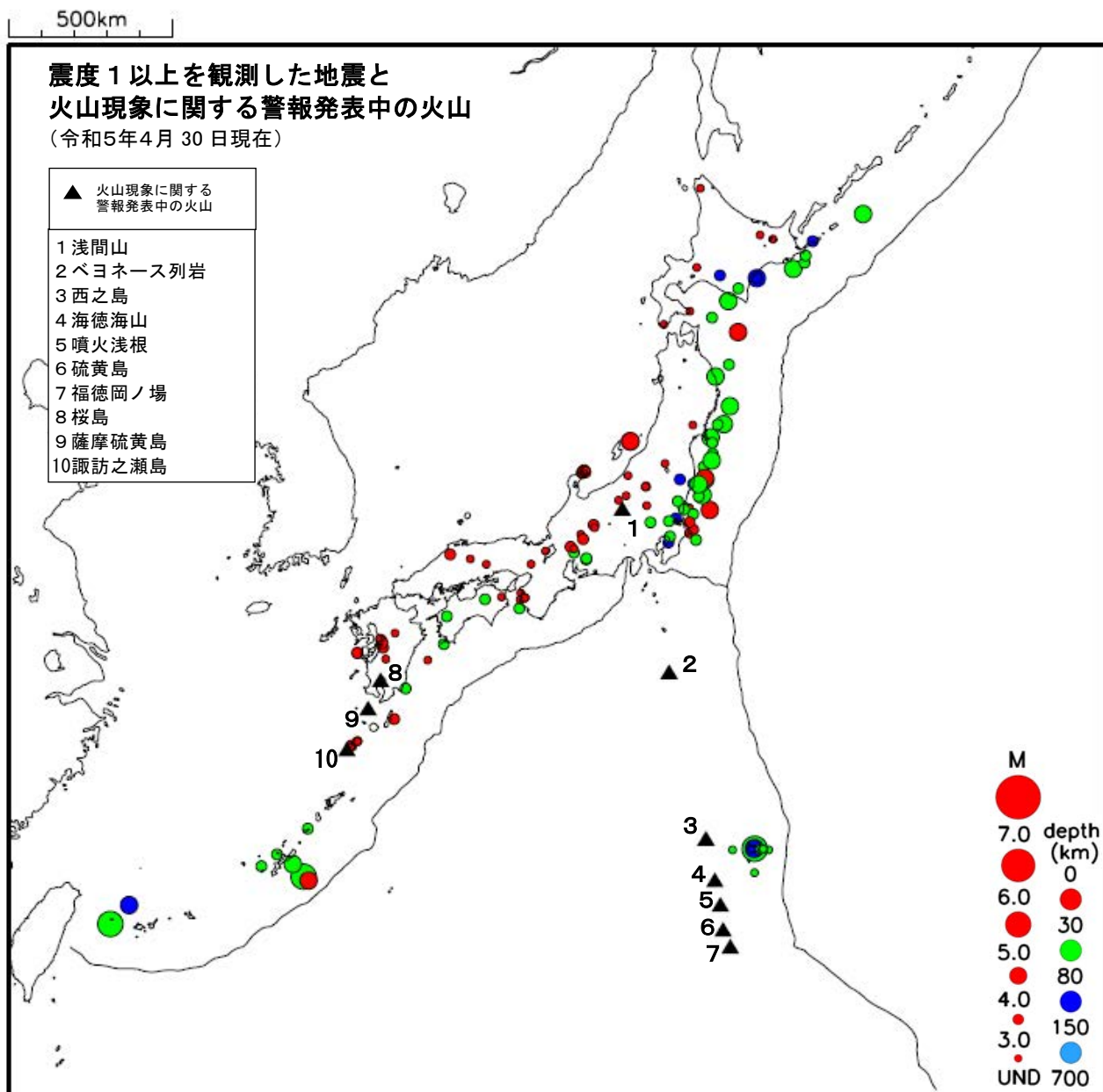


令和5年4月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

April 2023



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和5年5月7日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和5年5月7日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	6
関東・中部地方の地震活動	8
近畿・中国・四国地方の地震活動	10
九州地方の地震活動	11
沖縄地方の地震活動	12
その他の地域の地震活動	15
● 南海トラフ周辺の地殻活動	17
● 日本の主な火山活動	20
北海道地方の火山活動	31
東北地方の火山活動	33
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	35
近畿・中国・四国地方の火山活動	39
九州地方の火山活動	40
沖縄地方の火山活動	44
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	45
● 世界の主な地震	46
● 世界の主な火山活動	51
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	52
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	67
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	68
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	69
5. 緊急地震速報の提供状況	70

● 日本及びその周辺での主な地震活動

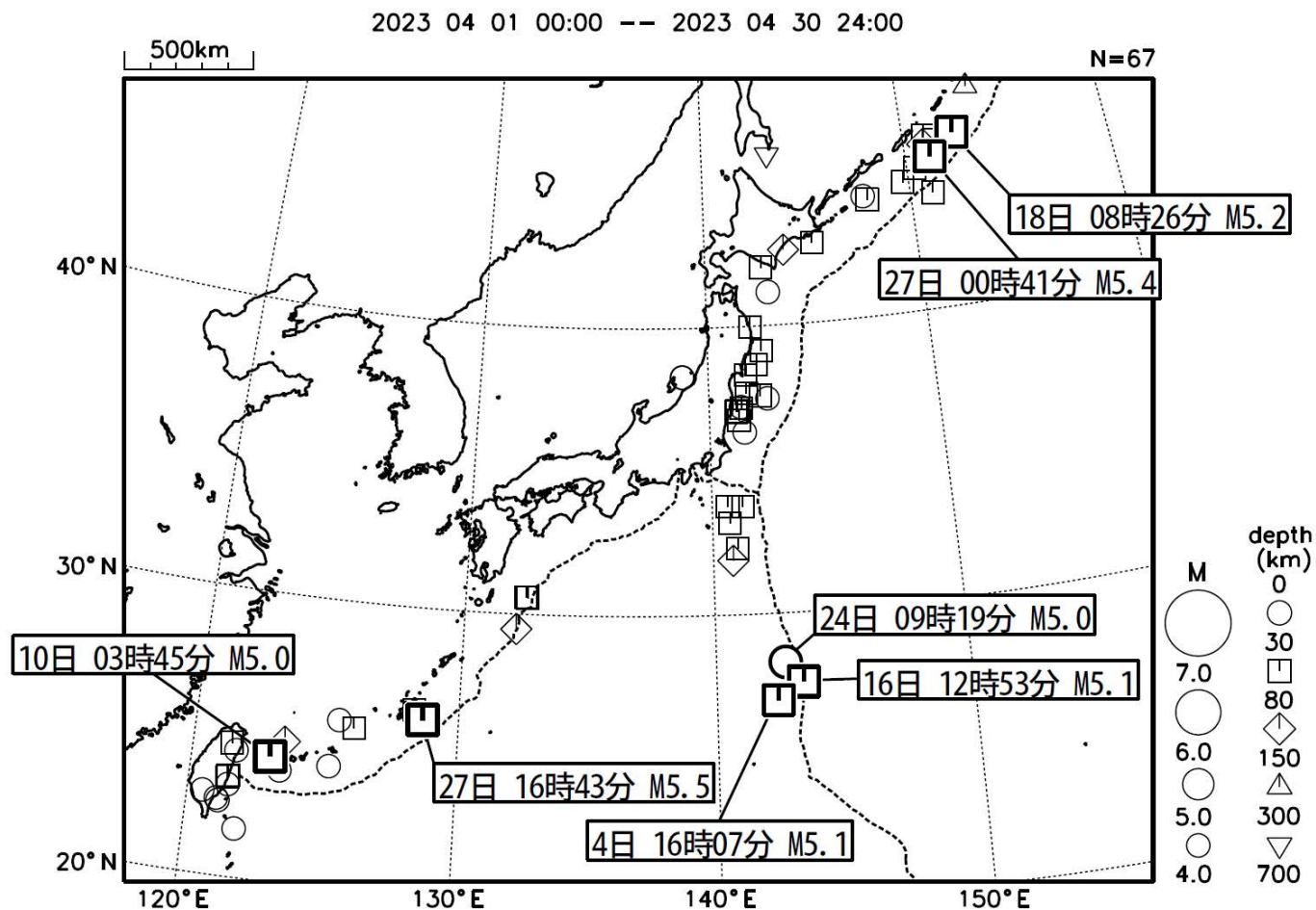


図1 令和5年4月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

令和5年（2023年）4月に日本国内で震度4以上を観測した地震は2回（3月は4回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は67回（3月は89回）であった（図1）。

4月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。4月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（3月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和5年4月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	4 10 3 45	与那国島近海	5.0	4.9	・ ・ ・ ・	3：沖縄県 与那国町役場＊	13
2	4 17 2 25	福島県沖	4.8	4.6	・ ・ S ・	4：福島県 檜葉町北田＊ 大熊町大川原＊	4、7
3		石川県能登地方 の地震活動			・ ・ ・ ・	2020年12月から続く石川県能登地方の 地震活動 4月中に震度1以上を観測する地震が 10回（震度3：1回、震度2：1回、 震度1：8回）（注7）	9
4		父島近海の地震 活動			・ ・ S ・	3月31日から4月30日までに震度1以 上を観測する地震が20回（震度4：1 回、震度3：2回、震度2：2回、震 度1：15回）	4、16
5		沖縄本島近海の 地震活動			・ ・ ・ ・	4月27日から5月7日までに震度1以 上を観測する地震が8回（震度2：3 回、震度1：5回） 津波予報（若干の海面変動）を発表	14

（注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度3、④海域 M5.0 以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

（注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

（注4）M_w欄の「－」はM_wが求められていないことを示す。

（注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注7）能登半島沖で発生した地震を3回含む。

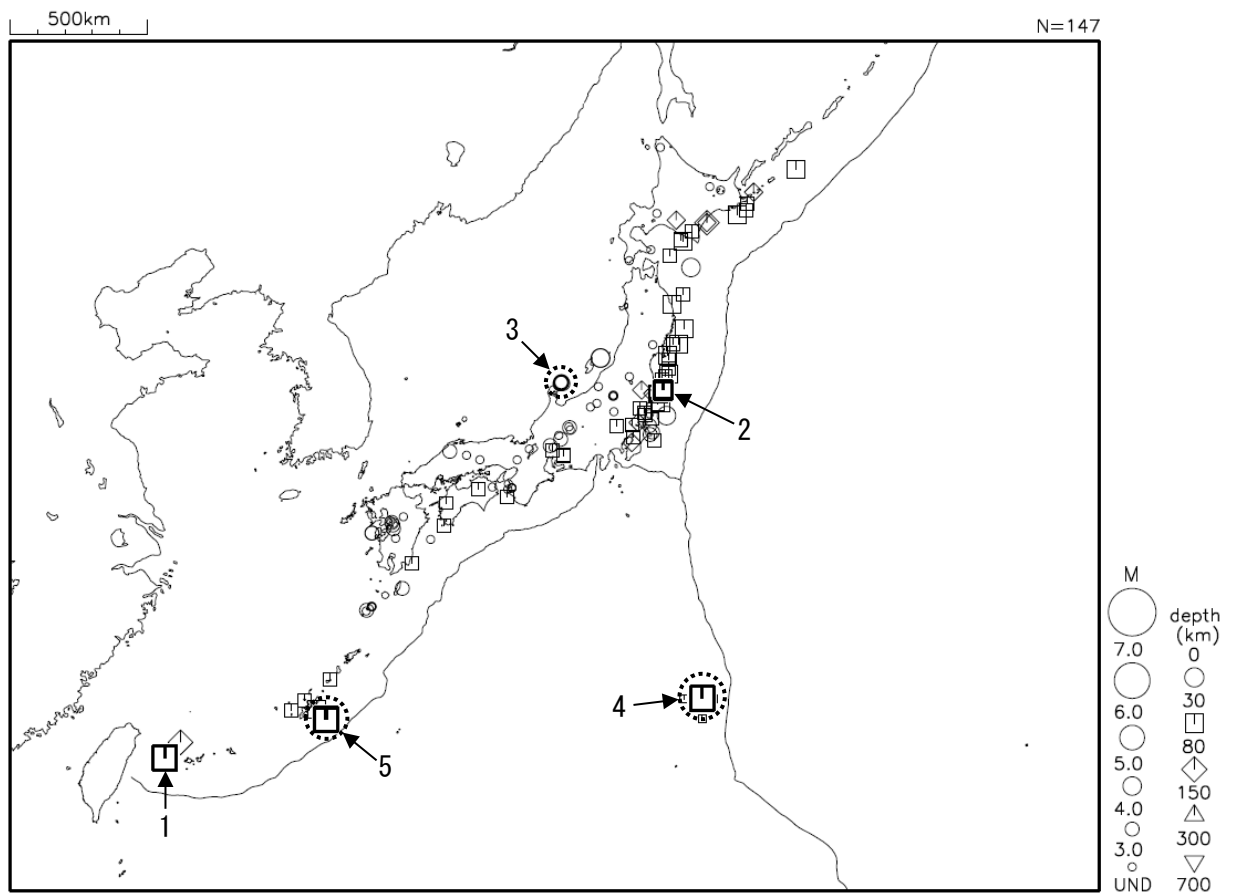


図2 令和5年4月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

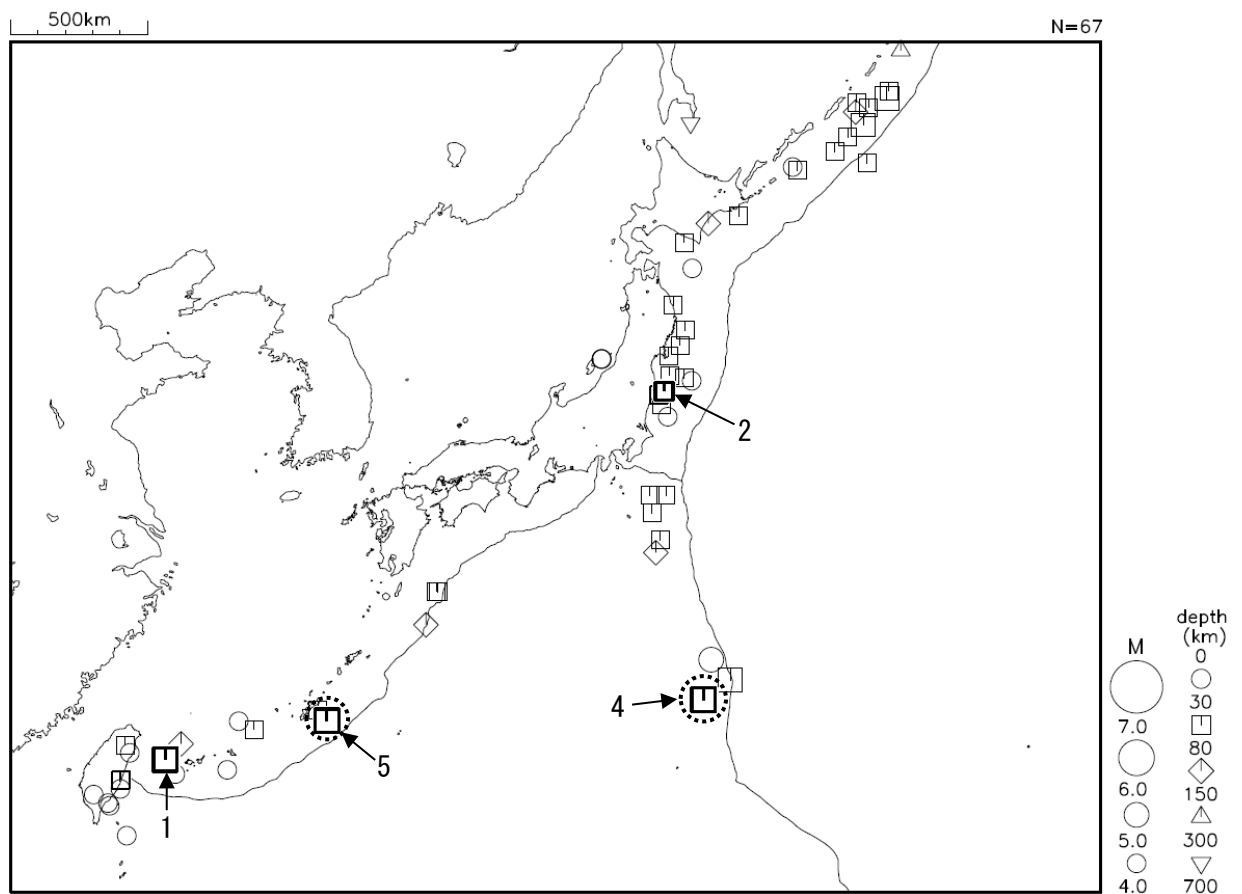
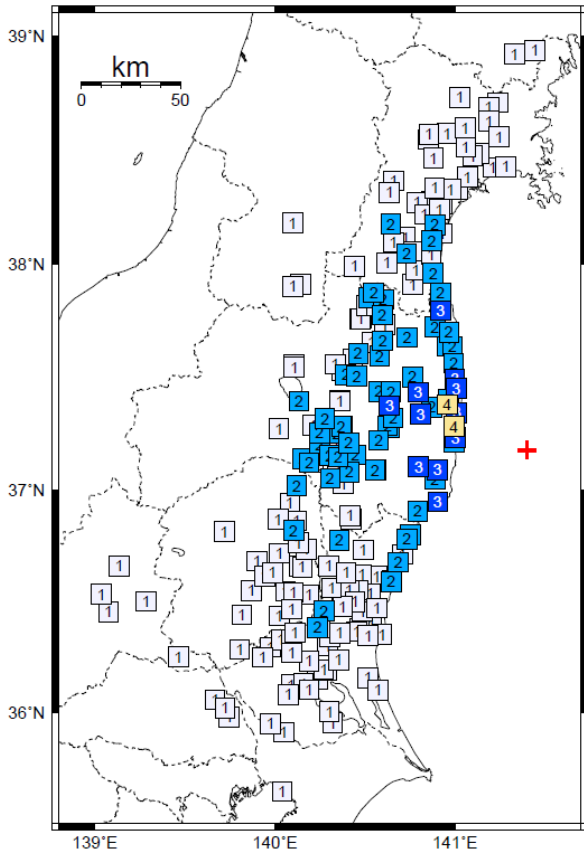


図3 令和5年4月に発生した M4.0 以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

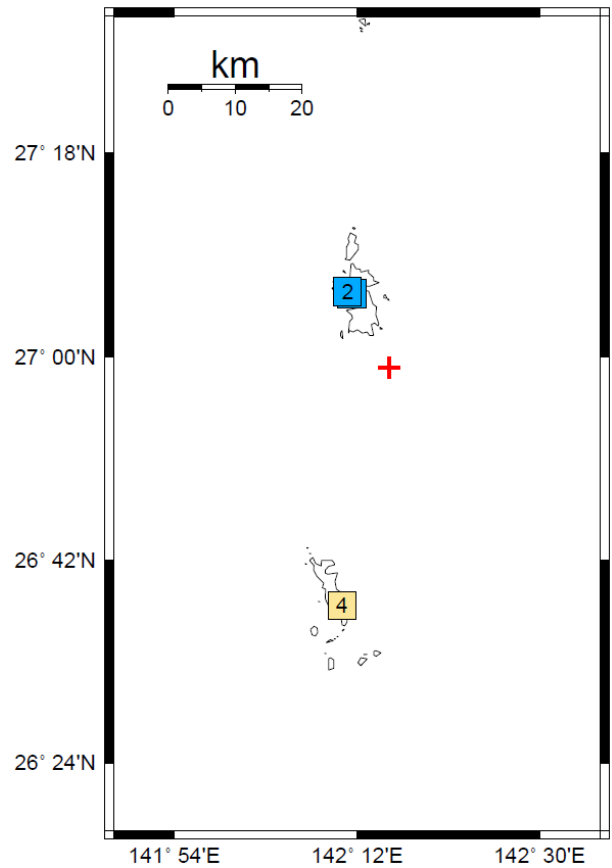
2

4月17日02時25分 福島県沖
(M4.8、深さ46km、最大震度4)



4

4月21日16時19分 父島近海
(M不明、最大震度4)



震度分布図
凡例

- 4 震度4
- 3 震度3
- 2 震度2
- 1 震度1

図4 震度分布図

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

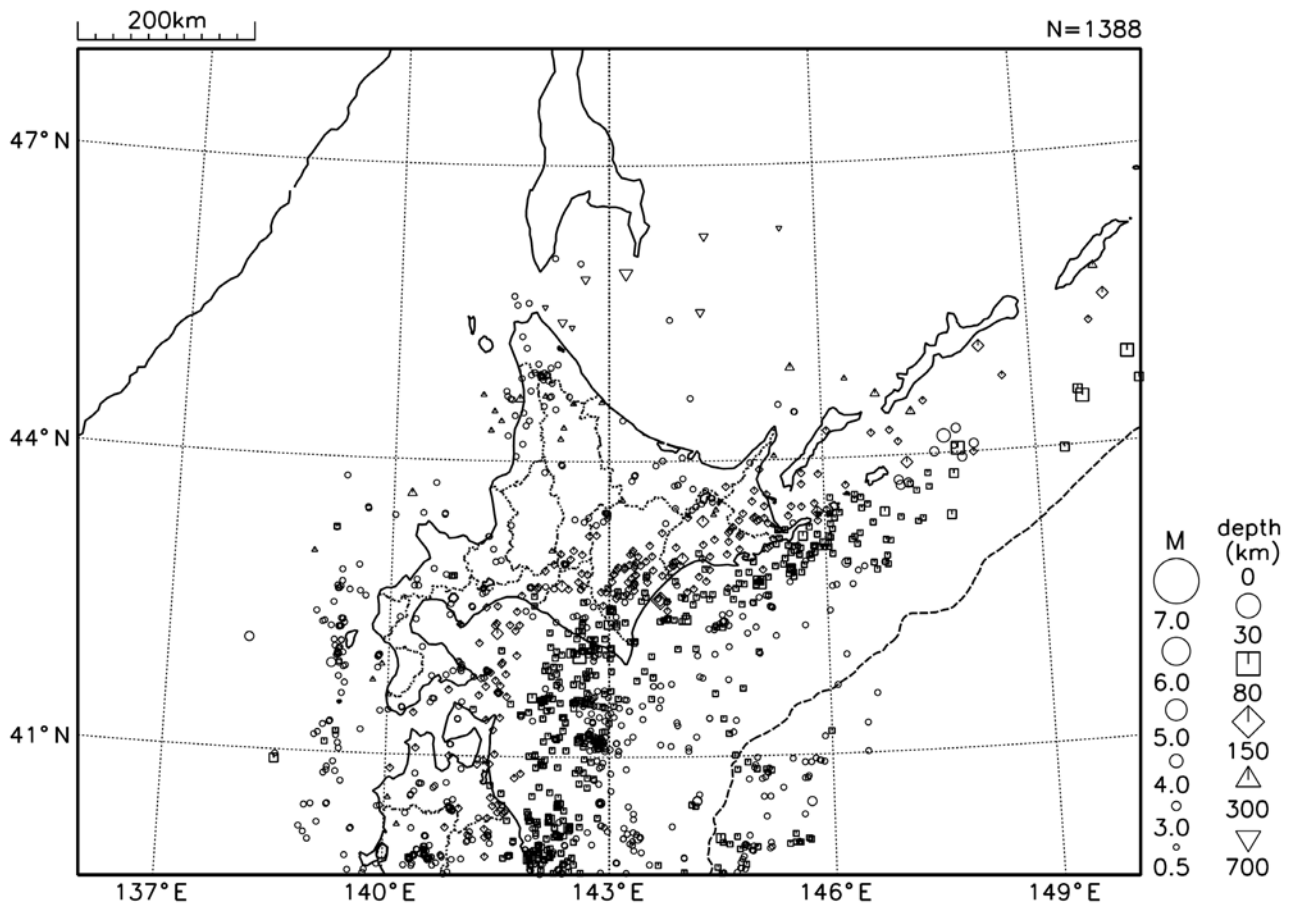


図5 北海道地方の震央分布図（2023年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

4月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は19回（3月は11回）であった。
4月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

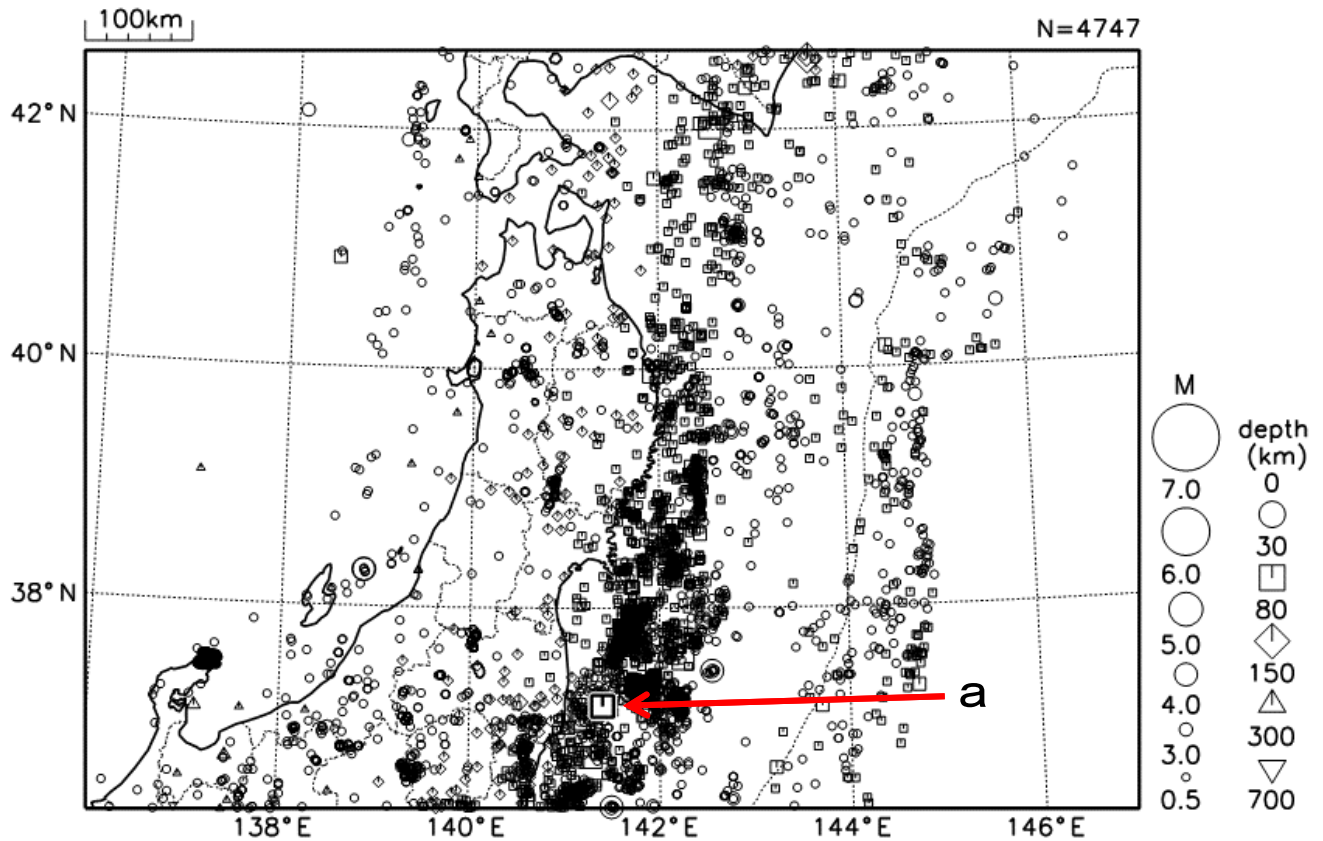


図6 東北地方の震央分布図（2023年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

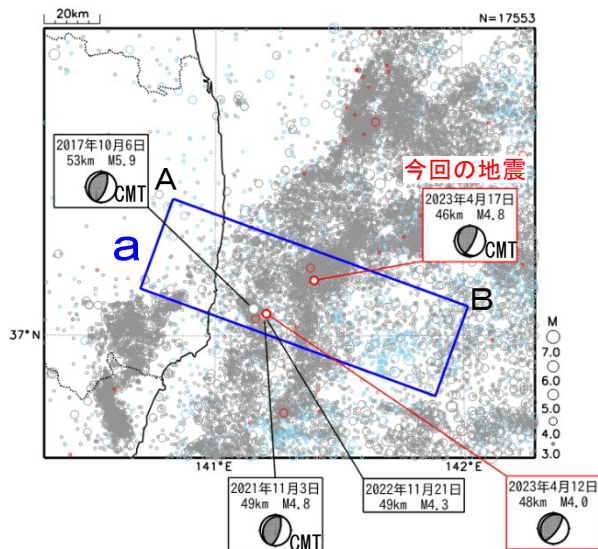
4月に東北地方で震度1以上を観測した地震は31回（3月は30回）であった。
4月中の主な活動は次の通りである。

17日02時25分に福島県沖の深さ46kmでM4.8の地震（図6中のa）が発生し、福島県檜葉町及び大熊町で震度4を観測したほか、東北地方及び関東地方で震度3～1を観測した（p.4、7参照）。

4月17日 福島県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年4月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2023年4月に発生した地震を**赤色**で表示

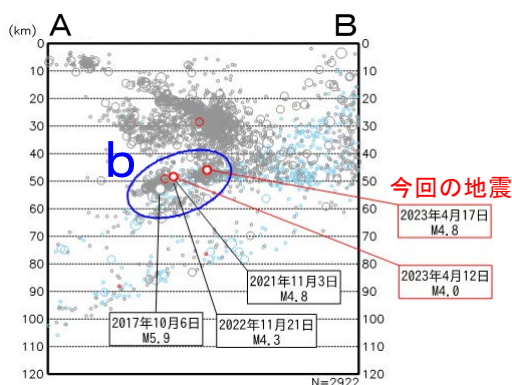


2023年4月17日02時25分に福島県沖の深さ46kmでM4.8の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

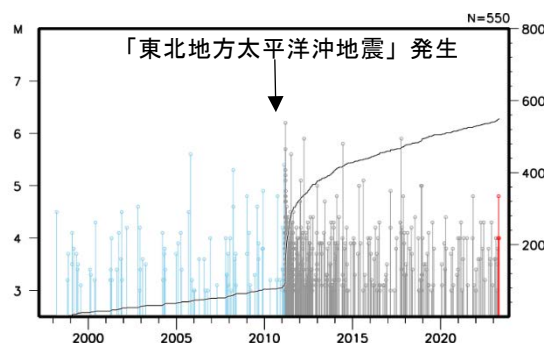
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) の発生以前はM5.0以上の地震が時々発生していた。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では「東北地方太平洋沖地震」の発生前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震 (最大震度5) が発生し、宮城県花巻で113cm (全振幅) の津波を観測した。

領域a内の断面図 (A-B投影)



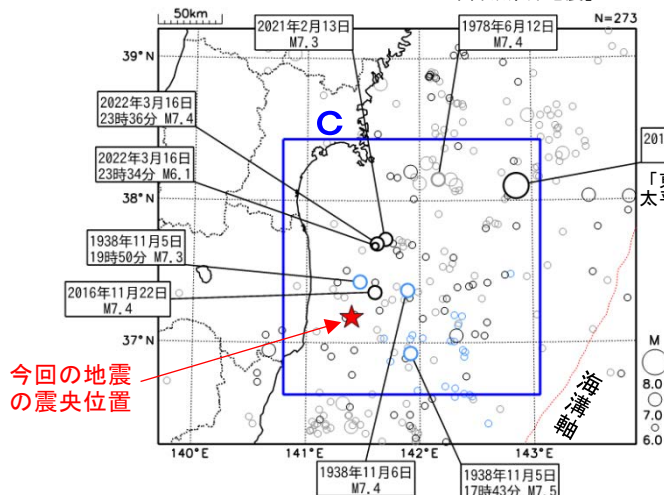
領域b内のM-T図及び回数積算図



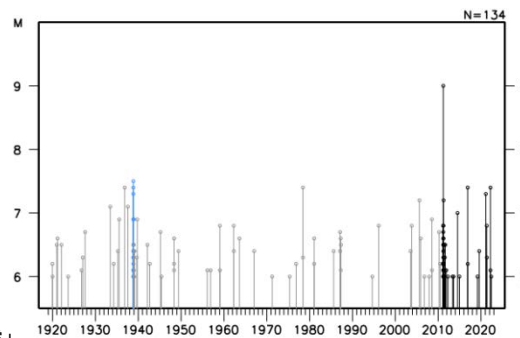
震央分布図

(1919年1月1日～2023年4月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)
1938年11月5日～1938年11月30日の地震を**水色**、
2011年3月10日以前に発生した地震を**灰色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**黒色**で表示

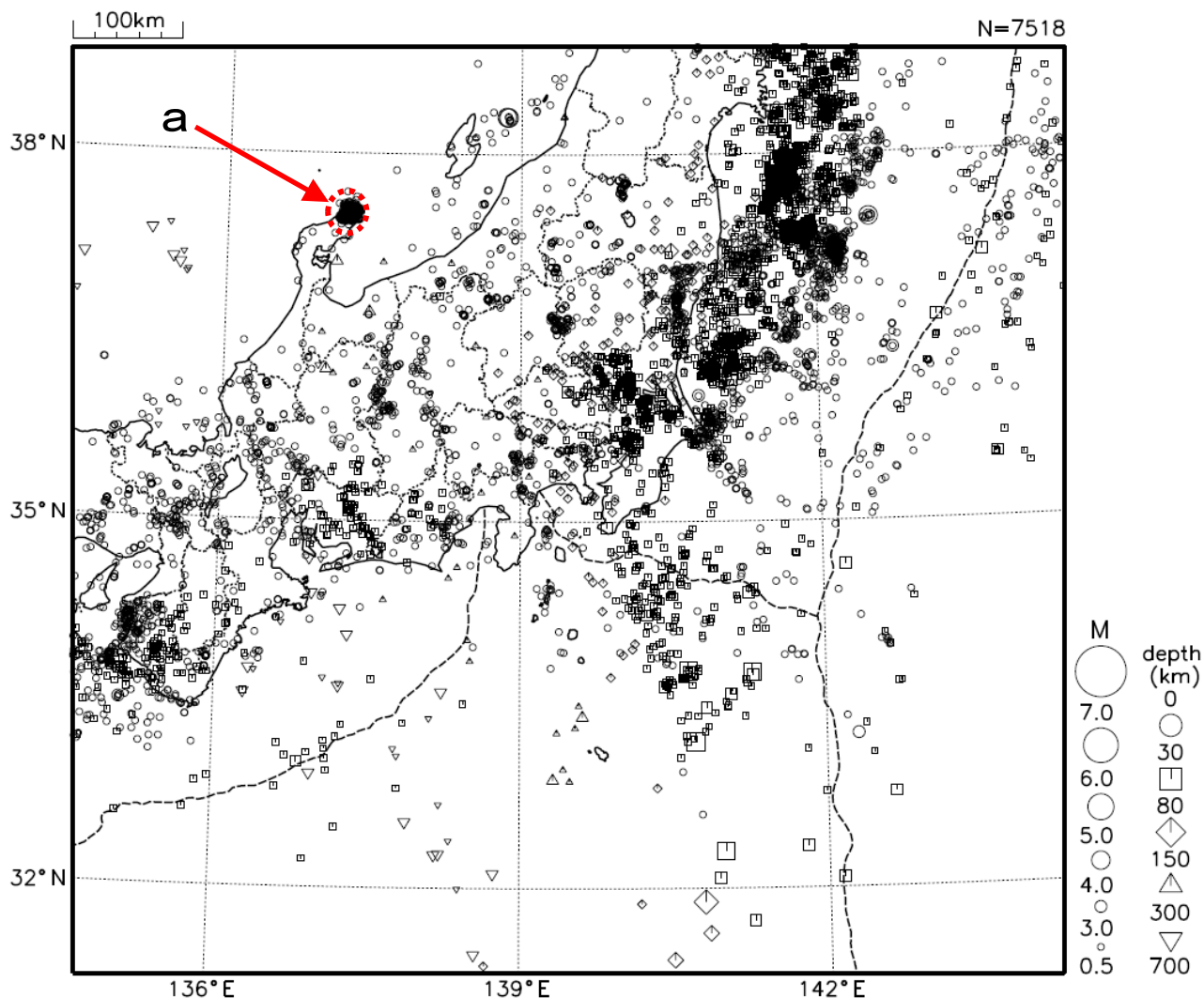
「1978年宮城県沖地震」



領域c内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

図7 関東・中部地方の震央分布図（2023年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

4月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は67回（3月は62回）であった。4月中の主な活動は次のとおりである。

石川県能登地方では、4月中に震度1以上を観測した地震が10回（震度3：1回、震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震を3回含む）発生した（図7中のa）。このうち最大規模の地震は、6日19時07分に深さ13kmで発生したM3.3の地震で、石川県珠洲市で震度1を観測した。（p.9参照）。

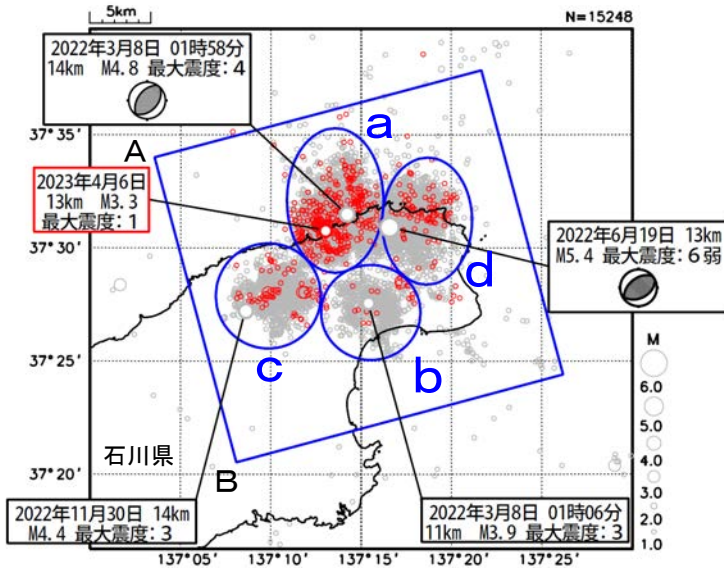
石川県能登地方の地震活動

震央分布図

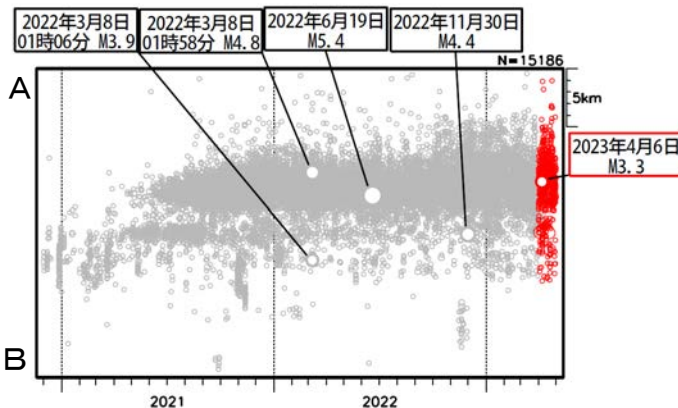
(2020年12月1日～2023年4月30日、
深さ0～25km、 $M \geq 1.0$)

2023年4月の地震を赤色で表示

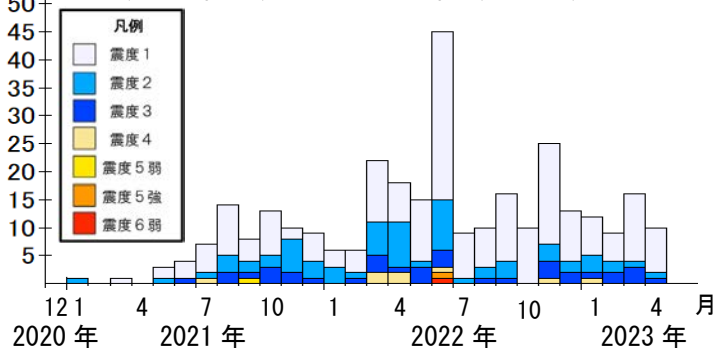
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震
 - ・ 赤色の吹き出し：矩形内で2023年4月中の最大規模の地震
- 図中の発震機構はCMT解



上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



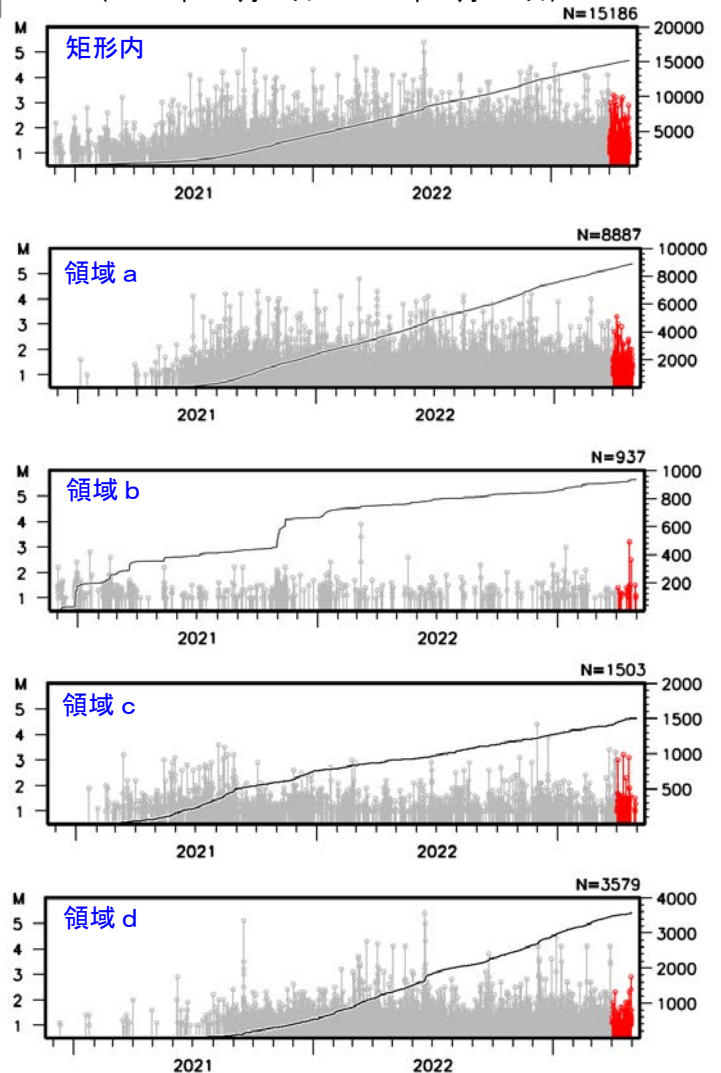
矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2023年4月30日)



石川県能登地方 (矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年4月中も活発な状態が継続している。2023年4月中の最大規模の地震は、6日に発生したM3.3の地震 (最大震度1) である。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2022年6月19日に発生したM5.4の地震 (最大震度6弱) である。

矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

左図矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2023年4月30日)



期間別・震度別の地震発生回数表

期間	最大震度別回数							計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	
2020年12月1日 ～2023年3月31日	193	64	34	8	1	1	1	302
2023年4月1日～30日	8	1	1	0	0	0	0	10
計	201	65	35	8	1	1	1	312

○近畿・中国・四国地方の地震活動

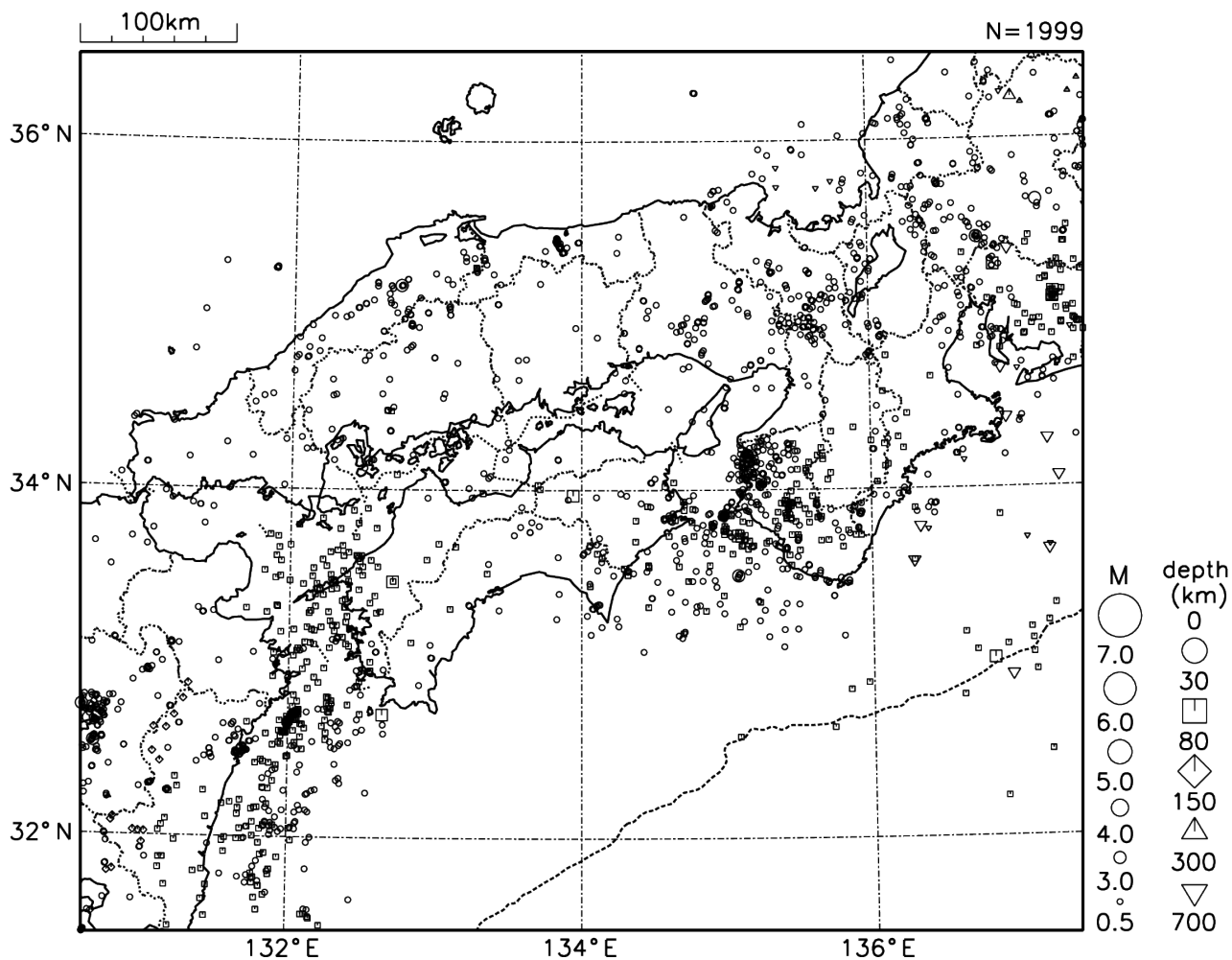


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2023年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

4月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は16回（3月は11回）であった。
4月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

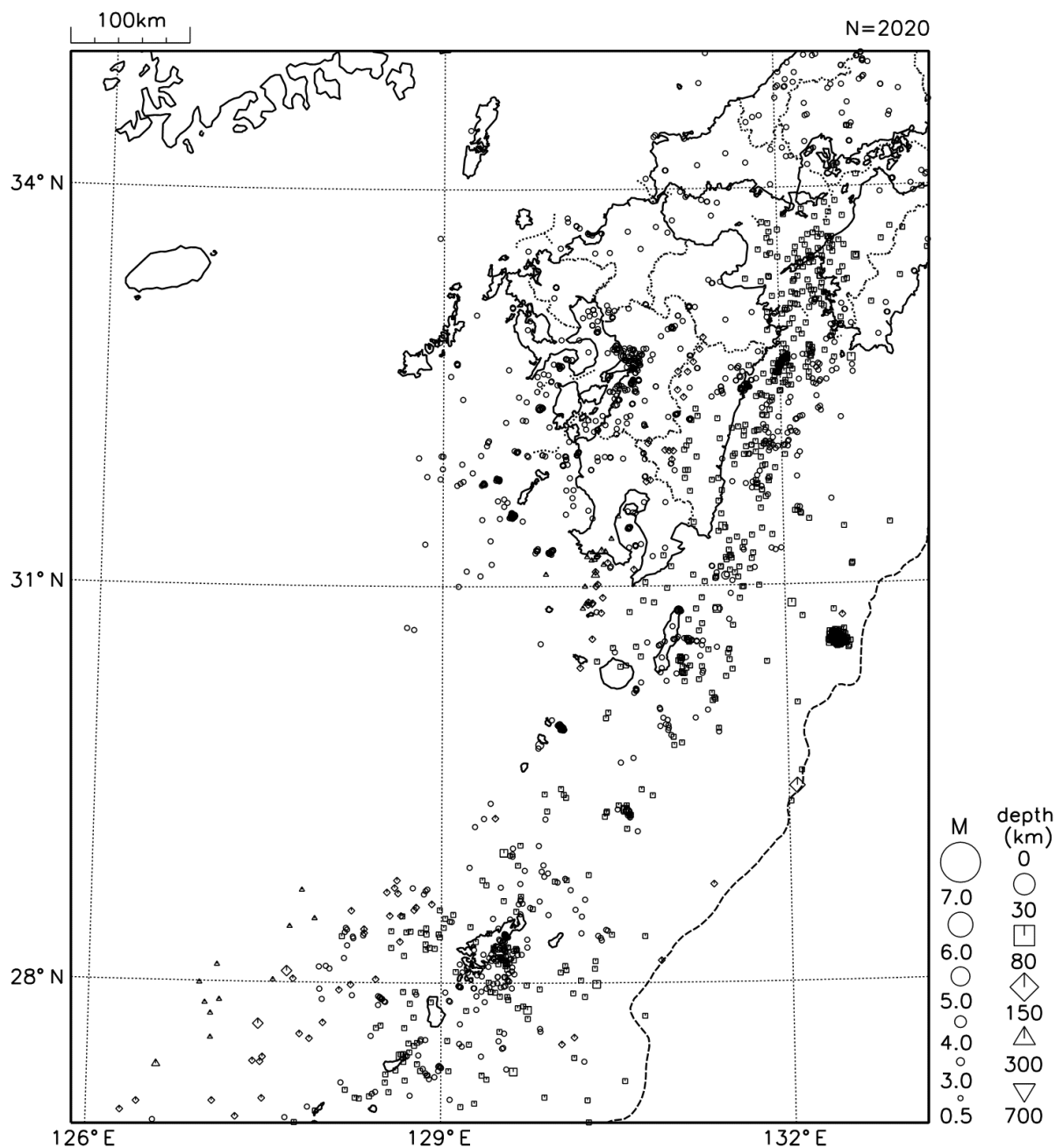
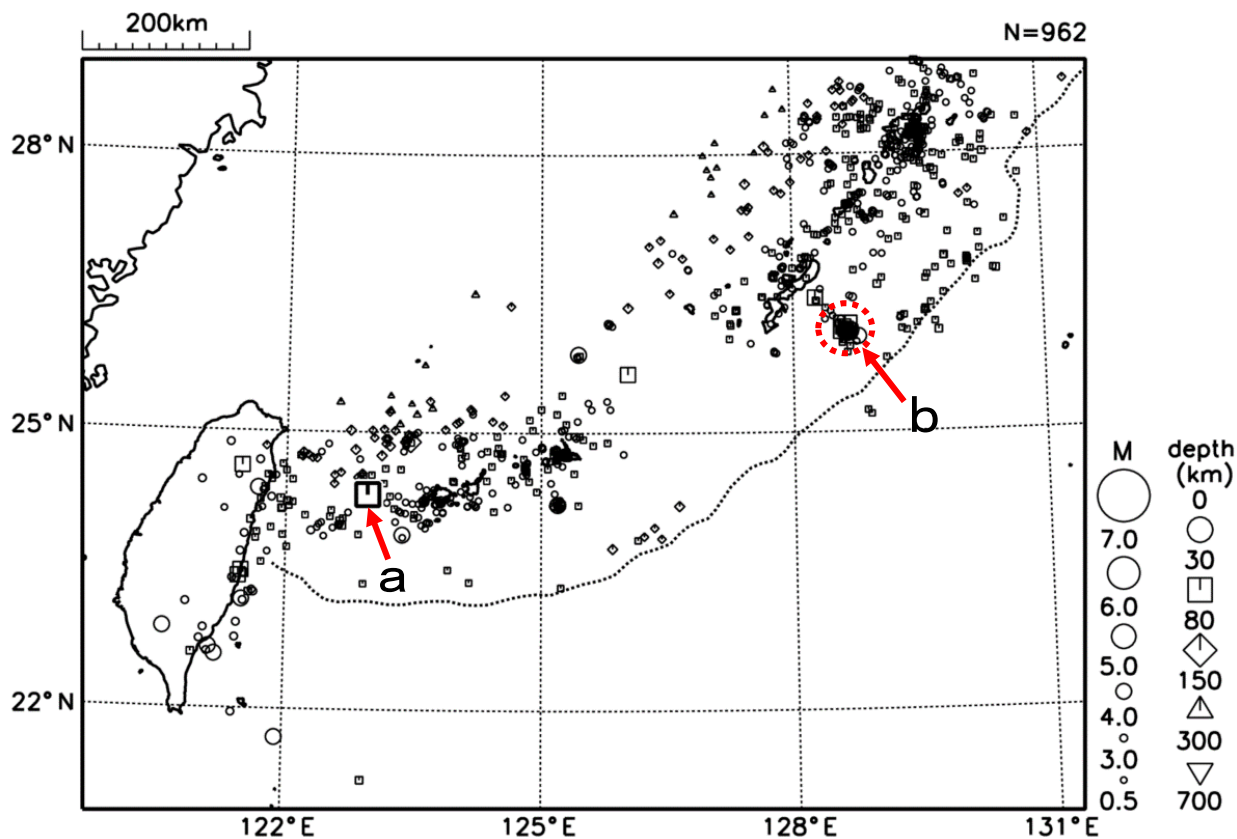


図9 九州地方の震央分布図（2023年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

4月に九州地方で震度1以上を観測した地震は19回（3月は9回）であった。
4月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

図10 沖縄地方の震央分布図（2023年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

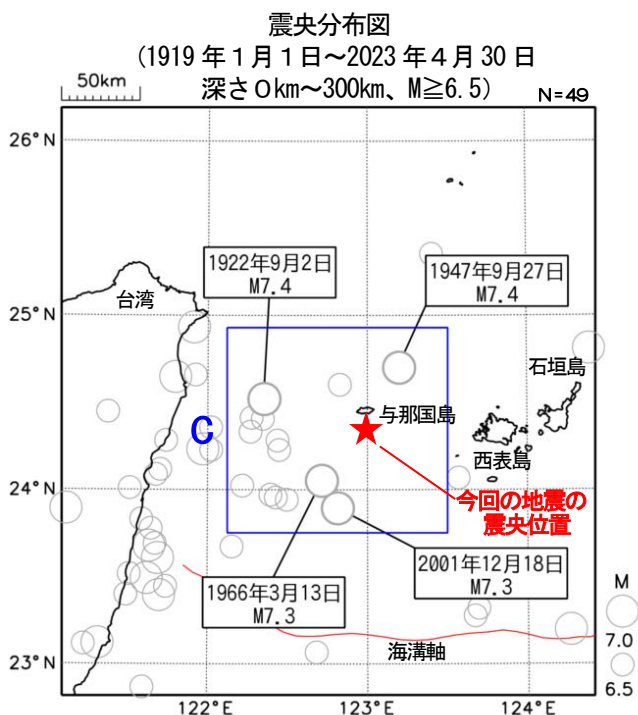
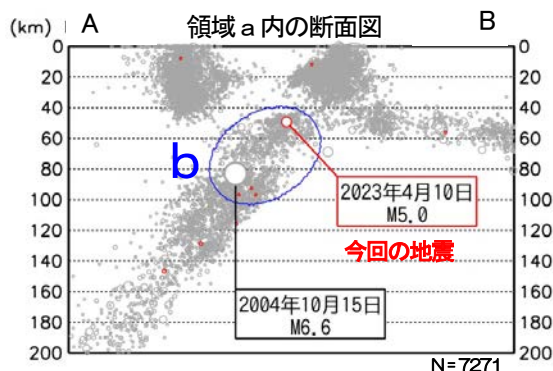
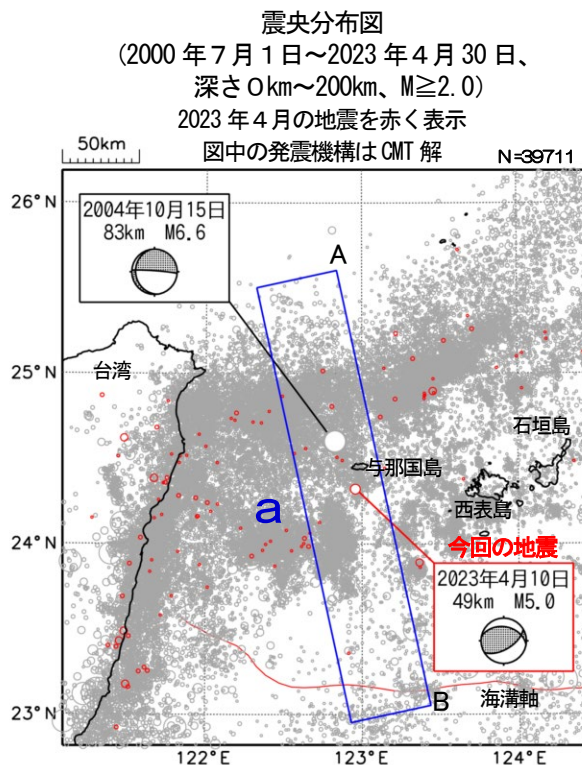
[概況]

4月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は7回（3月は5回）であった。
4月中の主な活動は次のとおりである。

10日03時45分に与那国島近海の深さ49kmでM5.0の地震（図10中のa）が発生し、沖縄県与那国町で震度3を観測したほか、石垣島から与那国島にかけて震度2～1を観測した（p.13 参照）。

沖縄本島近海では4月27日から地震活動が活発になり、4月27日から5月7日までに震度1以上を観測した地震が8回（震度2：3回、震度1：5回）発生した（図10中のb）。このうち最大規模の地震は、5月1日12時22分に深さ13km（CMT解による）で発生したM6.4の地震で、沖縄本島及び周辺離島で震度2～1を観測した（p.14 参照）。

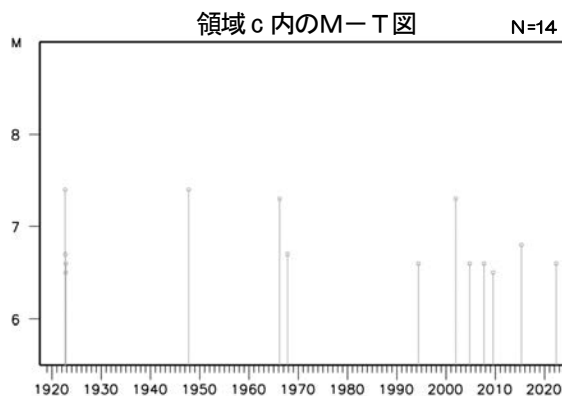
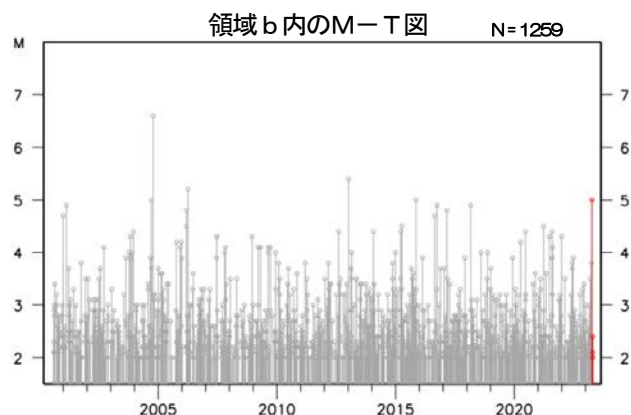
4月10日 与那国島近海の地震



2023年4月10日03時45分にと那国島近海の深さ49kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2004年10月15日にM6.6の地震（最大震度5弱）が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が4回発生している。1947年9月27日に発生したM7.4の地震（最大震度5）では、石垣島で死者1人、西表島で死者4人などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。1966年3月13日に発生したM7.3の地震（最大震度5）では、与那国島で死者2人、家屋全壊1棟、半壊3棟などの被害が生じ、沖縄・九州西海岸で小津波が観測された（被害及び津波の観測は「日本被害地震総覧」による）。2001年12月18日に発生したM7.3の地震（最大震度4）では、与那国島で12cm、石垣島で4cmの津波が観測された。



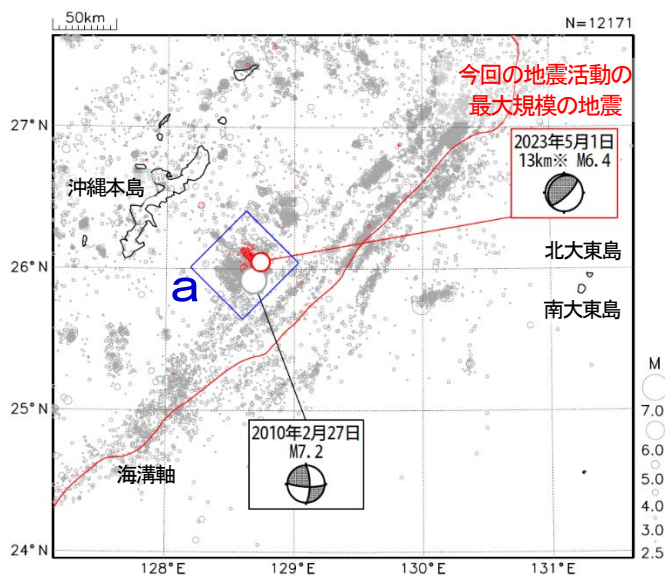
沖縄本島近海の地震活動

震央分布図

(2000年7月1日～2023年5月7日、
深さ0km～90km、 $M \geq 2.5$)

4月27日以降の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による

震央分布図

(1919年1月1日～2023年5月7日、
深さ0km～200km、 $M \geq 6.0$)

2023年4月27日以降の地震を赤色で表示

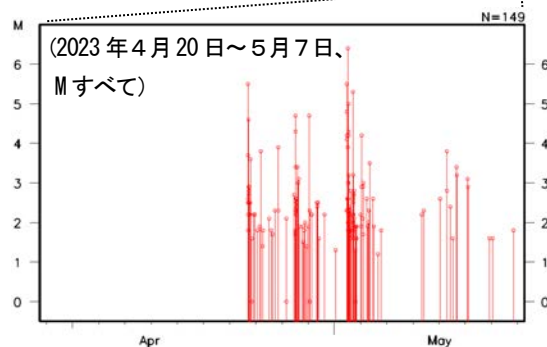
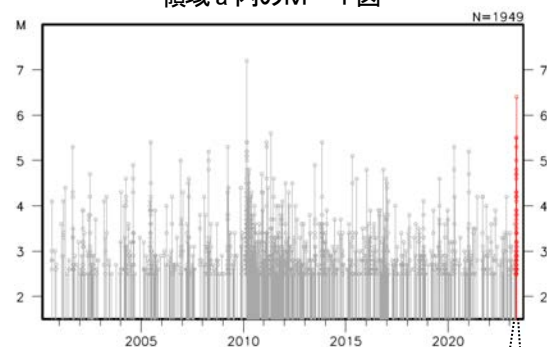


2023年5月1日12時22分に沖縄本島近海の深さ13km（CMT解による）でM6.4の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震央付近（領域a）では、4月27日から地震活動がやや活発になり、4月27日から5月7日までに震度1以上を観測する地震が8回（震度2：3回、震度1：5回）発生した。

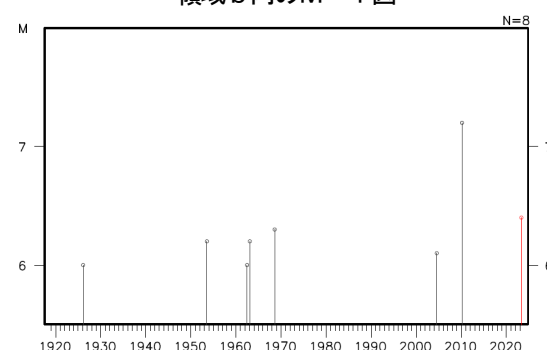
2000年7月以降の活動をみると、今回の震央付近（領域a）では、2010年2月27日にM7.2の地震が発生し、軽傷者2人、住家一部損壊4棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。また、この地震により南城市安座真で13cm、南大東島漁港で3cmの津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時折発生している。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



○その他の地域の地震活動

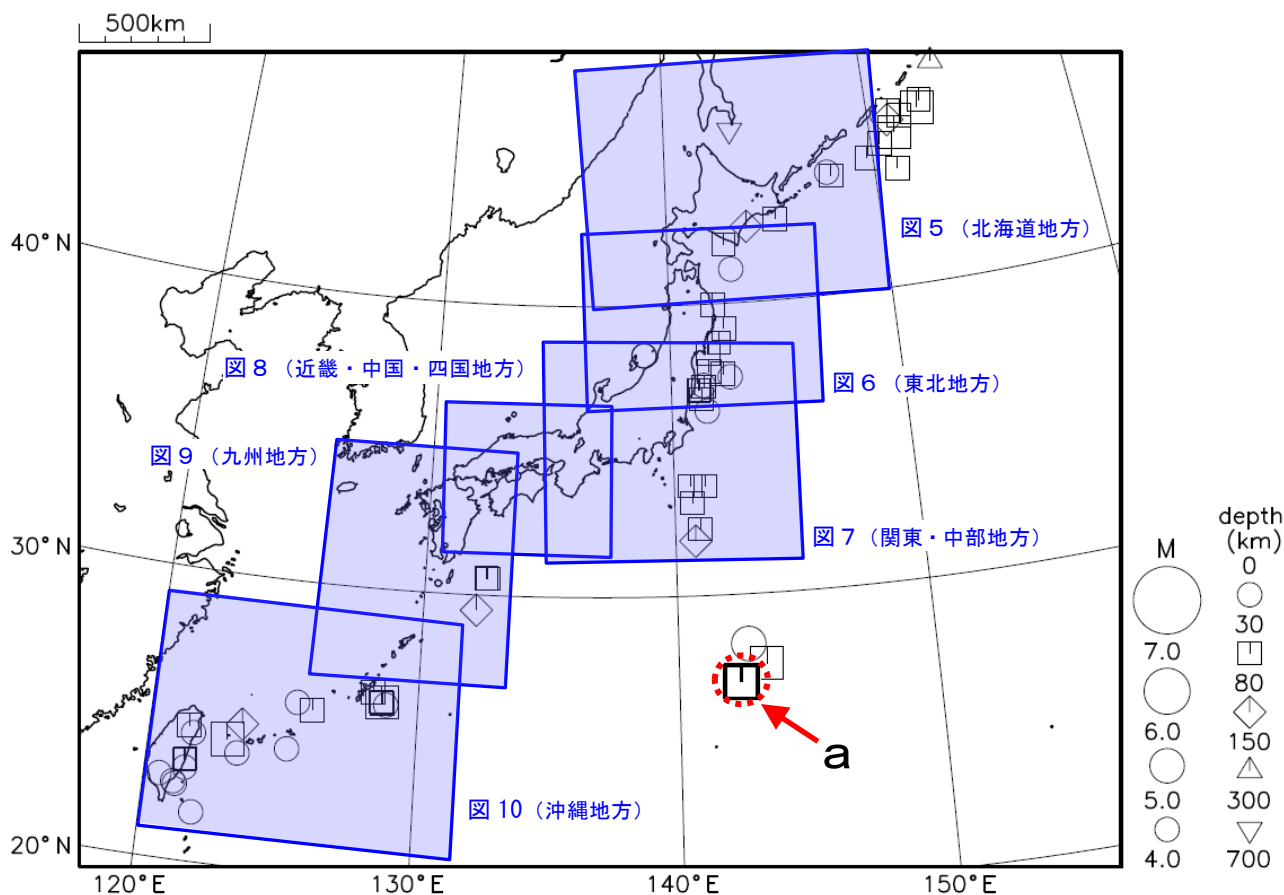


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2023年4月1日～4月30日、 $M \geq 4.0$ ）

【概況】

4月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった（3月は1回）。

4月中に図5～10の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

父島近海では、3月31日から地震活動が活発になり、3月31日から4月30日までに震度1以上を観測した地震が20回（震度4：1回、震度3：2回、震度2：2回、震度1：15回）発生した（図11中のa）。このうち最大規模の地震は、3月31日14時52分に深さ68km（CMT解による）で発生した $M5.7$ の地震で、東京都小笠原村母島で震度2を観測したほか、小笠原村父島で震度1を観測した（p. 4、16参照）。

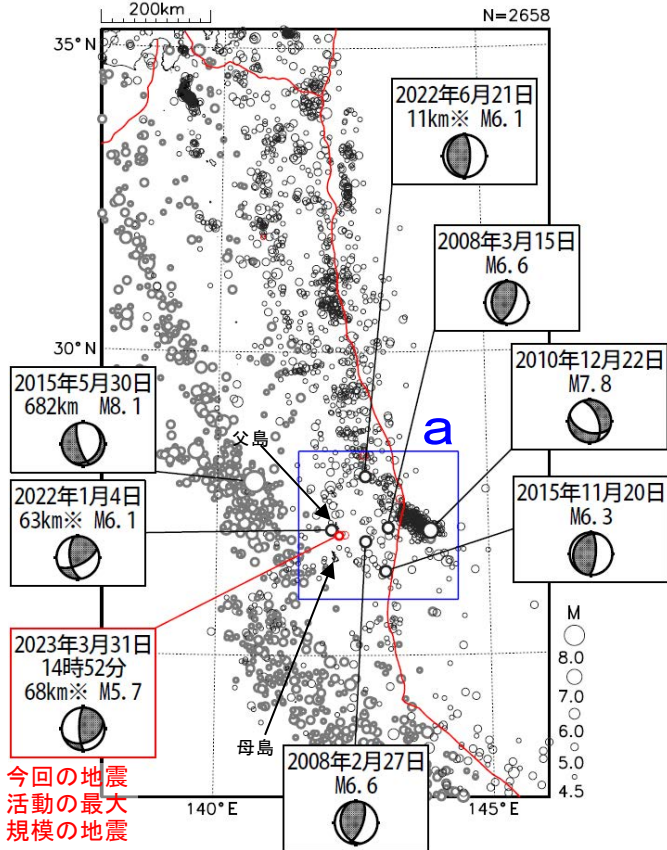
父島近海の地震活動

震央分布図

(1997年10月1日～2023年4月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$)

2023年3月31日以降の地震を赤く表示
100kmより浅い地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

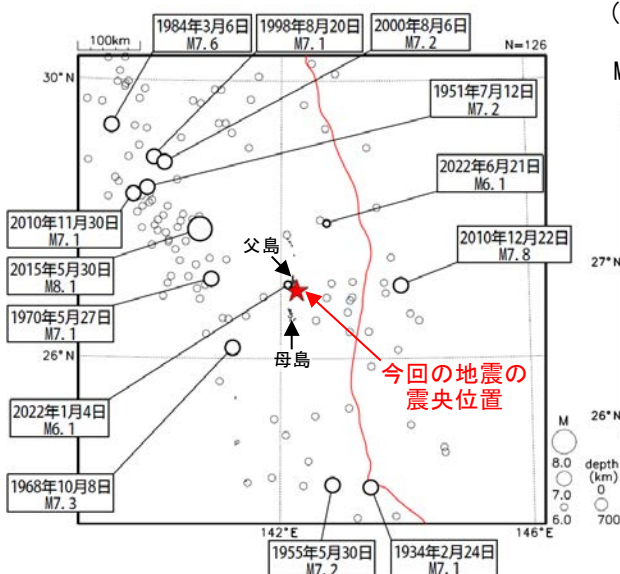


今回の地震
活動の最大
規模の地震

※深さはCMT解による
赤線は海溝軸を示す。

震央分布図

(1919年1月1日～2023年4月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)



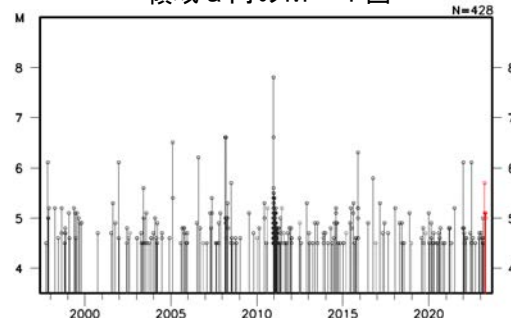
今回の地震の
震央位置

父島近海（領域b）では、2023年3月31日から地震活動が活発になり、4月30日までに震度1以上を観測した地震が20回（震度4：1回、震度3：2回、震度2：2回、震度1：15回）発生した。このうち最大規模の地震は3月31日14時52分に深さ68km（CMT解による）で発生したM5.7の地震（最大震度2）である。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2010年12月22日のM7.8の地震（最大震度4）では、この地震により津波が発生し、八丈島八重根で0.5mなどの津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、小笠原諸島周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。2015年5月30日の深さ682kmで発生したM8.1の地震（最大震度5強）では、この地震により関東地方で軽傷者8人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。また、1984年3月6日のM7.6の地震（最大震度4）では、この地震により関東地方を中心に死者1人、負傷者1人などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

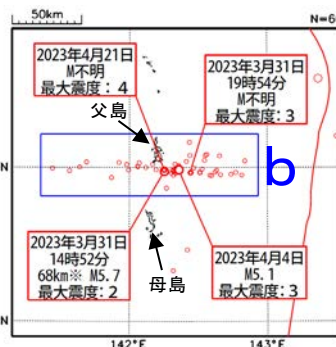
領域a内のM-T図



震央分布図

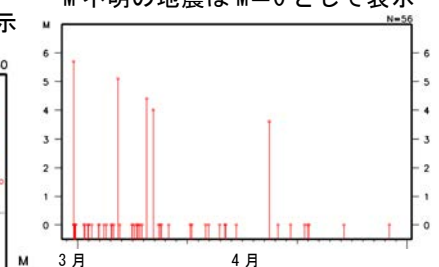
(2023年3月31日～4月30日、
深さ0～700km、 M すべて)

M 不明の地震は $M=0$ として表示



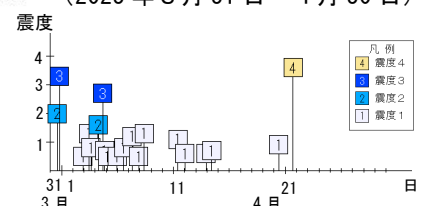
領域b内のM-T図

M 不明の地震は $M=0$ として表示



震度1以上を観測した地震の
発生時系列図

(2023年3月31日～4月30日)



● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第67回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第445回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和5年5月10日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.19に掲載する。

（注）<https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

（1）紀伊半島北部から東海：3月25日から4月9日

（2）四国中部：4月1日から7日

（3）紀伊半島北部：4月21日から25日

これらとは別に以下のとおり、プレート境界付近で浅部超低周波地震を観測しています。

（4）種子島東方沖、大隅半島南東沖、日向灘及び宮崎県東方はるか沖：4月中旬から継続中

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）とはほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データ及びGNSS観測でも、わずかな変化が見られています。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2023年初頭から九州南部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2023年初頭からの九州南部の地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び日向灘南部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

上記（4）の浅部超低周波地震は、これまでの観測結果や研究成果を考慮すると想定震源域のプレート境界浅部において発生したゆっくりすべりに起因する可能性があります。これは、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。この現象の発生頻度・規模等発生様式については今後も観測・研究

が必要です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

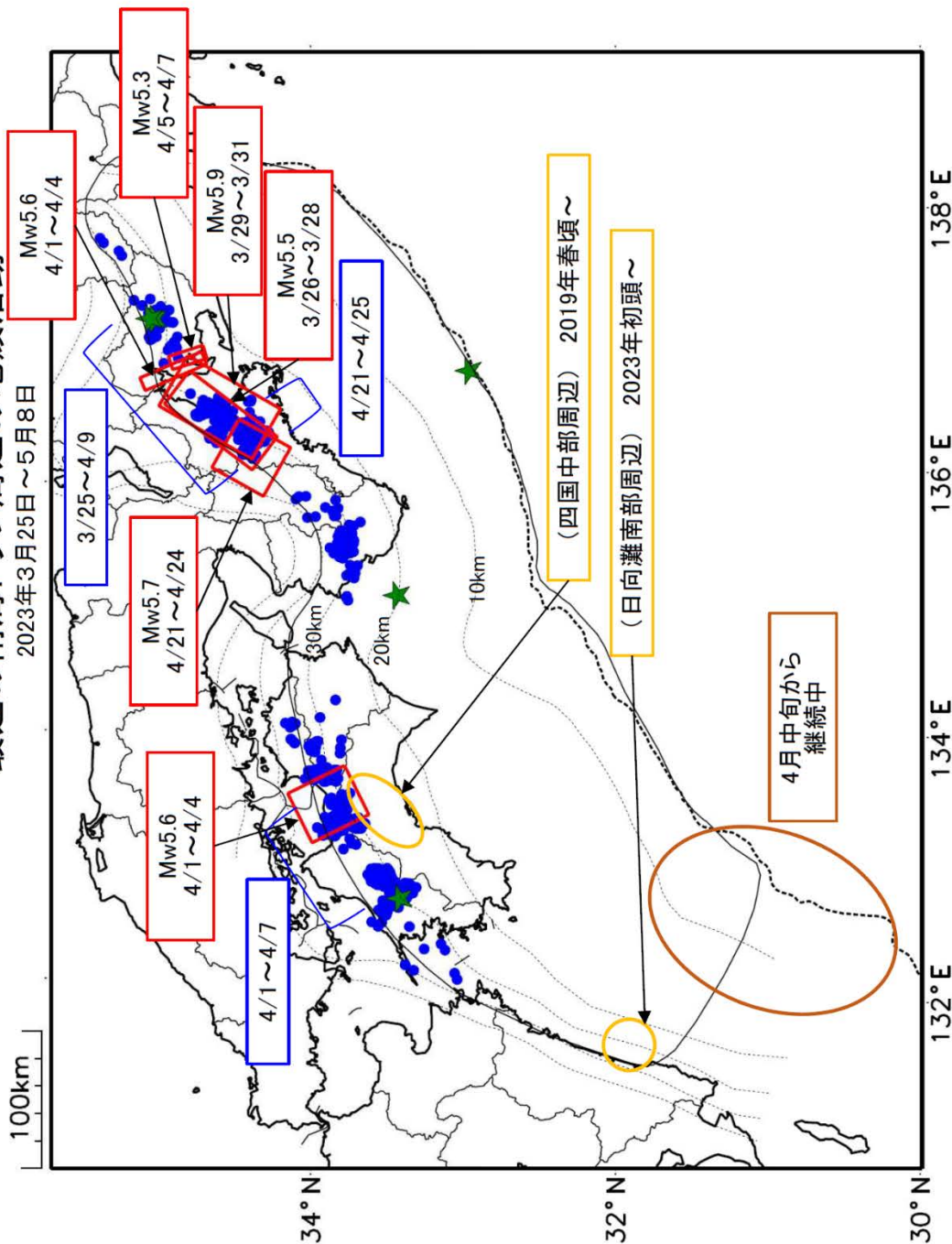
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2023年3月25日～5月8日



- 緑(★) 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●) 深部低周波地震(微動)
- 赤(□) 短期的ゆっくりすべり
- 黄(○) 長期的ゆっくりすべり
- 茶(○) 浅部超低周波地震

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島北部から東海、四国中部、紀伊半島北部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。
 浅部超低周波地震.....【種子島東方沖、大隅半島南東沖、日向灘及び宮崎県東方はるか沖】防災科学技術研究所の解析結果を元に活動期間及びおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和5年4月）

警報・予報事項に変更のあった火山はありません（令和5年5月11日14時現在）。

表1 令和5年5月11日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、諏訪之瀬島
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	浅間山、薩摩硫黄島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海德海山※、噴火浅根※、福岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山である ことに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、霧島山（新燃岳）、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、口永良部島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

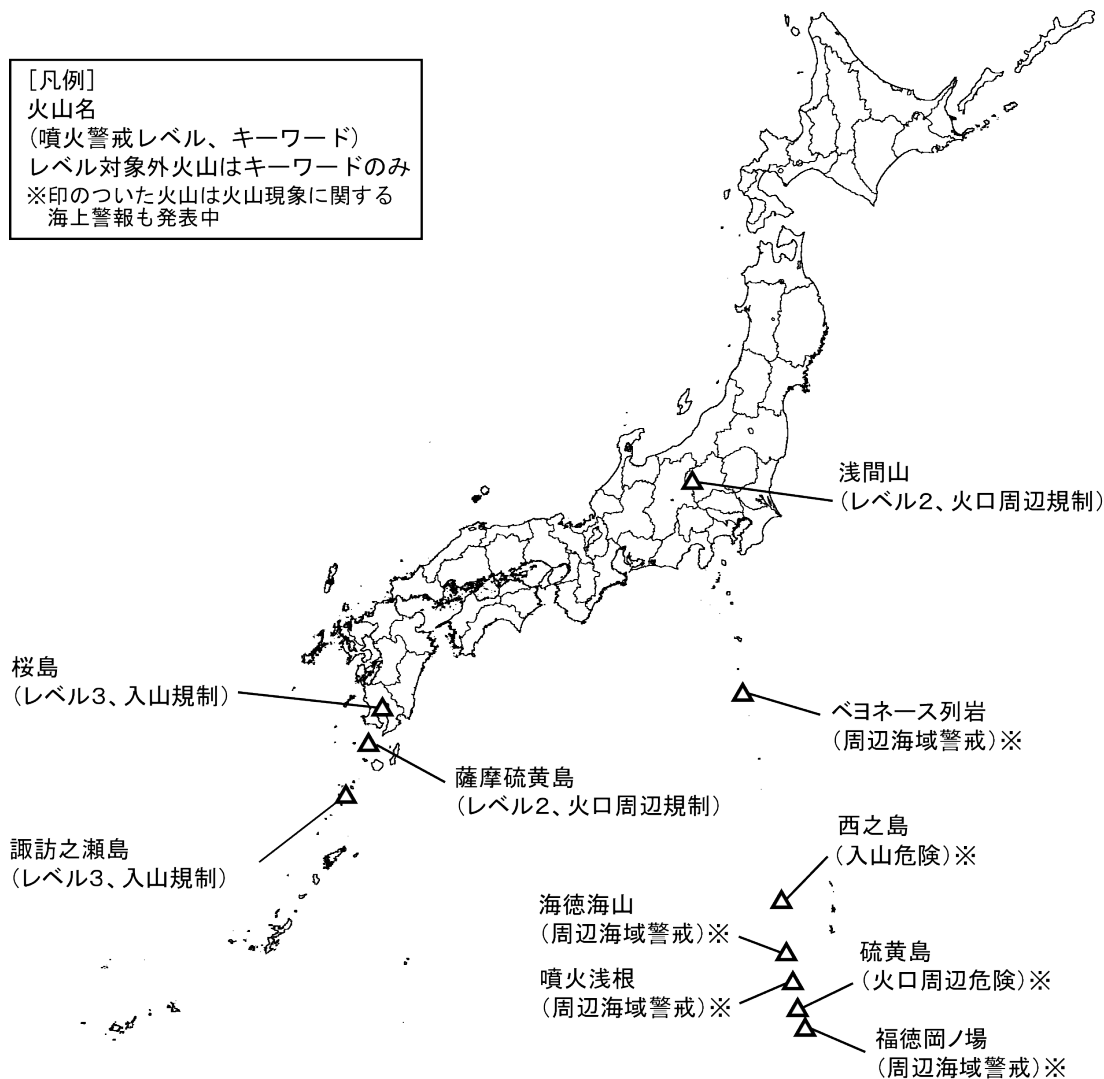


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（４月１日～30日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

3月中旬以降、山体の西側での膨張を示すと考えられるわずかな傾斜変動が認められています。また、3月下旬以降、山体浅部を震源とする火山性地震が増加し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量のやや多い状態から多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩「噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報」

今期間、噴火は認められないものの、引き続き明神礁付近で変色水が認められており、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やバースージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

気象衛星ひまわりの観測では、11日に噴火が確認されました。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

今期間、噴火は観測されていませんが、火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福德岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が2回発生し、噴煙は最高で火口縁上1,500mまで上がりました。爆発は発生しませんでした。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

御岳(おたけ)火口では、噴火活動が継続しています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上 2,000mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は火口中心から最大で約 500mまで飛散しました。

地殻変動観測では、島の西側やや深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震も少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

（1）主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海徳海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・ 南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山（新燃岳）（つづき）		2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（２）その他の活火山

以下の活火山（＊印及び＊＊印を除く）では 2007 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された 2011 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では、活火山として選定された後の 2017 年 12 月 5 日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山＊、摩周、雄阿寒岳＊、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山＊＊、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

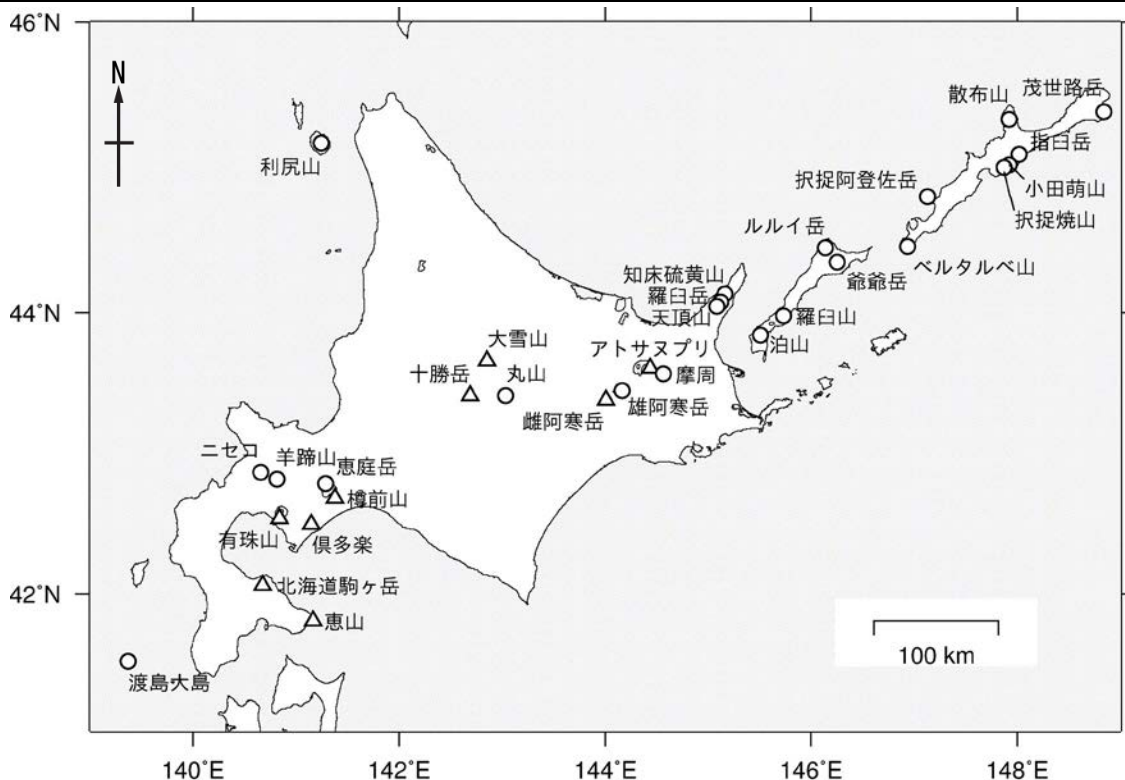
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年4月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例

噴火警戒レベル対象火山

▲：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山

●：噴火警報発表中

○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（4月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2 火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では熱活動の活発な状態が続いており、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年4月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（4月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測で認められていた 2020 年中頃からの秋田焼山を挟む基線の伸びの変化は、2022 年 12 月頃以降停滞している可能性があります。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられませんが、地殻変動等の今後の火山活動の推移に留意してください。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち



^{めだけ}女岳付近では地熱活動も継続的に認められますので、中長期的な火山活動の活発化に留意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

大穴火口付近では、低周波地震の発生頻度が高くなっており、大穴火口方向の隆起を示す緩やかな傾斜変動も継続しています。大穴火口周辺地下の温度上昇を示唆する変化等も引き続きみられるなど、浅部の熱水活動がやや活発になっていますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山性地震がやや多い状態で経過し、火山性微動が3回観測されました。GNSS 連続観測では、2022 年後半から火山活動の可能性のあるわずかな変化が認められています。今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

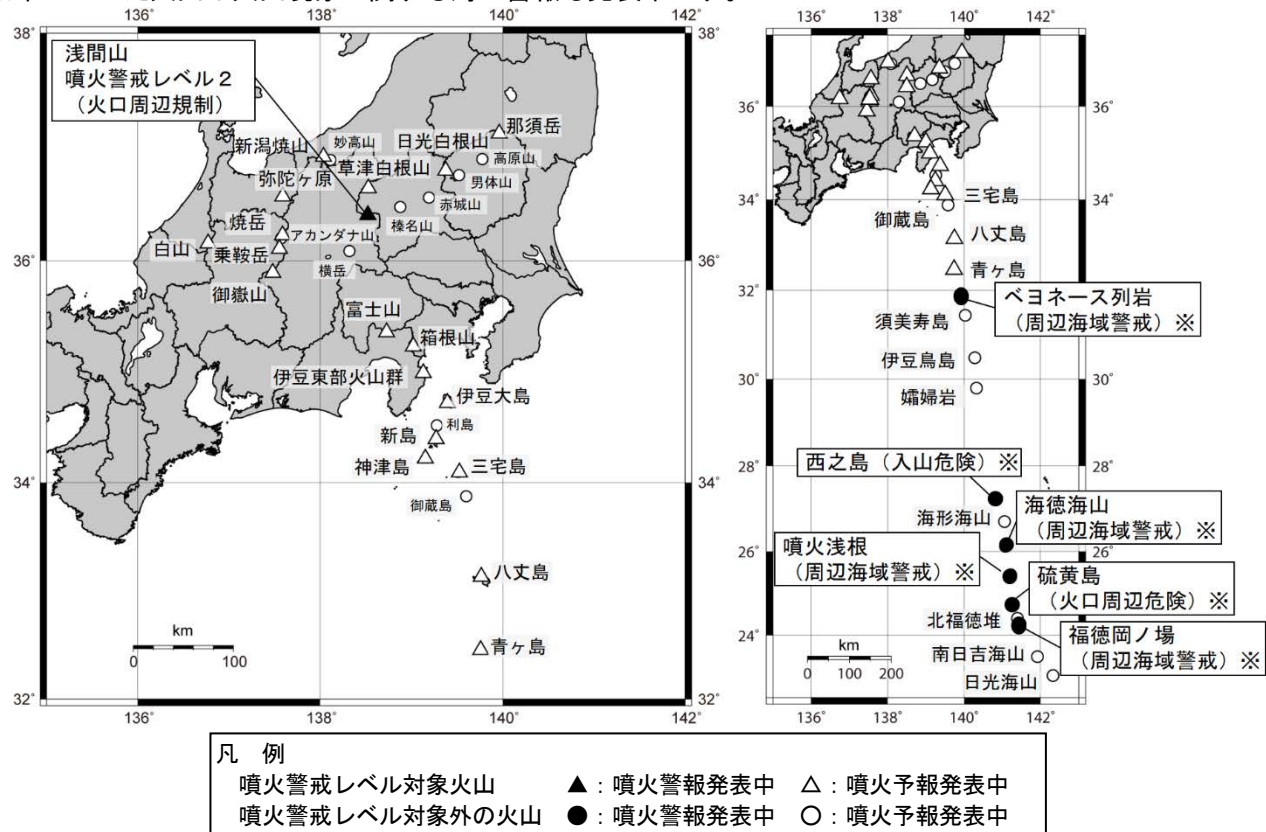
管内月間火山概況（令和5年4月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海德海山※、噴火浅根※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孺婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（4月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

湯釜周辺の地震活動は低調で浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。しかし、湯釜付近の浅部の熱水活動は継続しており、中長期的には再活発化も考えられるため、今後も火山活動の推移に十分注意が必要です。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

3月中旬以降、山体の西側での膨張を示すと考えられるわずかな傾斜変動が認められています。また、3月下旬以降、山体浅部を震源とする火山性地震が増加し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量のやや多い状態から多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新湯焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

焼岳では、山頂付近の微小な地震は、少ない状態で推移しています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

ただし、GNSS 連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、地震活動は低調に経過しました。地殻変動も停滞しており、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。

ただし、地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

三宅島では、GNSS連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019年4月頃からみられる、山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は2022年から鈍化していますが、火山活動は依然として徐々に高まりつつあると考えられます。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、引き続き明神礁付近で変色水が認められており、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やバースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

気象衛星ひまわりの観測では、11日に噴火が確認されました。

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

今期間、噴火は観測されていませんが、火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福德岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性あります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年4月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

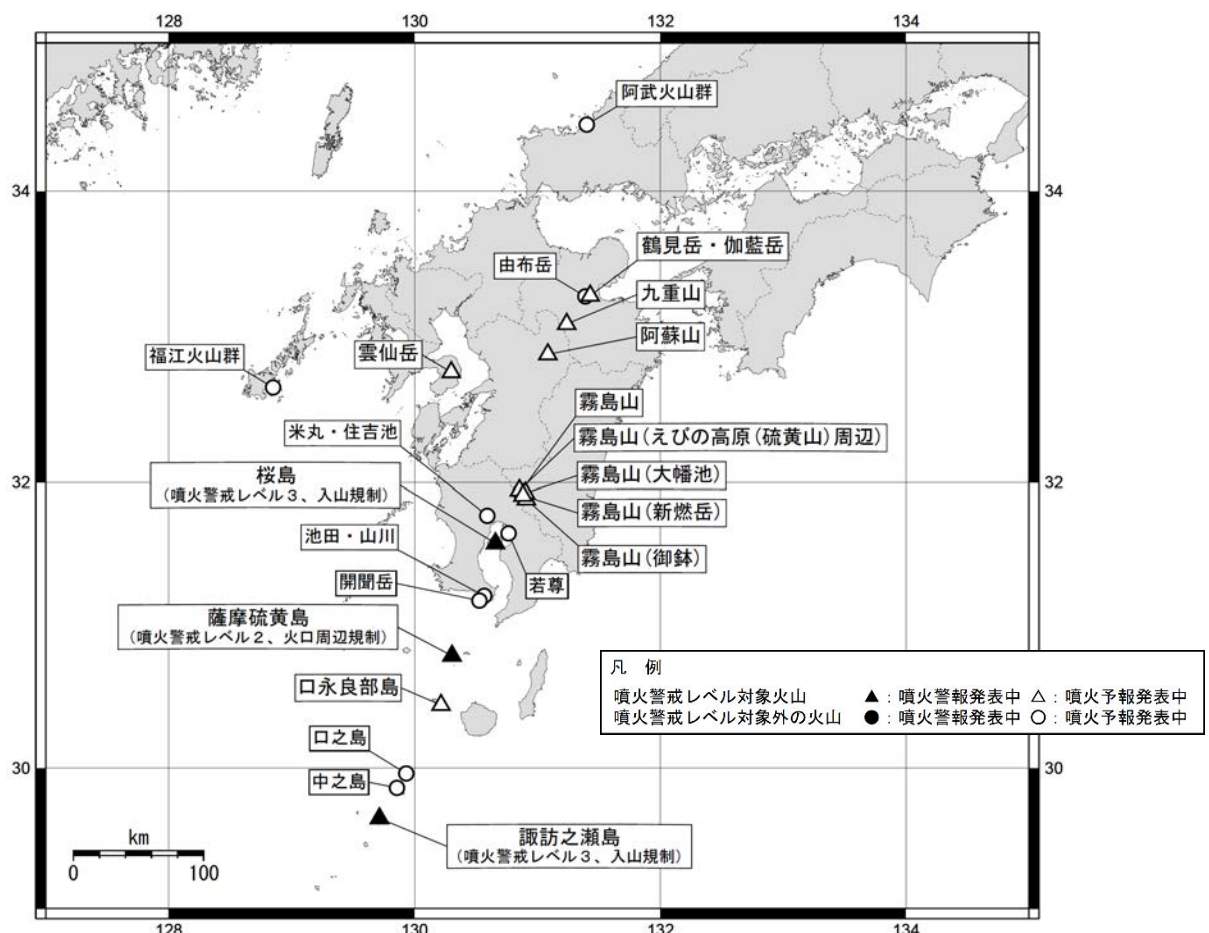
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年4月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和5年4月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、諏訪之瀬島
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たって、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（4月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しました。B型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出が見られますので、注意してください。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化がみられています。今後の火山活動に留意してください。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は小さい状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態でした。GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において、2023年1月頃から縮みの傾向がみられています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。火山性地震は3月中旬から4月上旬にかけてわずかに増加しましたが、概ね少ない状態で経過しています。また、GNSS 連続観測では、硫黄山近傍の基線において、2022年11月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられていましたが、2023年1月頃から停滞しています。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

きりしまやま おおはたいけ 霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもえだけ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は3月下旬からやや多い状態となりましたが、4月中旬以降は少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022年11月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられていましたが、2023年4月以降は停滞しています。

火山活動は低下した状態であり噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島さくらじま〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、噴火²⁾が2回発生し、噴煙は最高で火口縁上1,500mまで上がりました。爆発³⁾は発生しませんでした。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩 硫黄島さつまいおうじま〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島くちのえらぶじま〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は1日数回程度と概ね少ない状態で経過しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も少ない状態が続いています。また、GNSS連続観測では、2021年5月以降、特段の変化は認められません。

口永良部島では、火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低いと考えられます。

活火山であることから、新岳火口内、西側割れ目付近では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が継続しています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上 2,000mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は火口中心から最大で約 500mまで飛散しました。

地殻変動観測では、島の西側やや深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震も少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年4月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

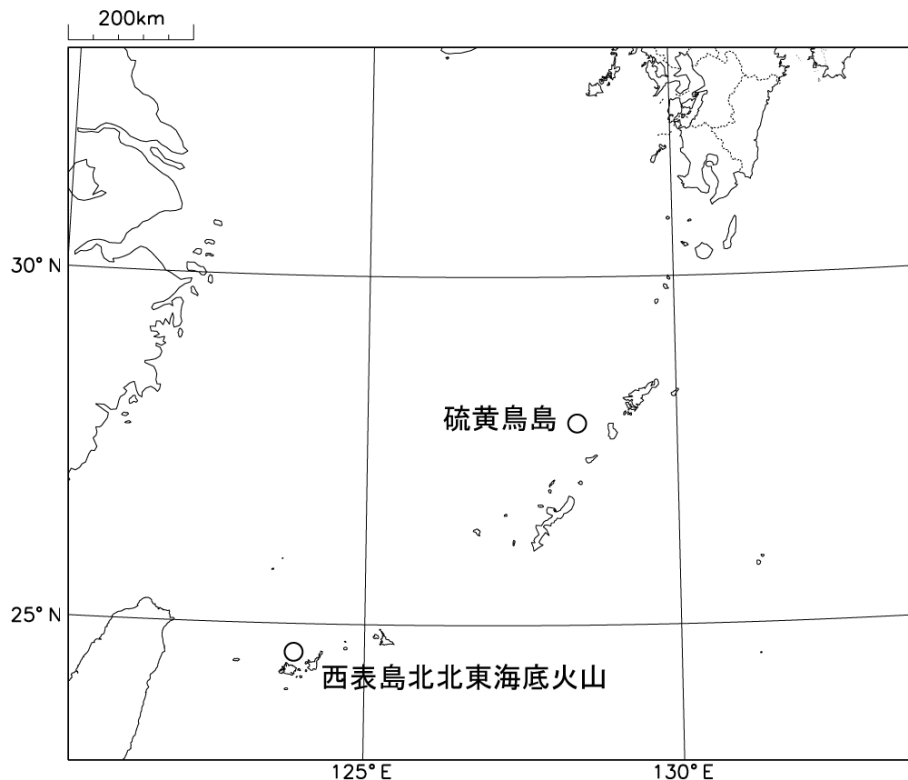
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

表 令和5年4月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第35～42号	3日、7日、10日、14日、 17日、21日、24日、 28日 16時00分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の噴火、噴煙、大きな噴石飛散、爆発、火映の状況。昭和火口では噴火は観測されず。現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量。火山性地震、微動の発生状況。GNSS連続観測では、1月頃から、始良カルデラ地下深部の膨張を示す基線のわずかな伸び、及び山体の隆起・膨張に伴うと考えられるわずかな伸びがみられる。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	(発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(発表なし)	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第30～37号	3日、7日、10日、14日、 17日、21日、24日、 28日 16時00分	活発な噴火活動が継続。噴火、爆発、大きな噴石飛散の状況。集落での鳴動と降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。島西側のやや深部へのマグマの蓄積を示唆する傾斜変動。
		降灰予報(速報)	(発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(発表なし)	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第11～25号	1日～10日、14日、17日、 21日、24日、28日 16時00分	3月中旬以降、山体の西側での膨張を示唆する傾斜変動が認められ、3月下旬以降、山体浅部を震源とする火山性地震が増加。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は概ね多い状態。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～17号	3日、10日、17日、24日、 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。
吾妻山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第4号	25日 15時20分	大穴火口付近と推定される低周波地震が2月ころから増加、4月12日からさらに増加。火山性微動は観測されていない。浄土平の傾斜計では、3月中旬以降、大穴火口方向の隆起を示す緩やかな変化。

注1）表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2）浅間山、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。

● 世界の主な地震

令和5年（2023年）4月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

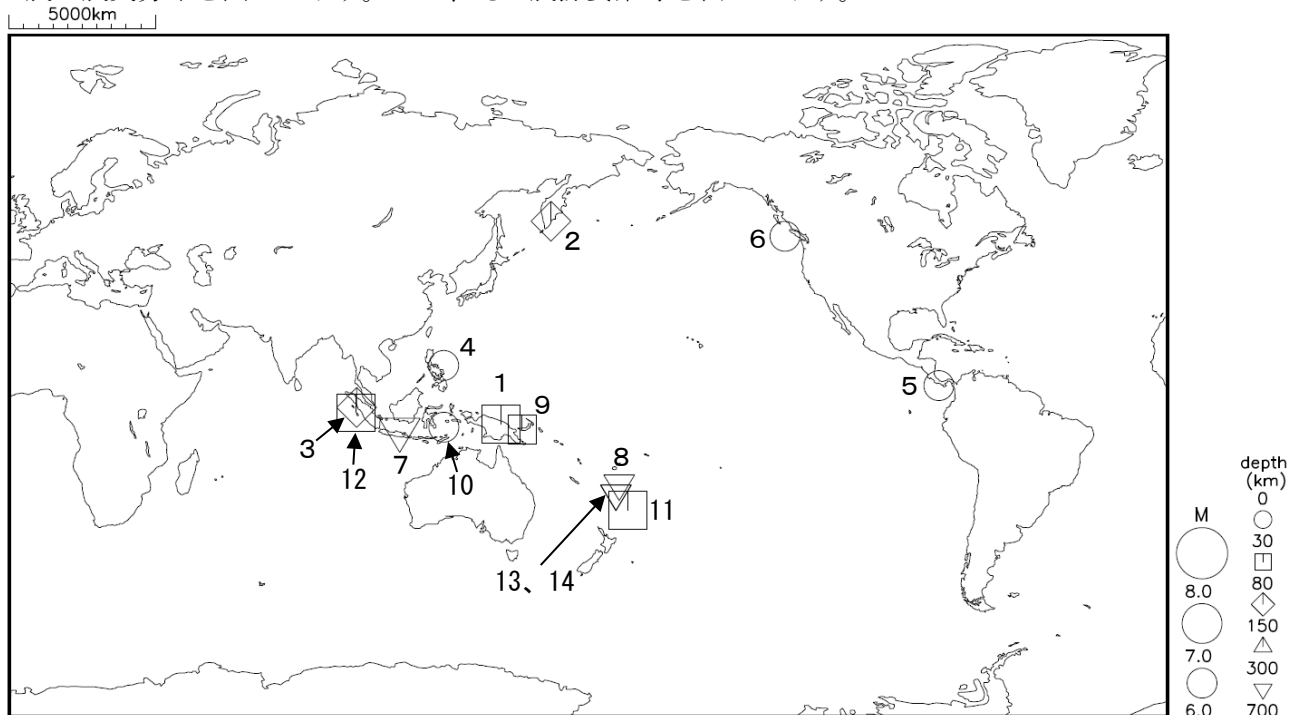


図1 令和5年（2023年）4月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和5年（2023年）4月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	04月03日03時04分	S 4° 19.5′	E143° 09.5′	70			(7.1)	バブアニューギニア、ニューギニア	死者8人など	○	○
2	04月03日12時06分	N52° 43.3′	E158° 29.6′	101			6.5	ロシア、カムチャツカ半島東岸			
3	04月03日23時59分	N 0° 50.5′	E 98° 48.7′	93			6.1	インドネシア、スマトラ北部			
4	04月04日21時54分	N13° 43.9′	E125° 32.2′	10			6.2	フィリピン諸島			
5	04月05日07時18分	N 7° 34.0′	W 82° 20.0′	16			6.3	パナマ南方			
6	04月14日00時54分	N49° 12.8′	W129° 36.9′	7			6.0	カナダ、バンクーバー島			
7	04月14日18時55分	S 6° 01.5′	E112° 01.9′	594			(7.1)	インドネシア、ジャワ	死者1人など		○
8	04月18日13時31分	S22° 17.8′	E179° 27.7′	596			6.7	フィジー諸島南方			
9	04月19日18時06分	S 5° 56.7′	E149° 37.9′	40			6.3	バブアニューギニア、ニューブリテン			
10	04月22日17時23分	S 5° 15.1′	E125° 35.4′	6			6.2	バンドラ海			
11	04月24日09時41分	S29° 58.0′	W177° 49.5′	43			(7.1)	ケルマデック諸島	津波観測0.11m（フィッシングロック）		○
12	04月25日05時00分	S 0° 47.9′	E 98° 31.4′	34			(7.0)	インドネシア、スマトラ南部	津波観測0.1m（タナバラ島）		○
13	04月28日12時13分	S25° 10.3′	E178° 29.4′	593	6.0			フィジー諸島南方			
14	04月28日12時13分	S25° 15.9′	E178° 25.4′	598			6.6	フィジー諸島南方			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2023年5月9日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2023年5月9日現在）、国内は総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- 津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA；National Oceanic and Atmospheric Administration)による（2023年5月9日現在）。

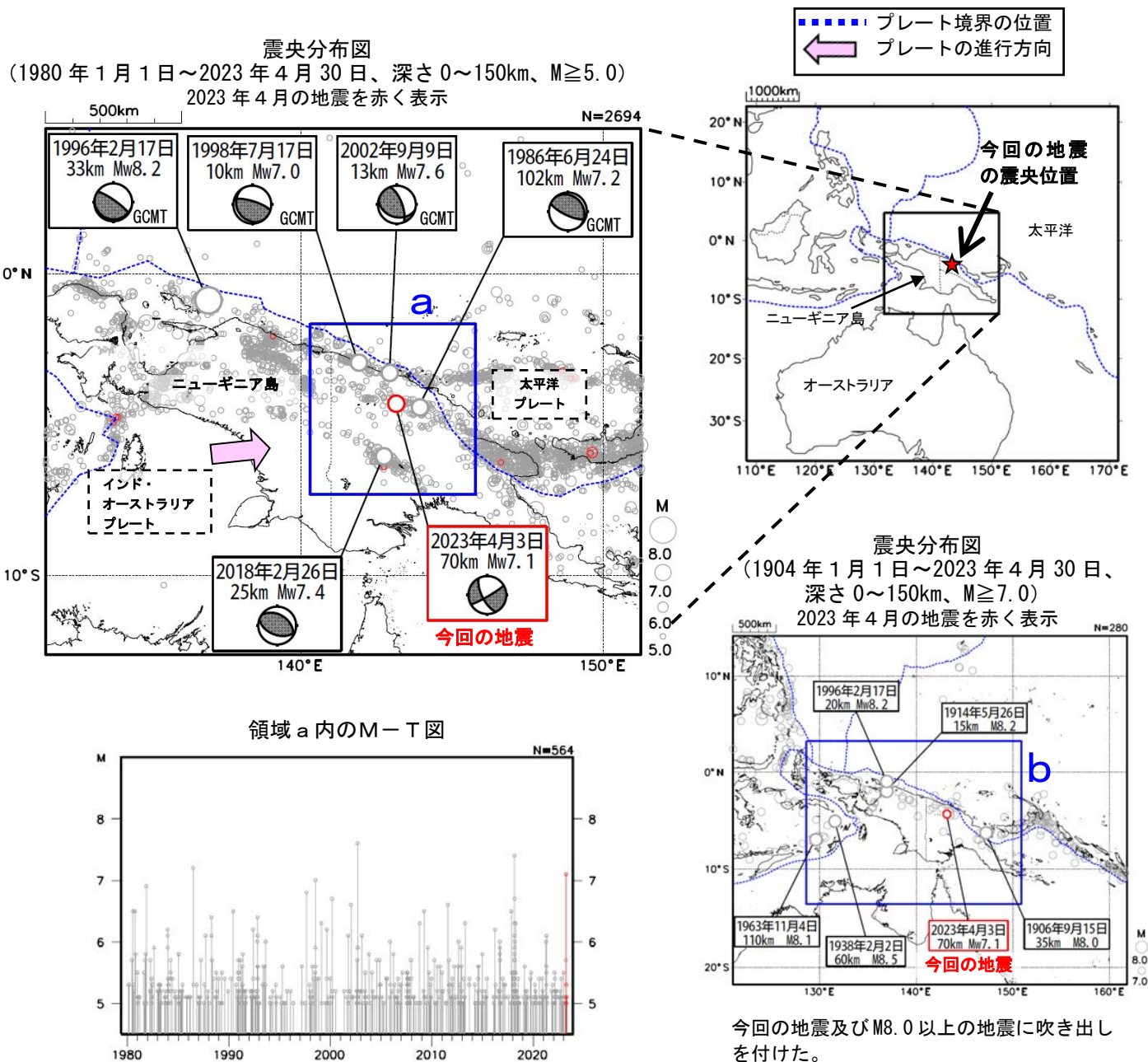
4月3日 パプアニューギニア、ニューギニアの地震

2023年4月3日03時04分（日本時間、以下同じ）にパプアニューギニア、ニューギニアの深さ70kmでMw7.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日03時31分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。また、この地震により、死者8人、負傷者11人などの被害が生じた。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1998年7月17日にMw7.0の地震が発生し、死者2,700人、負傷者数千人の被害が生じた。

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M8.0以上の地震が5回発生している。1996年2月17日にはMw8.2の地震が発生し、父島（東京都）で104cm、串本（和歌山県）で96cm（ともに平常潮位からの最大の高さ）など、日本でも津波を観測した。



※上図内の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2023年5月9日現在）。ただし、吹き出しのある地震のうち、「GCMT」が付いた地震の発震機構とMwはGlobal CMT、その他の地震は気象庁による。プレート境界の位置はBird (2003) *より引用。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2023年5月9日現在）右下図内の震源要素は、2019年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 10（1904-2019）、2020年以降は米国地質調査所（USGS）による（2023年5月9日現在）。ただしMwは、1996年2月17日の地震はGlobal CMT、今回の地震は気象庁による。

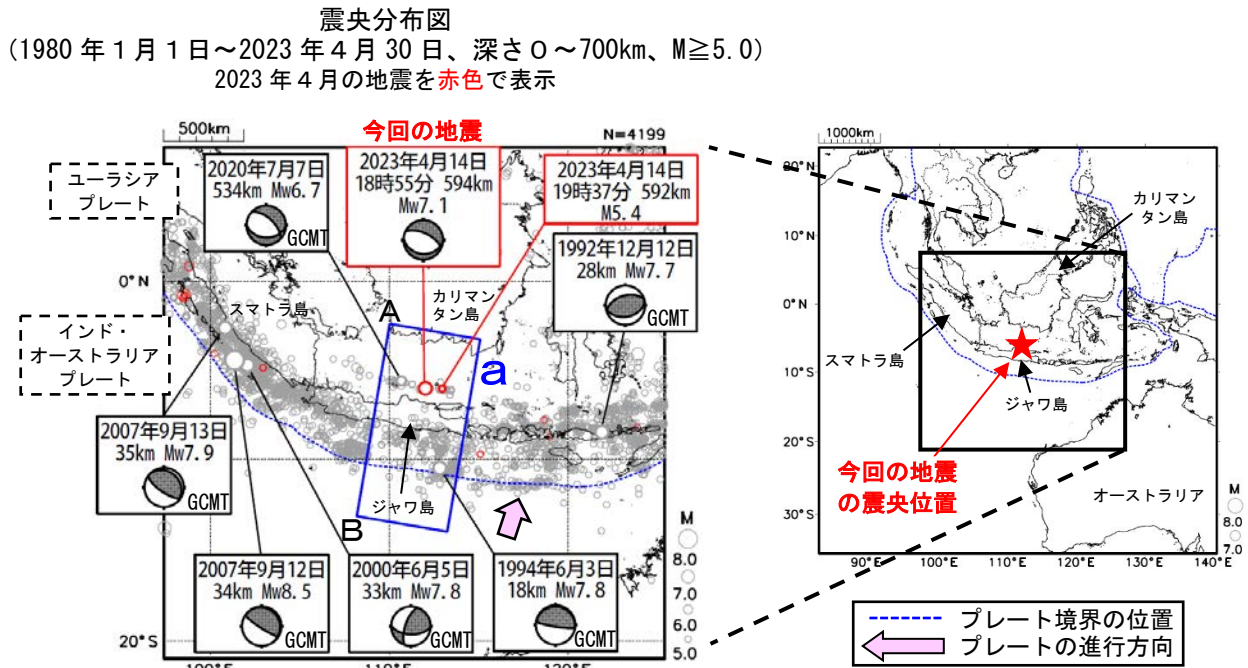
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

4月14日 インドネシア、ジャワの地震

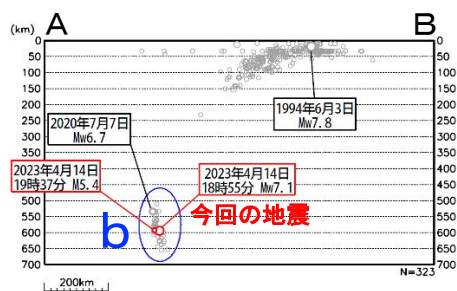
2023年4月14日18時55分（日本時間、以下同じ）にインドネシア、ジャワの深さ594kmでMw7.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は、ユーラシアプレートに沈み込むインド・オーストラリアプレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は概ね鉛直方向に圧力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震に対して、同日19時21分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。この地震により、死者1人などの被害が生じた。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM6程度の地震が時々発生しており、M7.0以上の地震は発生していなかった。

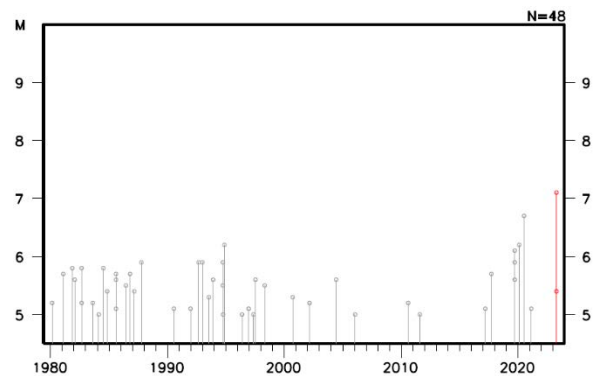


領域a内の断面図（A－B投影）



断面図で震源が線状分布しているのは、震源の深さを10kmまたは33kmに固定して、震源を決定しているためである。

領域b内のM－T図



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2023年5月9日現在）。ただし、発震機構とMwは、吹き出しのある地震のうち、

「GCMT」が付いた地震はGlobal CMT、その他の地震は気象庁による。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2023年5月9日現在）による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

4月24日 ケルマデック諸島の地震

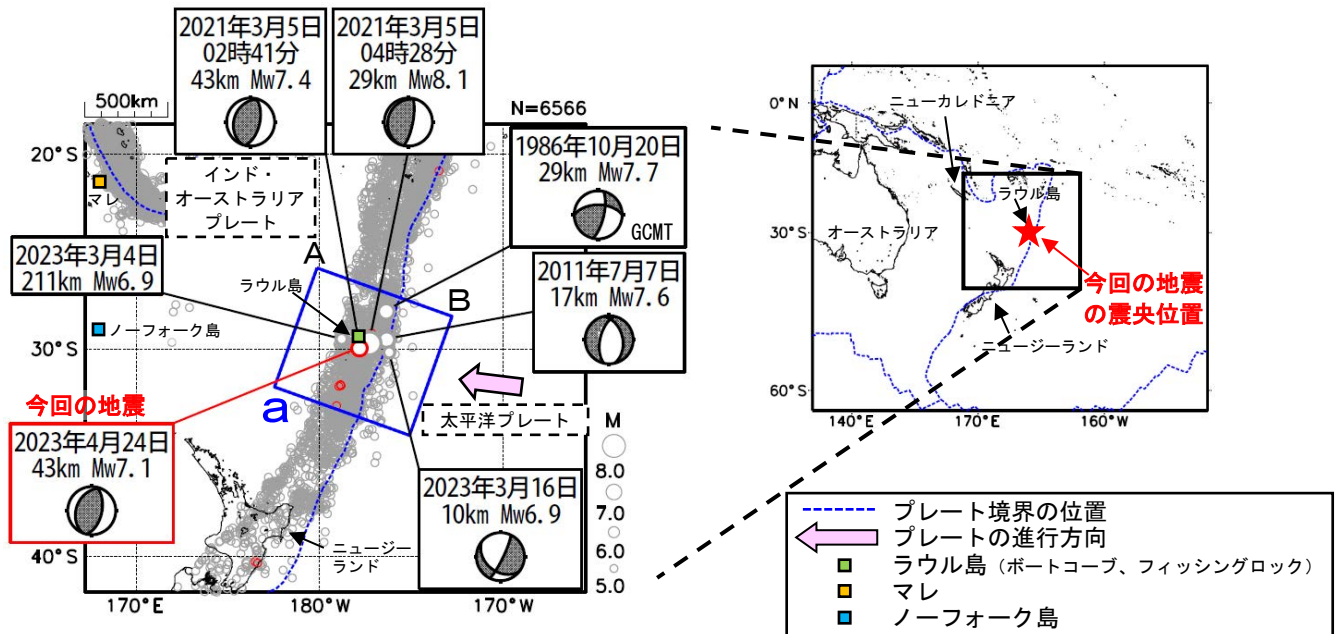
2023年4月24日09時41分（日本時間、以下同じ）にケルマデック諸島の深さ43kmでMw7.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートの境界で発生した。

気象庁は、この地震に対して、同日10時03分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、ラウル島（ニュージーランド）のフィッシングロックで0.11m、ボートコーブで0.09mなどの津波を観測した。

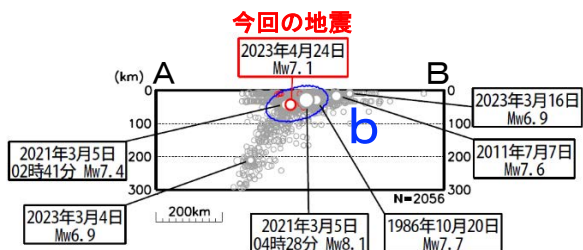
1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM7.0以上の地震が時々発生している。2021年3月5日04時28分にはMw8.1の地震が発生し、マレ（ニューカレドニア）で1m^{*1}、ノーフォーク島（オーストラリア）で0.56mなどの津波を観測した。また、日本国内でも、岩手県の久慈港や東京都の父島二見で最大19cmの津波を観測したほか、北海道から千葉県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。また、この地震の約1時間50分前の02時41分にはMw7.4の地震が発生し、ラウル島のフィッシングロックで0.31mなどの津波を観測した。今回の地震の震源周辺（領域a）では、最近では、2023年3月16日にMw6.9の地震が発生し、ラウル島（ニュージーランド）のボートコーブで0.11mなどの津波を観測した。

震央分布図

（1980年1月1日～2023年4月30日、深さ0～300km、M $\geq$ 5.0）
2023年4月の地震を赤色で表示

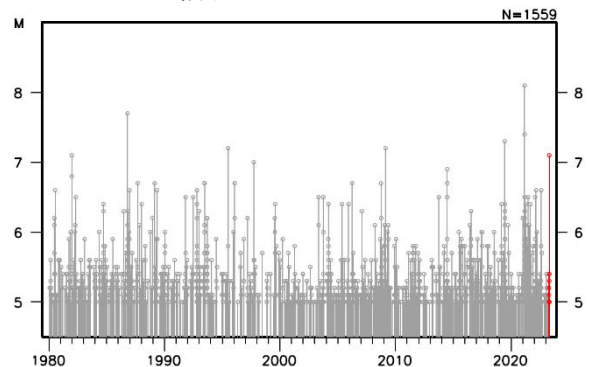


領域a内の断面図（A-B投影）



断面図で震源が線状分布しているのは、震源の深さを10kmまたは33kmに固定して、震源を決定しているためである。

領域b内のM-T図



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2023年5月9日現在）。ただし、発震機構とMwは、1986年10月20日の地震及び2023年3月4日の地震はGlobal CMT、その他の地震は気象庁による。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2023年5月9日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）^{*2}より引用。

^{*1} マレの津波の高さは目視による。

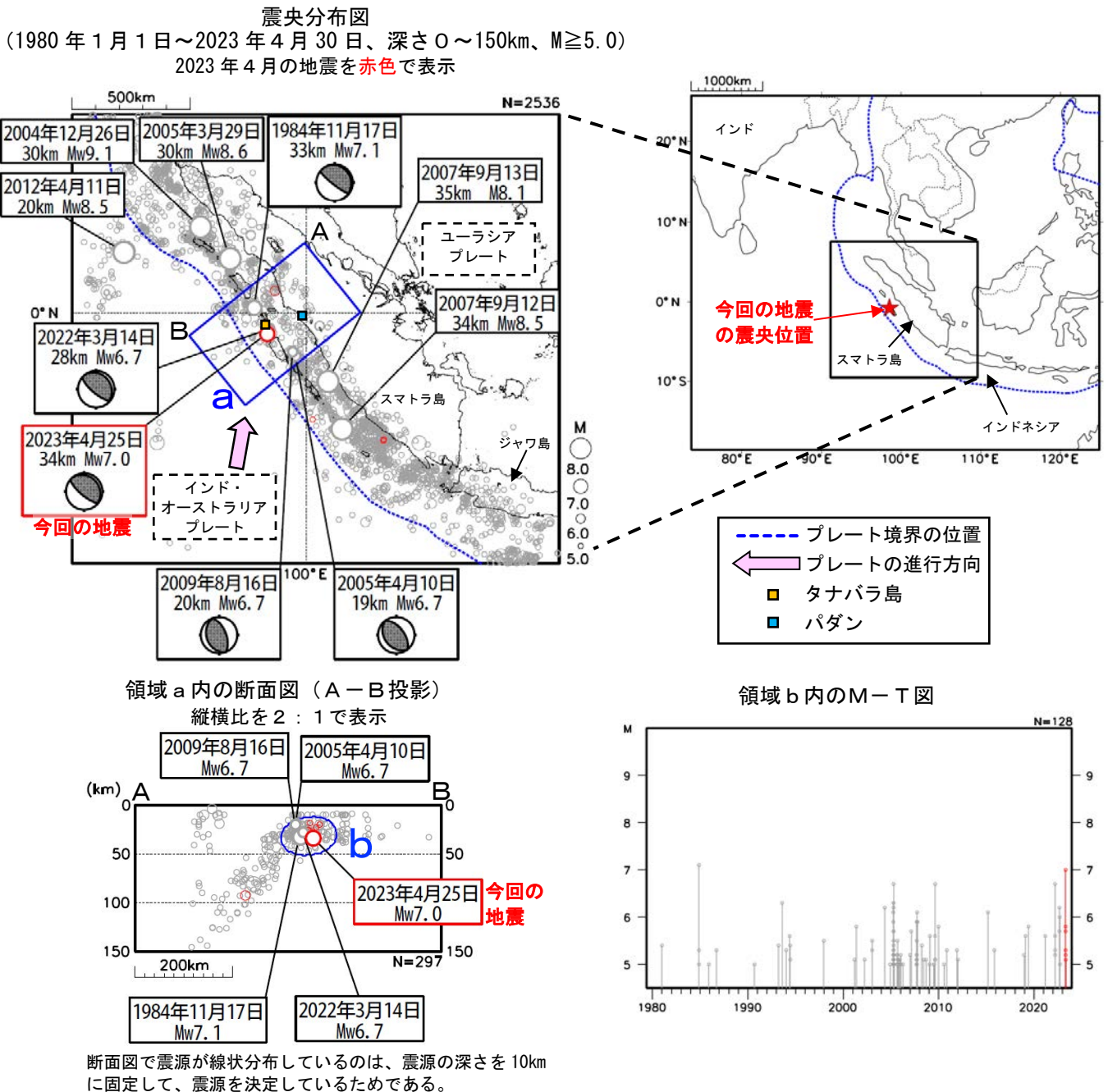
^{*2} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

4月25日 インドネシア、スマトラ南部の地震

2023年4月25日05時00分（日本時間、以下同じ）にインドネシア、スマトラ南部の深さ34kmでMw7.0の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日05時32分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、タナバラ島（インドネシア）で0.1mの津波を観測した。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM6.0以上の地震が時々発生している。2009年8月16日にはMw6.7の地震が発生し、負傷者9人などの被害が生じたほか、パダン（インドネシア）で0.18mの津波を観測した。また、今回の地震の震央から北西へ約600km離れたところでは2004年12月26日にMw9.1の地震の地震が発生し、死者283,000人以上などの甚大な被害が生じた。



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2023年5月9日現在）。ただし、発震機構とMwは、2004年12月26日の地震はUSGS、今回の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2023年5月9日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和5年（2023年）4月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和5年（2023年）4月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和5年4月中に震度1以上を観測した地震は147回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度(平成25年12月 地震・火山月報(防災編)の付録2参照)を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「f」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 29	青森県東方沖 北海道 2 函館市新浜町*=1.6 様似町栄町*=1.5 1 函館市泊町*=1.0 浦河町潮見=0.8 青森県 2 野辺地町野辺地*=1.7 五戸町古館=1.6 七戸町森ノ上*=1.5 1 青森南部町苫米地*=1.4 五戸町倉石中市*=1.3 八戸市湊町=1.3 八戸市南郷*=1.3 青森南部町平*=1.2 むつ市大畑町中島*=1.2 八戸市内丸*=1.1 東通村砂子又沢内*=1.1 おいらせ町中下田*=1.0 むつ市金曲=0.9 むつ市金谷*=0.9 三戸町在府小路町*=0.9 三沢市桜町*=0.9 青森南部町沖田面*=0.9 横浜町林ノ脇*=0.9 東北町上北南*=0.9 東北町塔ノ沢山*=0.9 横浜町寺下*=0.8 七戸町七戸*=0.8 六戸町犬落瀬*=0.8 むつ市川内町*=0.8 階上町道仏*=0.8 平内町東田沢*=0.7 青森市花園=0.7 蓬田村蓬田*=0.6 おいらせ町上明堂*=0.6 十和田市奥瀬*=0.5 東通村砂子又蒲谷地=0.5 岩手県 1 盛岡市薮川*=1.4 軽米町軽米*=1.3 二戸市浄法寺町*=1.1 八幡平市田頭*=1.1 岩手洋野町種市=0.9 盛岡市山王町=0.9 二戸市福岡=0.7	41° 09.3' N 142° 51.9' E	28km	M: 4.8	
2	1 04 33	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.6 1 一関市室根町*=1.4 奥州市前沢*=1.4 住田町世田米*=1.2 一関市大東町=1.1 一関市東山町*=1.1 大船渡市猪川町=1.1 一関市藤沢町*=1.0 北上市相去町*=1.0 釜石市中妻町*=0.9 平泉町平泉*=0.9 一関市花泉町*=0.9 奥州市衣川*=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 釜石市只越町=0.7 奥州市胆沢*=0.7 陸前高田市高田町*=0.7 遠野市青笹町*=0.6 奥州市江刺*=0.5 金ケ崎町西根*=0.5 宮城県 2 気仙沼市笹が陣*=1.8 気仙沼市赤岩=1.5 石巻市桃生町*=1.5 1 気仙沼市唐桑町*=1.3 登米市豊里町*=1.3 涌谷町新町裏=1.1 登米市迫町*=1.1 宮城美里町北浦*=1.1 栗原市栗駒=1.0 大崎市田尻*=1.0 大崎市古川三日町=0.9 大崎市古川旭*=0.9 登米市東和町*=0.9 石巻市前谷地*=0.9 登米市中田町=0.8 大崎市松山*=0.7 登米市登米町*=0.7 栗原市金成*=0.7 栗原市若柳*=0.6 登米市南方町*=0.6 栗原市築館*=0.5 大崎市鳴子*=0.5	38° 39.8' N 142° 08.5' E	44km	M: 4.2	
3	1 05 28	沖縄本島近海 鹿児島県 1 知名町瀬利寛=0.7	27° 26.7' N 128° 39.3' E	43km	M: 3.1	
4	1 06 06	千葉県北東部 茨城県 2 神栖市波崎*=1.9 1 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 茨城鹿嶋市宮中*=0.5 潮来市堀之内=0.5 千葉県 2 銚子市若宮町*=1.5 1 旭市高生*=1.3 香取市仁良*=1.3 旭市ニ*=1.2 旭市萩園*=1.2 銚子市川口町=1.0 旭市南堀之内*=1.0 銚子市小畑新町=0.9 東庄町笹川*=0.7	35° 44.3' N 140° 48.0' E	10km	M: 3.6	
5	1 07 46	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.7	29° 55.2' N 130° 01.8' E	13km	M: 2.5	
6 (注)	1 18 41 1 18 41	新潟県下越沖 山形県 3 山形小国町小国小坂町*=2.8 山形小国町岩井沢=2.8 西川町大井沢*=2.6 中山町長崎*=2.5 2 河北町谷地=2.1 戸沢村古口*=2.1 村山市中央*=2.1 山辺町緑ヶ丘*=2.1 南陽市三間通*=2.0 白鷹町荒砥*=2.0 西川町海味*=2.0 鶴岡市道田町*=1.9 尾花沢市若葉町*=1.9 大蔵村肘折*=1.9 鶴岡市温海川=1.8 河北町役場*=1.8 長井市本町*=1.8 白鷹町黒鴨=1.7 大江町左沢*=1.7 酒田市山田*=1.7 庄内町狩川*=1.6 新庄市東谷地田町=1.6 鶴岡市下名川*=1.6 山形川西町上小松*=1.6 酒田市亀ヶ崎=1.6 鶴岡市上山添*=1.6 上山市河崎*=1.5 鶴岡市藤島*=1.5 高島町高島*=1.5 山形朝日町宮宿*=1.5 三川町横山*=1.5 飯豊町上原*=1.5 1 酒田市宮野浦*=1.4 大蔵村清水*=1.4 大石田町緑町*=1.4 飯豊町椿*=1.4 米沢市林泉寺*=1.3 鶴岡市馬場町=1.3 寒河江市西根*=1.3 寒河江市中央*=1.3 鶴岡市羽黒町*=1.3 遊佐町舞鶴*=1.2 庄内町余目*=1.2 真室川町新町*=1.2 鮭川村佐渡*=1.2 酒田市飛鳥*=1.2 遊佐町遊佐=1.2 鶴岡市温海*=1.1 天童市老野森*=1.0 東根市中央*=1.0 庄内町清川*=1.0 新庄市堀端町*=1.0 酒田市本町*=0.9 新庄市住吉町*=0.9 米沢市アルカディア=0.8 舟形町舟形*=0.8 米沢市駅前=0.7 最上町向町*=0.6 山形市薬師町*=0.6 米沢市金池*=0.5 遊佐町小原田=0.5 3 阿賀町鹿瀬中学校*=2.9 佐渡市岩谷口*=2.8 佐渡市河原田本町*=2.8 佐渡市新穂瓜生屋*=2.7 新潟秋葉区程島=2.6 佐渡市両津湊*=2.5 佐渡市千種*=2.5 村上市寒川*=2.5 新潟秋葉区新津東町*=2.5 2 村上市府屋*=2.4 関川村下関*=2.4 出雲崎町米田=2.3 刈羽村割町新田*=2.3 阿賀野市岡山町*=2.3 佐渡市畑野*=2.3 新潟中央区美咲町=2.2 新潟中央区関屋*=2.2 粟島浦村笹畑=2.2 佐渡市両津支所*=2.2 新潟東区下木戸*=2.1 新潟江南区泉町*=2.1 佐渡市真野新町*=2.1	38° 18.0' N 138° 51.2' E 38° 18.3' N 138° 50.6' E	28km 27km	M: 4.9 M: 4.9	

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		胎内市黒川＊=2.0 新潟空港=2.0 柏崎市西山町池浦＊=2.0 佐渡市羽茂本郷＊=2.0 新潟西区寺尾東＊=1.9 新潟北区東栄町＊=1.9 聖籠町諏訪山＊=1.9 佐渡市赤泊＊=1.9 出雲崎町川西＊=1.8 阿賀町豊川＊=1.8 新潟南区白根＊=1.8 阿賀町白崎＊=1.8 阿賀町津川＊=1.8 五泉市太田＊=1.8 佐渡市小木町＊=1.8 阿賀町鹿瀬支所＊=1.7 佐渡市相川三町目=1.7 長岡市小島谷＊=1.7 燕市秋葉町＊=1.7 三条市西裏館＊=1.7 三条市新堀＊=1.7 十日町市松代＊=1.7 新潟中央区新潟市役所＊=1.6 阿賀野市姥ヶ橋＊=1.6 阿賀野市かがやき＊=1.6 魚沼市須原＊=1.6 粟島浦村日ノ見山＊=1.5 阿賀野市山崎＊=1.5 長岡市中之島＊=1.5 五泉市村松乙=1.5 胎内市大川町＊=1.5 柏崎市日石町＊=1.5 1 長岡市上岩井＊=1.4 長岡市小国町法坂＊=1.4 長岡市山古志竹沢＊=1.4 長岡市寺泊敦ヶ曾根＊=1.4 新発田市乙次＊=1.4 新発田市真野原外＊=1.4 村上市岩船駅前＊=1.4 村上市岩沢＊=1.4 佐渡市相川栄町＊=1.4 上越市牧区柳島＊=1.3 加茂市幸町＊=1.3 田上町原ヶ崎新田＊=1.3 新発田市中央町＊=1.3 村上市片町＊=1.3 村上市山口＊=1.3 佐渡市松ヶ崎＊=1.3 長岡市与板町与板＊=1.2 十日町市松之山＊=1.2 見附市昭和町＊=1.2 村上市三之町＊=1.2 上越市柿崎区柿崎＊=1.2 上越市頸城区百間町＊=1.2 五泉市愛宕甲＊=1.2 上越市吉川区原之町＊=1.2 長岡市浦＊=1.2 村上市塩町=1.1 上越市安塚区安塚＊=1.1 長岡市金町＊=1.1 上越市三和区井ノ口＊=1.1 新発田市住田＊=1.1 新潟西蒲区役所=1.1 三条市荻堀＊=1.1 柏崎市高柳町岡野町＊=1.0 魚沼市下折立=1.0 燕市分水桜町＊=1.0 魚沼市今泉＊=1.0 弥彦村矢作＊=1.0 阿賀野市畑江=1.0 胎内市新和町=1.0 南魚沼市六日町=1.0 新発田市本町＊=0.9 新潟西蒲区巻甲＊=0.9 魚沼市大沢＊=0.9 上越市浦川原区釜淵＊=0.8 小千谷市城内=0.7 上越市大島区岡＊=0.7 長岡市幸町=0.7 長岡市千手＊=0.7 上越市中ノ俣=0.7 上越市木田＊=0.7 佐渡市相川金山=0.7 上越市大潟区土底浜＊=0.7 魚沼市堀之内＊=0.6 魚沼市穴沢＊=0.6 上越市大手町=0.6 南魚沼市浦佐＊=0.6 南魚沼市塩沢庁舎＊=0.6 長岡市寺泊一里塚＊=0.5 小千谷市旭町＊=0.5 長岡市東川口＊=0.5 魚沼市小出島＊=0.5 2 大崎市古川三日町=1.5 1 登米市南方町＊=1.4 大崎市田尻＊=1.3 色麻町四竈＊=1.2 宮城加美町中新田＊=1.2 宮城美里町木間塚＊=1.2 大崎市古川旭＊=1.2 大河原町新南＊=1.1 角田市角田＊=1.0 松島町高城=0.9 登米市迫町＊=0.9 宮城川崎町前川＊=0.8 白石市亘理町＊=0.8 宮城加美町小野田＊=0.7 丸森町鳥屋＊=0.7 栗原市築館＊=0.7 栗原市高清水＊=0.6 東松島市矢本＊=0.6 栗原市一迫＊=0.5 2 只見町只見＊=2.4 西会津町登世島＊=2.0 猪苗代町千代田＊=2.0 会津美里町新鶴庁舎＊=2.0 只見町黒谷＊=1.9 会津坂下町市中三番甲＊=1.8 湯川村清水田＊=1.7 喜多方市御清水＊=1.6 西会津町野沢=1.6 喜多方市松山町＊=1.6 喜多方市高郷町＊=1.6 喜多方市山都町＊=1.5 1 郡山市湖南町＊=1.4 喜多方市塩川町＊=1.4 福島金山町川口＊=1.4 福島昭和村下中津川＊=1.4 磐梯町磐梯＊=1.3 猪苗代町城南=1.3 柳津町柳津＊=1.3 会津美里町本郷庁舎＊=1.3 三島町宮下＊=1.1 会津若松市北会津町＊=1.0 南会津町界＊=0.9 会津若松市材木町=0.7 檜枝岐村上河原＊=0.7 郡山市朝日=0.7 南会津町田島=0.5 秋田県 1 にかほ市平沢＊=1.0 にかほ市象潟町浜ノ田＊=0.9 由利本荘市矢島町矢島町＊=0.8 栃木県 1 日光市湯元＊=1.0 群馬県 1 沼田市西倉内町=1.4 沼田市下久屋町＊=1.2 沼田市尾瀬高等学校=0.9 沼田市白沢町＊=0.9 渋川市赤城町＊=0.7 石川県 1 輪島市鳳至町=0.6 珠洲市正院町＊=0.6				
7	1 18 44	新潟県下越沖 新潟県 1 関川村下関＊=1.4 佐渡市河原田本町＊=1.2 胎内市黒川＊=0.7 阿賀町鹿瀬中学校＊=0.7 佐渡市新徳瓜生屋＊=0.7 佐渡市千種＊=0.5 村上市寒川＊=0.5 佐渡市両津湊＊=0.5	38° 18.1' N	138° 51.8' E	27km	M: 4.0
8	1 19 03	長野県北部 長野県 1 山ノ内町消防署＊=0.7	36° 41.6' N	138° 24.4' E	3km	M: 2.2
9	1 22 19	宮城県北部 宮城県 1 栗原市高清水＊=1.0 栗原市築館＊=0.8 栗原市瀬峰＊=0.7	38° 41.0' N	141° 03.4' E	13km	M: 2.4
10	1 22 23	有明海 熊本県 2 熊本西区春日=1.5 1 宇城市不知火町＊=0.8 上天草市大矢野町=0.7	32° 44.3' N	130° 35.7' E	11km	M: 3.1
11	1 22 48	福島県会津 福島県 1 北塩原村北山＊=0.7	37° 39.8' N	140° 02.2' E	6km	M: 2.8
12	1 22 57	宮城県沖 宮城県 2 登米市豊里町＊=1.7 石巻市桃生町＊=1.7 女川町女川＊=1.5 1 涌谷町新町裏=1.4 石巻市鮎川浜＊=1.4 石巻市大街道南＊=1.4 石巻市北上町＊=1.3 石巻市雄勝町＊=1.3 大崎市鹿島台＊=1.2 大崎市田尻＊=1.1 石巻市泉町=1.1 宮城川崎町前川＊=1.0 気仙沼市唐桑町＊=1.0 気仙沼市笹が陣＊=1.0 東松島市矢本＊=1.0 東松島市小野＊=0.9 亘理町悠里＊=0.9 松島町高城=0.9 登米市東和町＊=0.8 名取市増田＊=0.8 宮城美里町北浦＊=0.8 登米市南方町＊=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 仙台若林区遠見塚＊=0.6 栗原市栗駒=0.6 南三陸町歌津＊=0.6 仙台宮城野区苦竹＊=0.6 登米市中田町=0.5 栗原市瀬峰＊=0.5 岩手県 1 一関市簔沢町＊=1.2 一関市室根町＊=1.1 一関市千厩町＊=1.1 住田町世田米＊=0.8 大船渡市大船渡町=0.7 一関市東山町＊=0.6 一関市大東町=0.5 福島県 1 相馬市中村＊=0.7 田村市船引町=0.5	38° 10.6' N	141° 42.4' E	52km	M: 3.8
13	2 13 14	茨城県沖 福島県 1 天栄村下松本＊=0.6 茨城県 1 日立市助川小学校＊=0.5	36° 20.1' N	141° 29.5' E	29km	M: 4.4

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
14	2 16 40	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=1.1 珠洲市大谷町*=1.0	37° 28.0' N	137° 11.7' E	12km	M: 3.0
15	2 17 34	茨城県北部 福島県 2 矢祭町東館*=2.0 玉川村小高*=1.5 1 棚倉町棚倉中居野=1.4 浅川町浅川*=1.4 矢祭町戸塚*=1.3 白河市東*=1.3 白河市新白河*=1.2 鏡石町不時沼*=1.0 泉崎村泉崎*=1.0 檜枝岐村上河原*=0.8 石川町長久保*=0.8 白河市大信*=0.7 須賀川市岩瀬支所*=0.7 いわき市錦町*=0.7 古殿町松川横川=0.6 田村市都路町*=0.6 白河市郭内=0.5 郡山市朝日=0.5 天栄村湯本支所*=0.5 須賀川市八幡山*=0.5 茨城県 2 笠間市石井*=2.4 東海村東海*=2.3 常陸大宮市北町*=2.3 桜川市岩瀬*=2.2 城里町小勝*=2.1 城里町石塚*=2.0 水戸市金町=2.0 笠間市笠間*=1.9 水戸市内原町*=1.9 筑西市門井*=1.9 大子町池田*=1.9 桜川市真壁*=1.9 水戸市千波町*=1.9 ひたちなか市東石川*=1.8 常陸太田市高柿町*=1.8 土浦市常名=1.8 石岡市柿岡=1.8 水戸市栗崎町*=1.7 桜川市羽田*=1.7 那珂市瓜連*=1.7 城里町阿波山*=1.6 日立市十王町友部*=1.6 日立市助川小学校*=1.6 常陸大宮市山方*=1.5 常陸大宮市野口*=1.5 1 取手市寺田*=1.4 坂東市馬立*=1.4 笠間市下郷*=1.3 小美玉市小川*=1.3 小美玉市堅倉*=1.3 土浦市田中*=1.3 つくば市天王台*=1.3 つくば市研究学園*=1.3 筑西市海老ヶ島*=1.3 日立市役所*=1.3 常陸太田市町屋町=1.3 ひたちなか市南神敷台*=1.2 守谷市大柏*=1.2 常陸大宮市中富町=1.2 常陸太田市金井町*=1.2 常陸太田市中大町*=1.2 北茨城市磯原町*=1.2 石岡市八郷*=1.2 笠間市中央*=1.2 北茨城市中郷町*=1.1 坂東市役所*=1.1 石岡市石岡*=1.1 筑西市二木成*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 石岡市若宮*=1.0 八千代町菅谷*=1.0 かすみがうら市土上土田*=1.0 土浦市藤沢*=1.0 つくば市小茎*=0.9 坂東市山*=0.9 下妻市本城町*=0.9 鉾田市汲上*=0.9 常陸太田市町田町*=0.9 小美玉市上玉里*=0.8 茨城町小堤*=0.8 行方市麻生*=0.8 高萩市安良川*=0.8 常陸大宮市高部*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.8 筑西市舟生=0.8 那珂市福田*=0.7 鉾田市造谷*=0.7 境町旭町*=0.6 結城市中央町*=0.6 大洗町磯浜町*=0.6 美浦村受領*=0.6 阿見町中央*=0.6 下妻市鬼怒*=0.6 五霞町小福田*=0.6 ひたちなか市山ノ上町=0.5 稲敷市伊佐津*=0.5 常総市新石下*=0.5 常総市水海道諏訪町*=0.5 坂東市岩井=0.5 栃木県 2 市貝町市塙*=2.0 益子町益子=1.6 真岡市田町*=1.5 栃木那珂川町小川*=1.5 1 茂木町茂木*=1.4 芳賀町祖母井*=1.4 真岡市荒町*=1.3 大田原市湯津上*=1.2 壬生町壬生甲*=1.1 栃木那珂川町馬頭*=1.1 宇都宮市明保野町=1.0 真岡市石島*=1.0 日光市鬼怒川温泉大原*=1.0 栃木さくら市喜連川*=0.9 那須烏山市神長=0.9 宇都宮市中里町*=0.9 那須烏山市大金*=0.8 那須烏山市役所*=0.8 那須町寺子*=0.8 下野市田中*=0.8 下野市笹原*=0.8 足利市大正町*=0.7 日光市藤原庁舎*=0.7 宇都宮市旭*=0.6 日光市芹沼*=0.6 日光市黒部*=0.6 佐野市高砂町*=0.5 小山市神鳥谷*=0.5 茂木町北高岡天矢場*=0.5 群馬県 1 桐生市元宿町*=0.7 桐生市黒保根町*=0.5 埼玉県 1 春日部市粕壁*=1.0 久喜市下早見=0.7 春日部市金崎*=0.7 嵐山町杉山*=0.6 熊谷市江南*=0.5 東松山市松葉町*=0.5 宮代町笠原*=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*=1.3 野田市東宝珠花*=0.8 柏市旭町=0.7 東京都 1 東京練馬区豊玉北*=1.1	36° 27.8' N	140° 35.7' E	55km	M: 3.8
16	2 22 07	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.5	26° 59.8' N	142° 27.9' E	77km	M: -, -
17	2 23 17	宮城県沖 岩手県 1 一関市東山町*=1.2 一関市千厩町*=1.1 住田町世田米*=1.1 一関市室根町*=1.1 一関市大東町=0.9 大船渡市大船渡町=0.8 一関市藤沢町*=0.7 釜石市中妻町*=0.6 大船渡市猪川町=0.6 陸前高田市高田町*=0.5 一関市花泉町*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=1.1 登米市南方町*=1.0 宮城川崎町前川*=1.0 石巻市桃生町*=1.0 大崎市田尻*=0.9 栗原市若柳*=0.9 柴田町船岡=0.9 登米市東和町*=0.9 登米市石越町*=0.8 松島町高城=0.8 登米市中田町=0.7 気仙沼市唐桑町*=0.7 名取市増田*=0.7 東松島市矢本*=0.7 大衡村大衡*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.6 石巻市大街道南*=0.6 東松島市小野*=0.6 涌谷町新町裏=0.6 登米市米山町*=0.6 栗原市栗駒=0.6 仙台北空港=0.5	38° 19.2' N	141° 39.3' E	61km	M: 4.0
18	3 05 39	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町*=0.8	37° 31.4' N	137° 13.7' E	14km	M: 2.7
19	3 10 12	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=1.3	26° 56.0' N	142° 47.2' E	40km	M: -, -
20	3 14 48	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.8	26° 56.9' N	142° 19.1' E	75km	M: -, -
21	3 21 44	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 南阿蘇村中松=0.5	32° 56.8' N	131° 02.3' E	9km	M: 2.7
22	4 06 41	父島近海 東京都 2 小笠原村母島=1.6	26° 58.0' N	142° 21.1' E	73km	M: -, -
23	4 06 58	紀伊水道 和歌山県 1 有田市初島町*=0.6 海南市下津*=0.5	34° 09.5' N	135° 07.0' E	8km	M: 2.5

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
24	4 12 53	茨城県南部 茨城県 栃木県 千葉県 1 日立市助川小学校※=0.8 大子町池田※=0.7 常陸大宮市山方※=0.5 常陸太田市町屋町=0.5 1 宇都宮市明保野町=0.5 宇都宮市中里町※=0.5 壬生町壬生甲※=0.5 1 千葉若葉区野呂町※=0.7	36° 08.8' N	140° 19.9' E	96km	M: 3.3
25	4 14 04	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町※=0.6	36° 03.0' N	137° 31.4' E	5km	M: 2.0
26	4 16 07	父島近海 東京都 3 小笠原村母島=2.7 2 小笠原村父島三日月山=2.0 小笠原村父島西町=1.9	26° 59.0' N	142° 21.6' E	76km	M: 5.1
27	4 16 11	宮城県沖 宮城県 2 石巻市桃生町※=1.5 1 登米市豊里町※=1.4 涌谷町新町裏=1.3 女川町女川※=1.3 石巻市北上町※=1.1 石巻市大街道南※=1.0 気仙沼市唐桑町※=1.0 石巻市鮎川浜※=0.9 気仙沼市笹が陣※=0.9 大崎市鹿島台※=0.9 大崎市田尻※=0.9 仙台区区将監※=0.8 石巻市泉町=0.8 松島町高城=0.8 登米市東和町※=0.8 東松島市矢本※=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 東松島市小野※=0.7 七ヶ浜町東宮浜※=0.6 石巻市雄勝町※=0.6 仙台宮城野区苦竹※=0.5 大崎市松山※=0.5 栗原市金成※=0.5 登米市中田町=0.5 岩手県 1 一関市室根町※=1.3 一関市藤沢町※=1.2 一関市千厩町※=1.0 住田町世田米※=0.5 一関市東山町※=0.5	38° 10.3' N	141° 41.8' E	53km	M: 3.7
28	4 19 50	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.7	26° 59.2' N	142° 19.6' E	82km	M: -, -
29	4 23 00	種子島近海 鹿児島県 2 中種子町野間※=1.6 1 西之表市住吉=1.1 錦江町田代支所※=0.5	30° 35.5' N	131° 08.8' E	30km	M: 3.8
30	5 00 15	釧路沖 北海道 2 浜中町茶内※=1.8 1 別海町西春別※=1.3 標茶町塘路※=1.2 釧路市黒金町※=1.2 標津町北2条※=1.1 根室市厚床※=1.1 弟子屈町弟子屈※=1.0 厚岸町尾幌=1.0 別海町常盤=0.9 十勝池田町西1条※=0.9 根室市牧の内※=0.9 釧路市幸町=0.9 鶴居村鶴居東※=0.8 十勝大樹町生花※=0.8 根室市落石東※=0.8 別海町本別海※=0.7 根室市瑠璃瑠※=0.7 中標津町養老牛=0.6 標茶町川上※=0.5	42° 45.4' N	145° 04.3' E	60km	M: 4.2
31	5 02 28	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.5	26° 57.1' N	142° 31.8' E	67km	M: -, -
32	5 04 03	四国沖 愛媛県 高知県 1 愛南町一本松※=0.8 1 宿毛市片島=1.3 宿毛市桜町※=1.0	32° 42.3' N	132° 38.3' E	32km	M: 3.2
33	5 06 24	愛知県西部 岐阜県 2 恵那市山岡町※=1.9 恵那市上矢作町※=1.7 1 岐南町八剣※=1.2 各務原市川島河田町※=1.1 瑞浪市上平町※=1.1 八百津町八百津※=1.0 大垣市墨俣町※=1.0 大垣市丸の内※=1.0 美濃市役所※=1.0 恵那市明智町※=0.8 美濃加茂市太田町=0.8 可児市広見※=0.8 土岐市泉町※=0.7 岐阜山県市高富※=0.7 坂祝町取組※=0.7 中津川市山口※=0.7 関市若草通り※=0.7 土岐市肥田※=0.6 関市洞戸市場※=0.6 笠松町司町※=0.6 岐阜山県市大門※=0.6 御嵩町御嵩※=0.6 本巣市下真桑※=0.6 岐阜市加納二之丸=0.6 中津川市本町※=0.6 中津川市福岡※=0.6 瑞穂市別府※=0.5 中津川市坂下※=0.5 岐阜市京町※=0.5 岐阜市柳津町※=0.5 美濃加茂市西町※=0.5 恵那市長島小学校※=0.5 大野町大野※=0.5 愛知県 2 豊田市長興寺※=2.0 名古屋名東区名東本町※=1.8 一宮市木曽川町※=1.5 1 名古屋千種区日和町=1.4 豊田市小坂町※=1.4 長久手市岩作城の内※=1.4 犬山市五郎丸※=1.3 大府市中央町※=1.3 豊田市大沼町※=1.3 豊田市坂上町※=1.2 西尾市矢曾根町※=1.2 豊田市大洞町=1.2 東郷町春木※=1.2 瀬戸市追分町※=1.2 豊田市保見町※=1.1 常滑市飛香台=1.1 東浦町緒川※=1.1 清須市春日振形※=1.1 清須市西枇杷島町住吉※=1.1 愛知みよし市三好町※=1.1 名古屋緑区有松町※=1.1 知多市緑町※=1.0 尾張旭市東大道町※=1.0 日進市蟹甲町※=1.0 名古屋天白区島田※=1.0 名古屋中区県庁※=1.0 刈谷市寿町※=0.9 高浜市稗田町※=0.9 豊田市小坂本町=0.9 新城市作手高里松風呂※=0.9 一宮市緑※=0.8 東海市加木屋町※=0.8 新城市東入船※=0.8 豊根村富山※=0.8 名古屋北区萩野通※=0.8 名古屋中村区大宮町※=0.8 扶桑町高雄※=0.8 幸田町菱池※=0.8 愛西市石田町※=0.8 豊田市小原町※=0.8 弥富市前ヶ須町※=0.8 一宮市西五城※=0.8 豊田市百々町※=0.7 大口町下小口※=0.7 蟹江町蟹江本町※=0.7 阿久比町功坂※=0.7 豊田市足助町※=0.7 岡崎市檜山町※=0.7 豊明市香掛町※=0.6 名古屋西区八筋町※=0.6 安城市横山町※=0.6 西尾市一色町=0.6 西尾市吉良町※=0.6 あま市甚目寺※=0.6 小牧市安田町※=0.6 豊橋市向山=0.6 新城市作手清岳=0.6 安城市和泉町※=0.5 新城市作手高里縄手上※=0.5 設楽町田口※=0.5 西尾市西幡豆町※=0.5 豊根村下黒川※=0.5 半田市東洋町※=0.5 愛西市諏訪町※=0.5 愛知江南市赤童子町※=0.5 稲沢市平和町※=0.5 稲沢市稲府町※=0.5 あま市七宝町※=0.5 名古屋中区市役所※=0.5 知立市弘法※=0.5 蒲郡市御幸町※=0.5 長野県 1 根羽村役場※=1.1 売木村役場※=0.9 王滝村鈴ヶ沢※=0.8 飯田市高羽町=0.8 木曽町三岳※=0.7 飯田市上郷黒田※=0.7 長野高森町下市田※=0.7 平谷村役場※=0.7 阿智村浪合※=0.6 木曽町新開※=0.6 泰阜村役場※=0.6 下條村睦沢※=0.5	35° 04.9' N	137° 17.2' E	39km	M: 3.7

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度	緯度 (計 測 震 度)	経度	深さ	規模	
34	5 08 33	静岡県	1	浜松天竜区佐久間町	*=1.1	浜松天竜区春野町	*=0.7
		三重県	1	桑名市多度町多度	*=0.7	桑名市長島町松ヶ島	*=0.7
				鈴鹿市西条	=0.7	木曽岬町西対海地	*=0.7
		トカラ列島近海	29° 48.0' N	129° 50.7' E	10km	M: 3.0	
		鹿児島県	3	鹿児島十島村中之島徳之尾	=2.8		
			2	鹿児島十島村中之島出張所	*=2.1		
35	5 14 06	千葉県西北部	35° 29.8' N	140° 03.0' E	84km	M: 3.6	
		千葉県	1	市原市姉崎	*=0.9	千葉花見川区花島町	*=0.6
		東京都	1	東京練馬区豊玉北	*=1.2	東京千代田区大手町	=0.8
		神奈川県	1	横浜保土ヶ谷区上菅田町	*=0.6	横浜旭区今宿東町	*=0.6
		静岡県	1	富士宮市野中	*=0.5	三浦市城山町	*=0.6
36	5 23 10	父島近海	26° 57.8' N	142° 18.2' E	76km	M: -. -	
		東京都	1	小笠原村母島	=0.5		
37	6 12 57	父島近海	26° 57.7' N	142° 19.9' E	74km	M: -. -	
		東京都	1	小笠原村母島	=0.8		
38	6 13 10	択捉島南東沖	44° 02.3' N	147° 54.3' E	72km	M: 4.6	
		北海道	1	根室市落石東	*=1.2	根室市瑤瑤瑁	*=0.9
				標津町北2条	*=0.7	別海町常盤	=0.6
39	6 14 15	トカラ列島近海	29° 56.7' N	130° 01.1' E	11km	M: 2.2	
		鹿児島県	1	鹿児島十島村中之島徳之尾	=0.5		
40	6 19 07	石川県能登地方	37° 30.7' N	137° 13.0' E	13km	M: 3.3	
		石川県	1	珠洲市正院町	*=1.3		
41	7 07 09	父島近海	27° 00.1' N	142° 21.6' E	74km	M: 4.4	
		東京都	1	小笠原村父島三日月山	=1.4	小笠原村母島	=1.3
				小笠原村父島西町	=1.2		
42	7 13 46	熊本県熊本地方	32° 32.0' N	130° 40.7' E	9km	M: 3.8	
		熊本県	3	八代市泉支所	*=2.9		
			2	氷川町島地	*=2.4	八代市千丁町	*=2.2
				宇城市小川町	*=2.2	八代市新地町	*=2.2
				宇城市豊野町	*=2.1	宇城市豊野町	*=2.1
				八代市景町	*=2.1	八代市鏡町	*=2.1
				熊本南区城南町	*=2.1	八代市平山新町	=1.9
				八代市東陽町	*=1.9	八代市東陽町	*=1.9
				熊本美里町永富	*=1.9	宇城市不知火町	*=1.9
				八代市坂本町	*=1.8	甲佐町豊内	*=1.8
				氷川町宮原	*=1.7	熊本西区春日	=1.6
				熊本美里町馬場	*=1.5		
			1	御船町御船	*=1.4	宇城市三角町	*=1.4
				嘉島町上島	*=1.3	山都町浜町	*=1.2
				熊本南区富合町	*=1.2	熊本南区富合町	*=1.2
				五木村甲	*=1.2	上天草市松島町	*=1.2
				益城町惣領	*=1.1	山鹿市鹿央町	*=1.1
				熊本中央区大江	*=1.0	上天草市姫戸町	*=0.9
				球磨村渡	*=0.6	水上村岩野	*=0.6
				熊本東区佐土原	*=0.5	水俣市牧ノ内	*=0.5
				人吉市蟹作町	*=0.5		
		長崎県	1	南島原市布津町	*=0.9	雲仙市小浜町雲仙	=0.7
		宮崎県	1	椎葉村総合運動公園	*=1.2	延岡市北方町卯	*=0.8
				椎葉村下福良	*=0.8	西都市上の宮	*=0.7
				諸塚村家代	*=0.5		
43	7 21 14	父島近海	26° 59.3' N	142° 20.2' E	82km	M: 4.0	
		東京都	1	小笠原村母島	=1.0	小笠原村父島三日月山	=0.5
44	7 21 46	茨城県沖	36° 45.1' N	141° 16.5' E	75km	M: 4.0	
		福島県	2	田村市大越町	*=1.7	田村市都路町	*=1.5
			1	大熊町大川原	*=1.4	葛尾村落合落合	*=1.4
				小野町小野新町	*=1.3	相馬市中村	*=1.3
				檜葉町北田	*=1.3	二本松市油井	*=1.3
				玉川村小高	*=1.3	田村市船引町	=1.2
				本宮市白岩	*=1.2	いわき市錦町	*=1.2
				2川内村下川内	=1.2	富岡町本岡	*=1.1
				いわき市小名浜	=1.1	田村市常葉町	*=1.1
				福島伊達市霊山町	*=1.1	新地町谷地小屋	*=1.1
				天栄村下松本	*=1.0	川内村上川内早渡	*=1.0
				いわき市平四ツ波	*=1.0	白河市新白河	*=1.0
				小野町中通	*=1.0	飯館村伊丹沢	*=1.0
				本宮市本宮	*=1.0	川俣町五百田	*=1.0
				双葉町長塚	*=0.9	浪江町幾世橋	=0.9
				棚倉町棚倉中居野	=0.9	二本松市針道	*=0.9
				古殿町松川新桑原	*=0.8	須賀川市岩瀬支所	*=0.8
				大玉村南小屋	=0.8	二本松市金色	*=0.8
				泉崎村泉崎	*=0.8	郡山市開成	*=0.8
				浅川町浅川	*=0.8	福島市松木町	=0.7
				石川町長久保	*=0.7	福島市五老内町	*=0.7
				大玉村玉井	*=0.7	川内村上川内小山平	*=0.6
				いわき市三和町	=0.6	大熊町野上	*=0.6
				矢祭町戸塚	*=0.6	福島広野町下北迫大谷地原	*=0.6
				須賀川市八幡山	*=0.5	郡山市朝日	=0.5
		茨城県	2	笠間市石井	*=2.2	水戸市栗崎町	*=1.8
				日立市助川小学校	*=1.8	高萩市安良川	*=1.8
				北茨城市磯原町	*=1.8	水戸市内原町	*=1.8
				北茨城市中郷町	*=1.7	笠間市笠間	*=1.7
				茨城町小堤	*=1.7	東海村東海	*=1.7
				笠間市中央	*=1.6	ひたちなか市南神敷台	*=1.5
				日立市十王町友部	*=1.5	城里町小勝	*=1.5
				桜川市岩瀬	*=1.5	水戸市千波町	*=1.4
				高萩市本町	*=1.4	常陸大宮市山方	*=1.4
				土浦市常名	=1.4	筑西市門井	*=1.4
				鉾田市造谷	*=1.4	城里町石塚	*=1.3
				小美玉市堅倉	*=1.3	桜川市真壁	*=1.3
				桜川市羽田	*=1.3	水戸市金町	=1.3
				小美玉市小川	*=1.2	常陸大宮市北町	*=1.2
				那珂市瓜連	*=1.2	城里町阿波山	*=1.1
				日立市役所	*=1.1	常陸太田市大中町	*=1.1
				石岡市柿岡	=1.1	つくば市研究学園	*=1.1
				大子町池田	*=1.1	鉾田市汲上	*=1.1
				常陸太田市町屋	=1.0	常陸太田市町田町	*=1.0
				ひたちなか市東石川	*=1.0	鉾田市鉾田	=1.0
				常陸大宮市野口	*=1.0	茨城鹿嶋市官中	*=0.9
				かすみがうら市大和田	*=0.9	かすみがうら市上土田	*=0.9
				常陸太田市高柿町	*=0.9	常陸太田市金井町	*=0.9
				石岡市若宮	*=0.9	石岡市八郷	*=0.9
				笠間市下郷	*=0.8		

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		ひたちなか市山ノ上町=0.8 土浦市田中*=0.8 土浦市藤沢*=0.8 大洗町磯浜町*=0.8 石岡市石岡*=0.7 常陸大宮市高部*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 小美玉市上玉里*=0.7 美浦村受領*=0.7 つくば市天王台*=0.6 潮来市堀之内=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.6 筑西市海老ヶ島*=0.6 筑西市二木成*=0.6 取手市寺田*=0.6 筑西市舟生=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=1.2 角田市角田*=1.2 山元町浅生原*=1.1 名取市増田*=0.8 亘理町悠里*=0.7 丸森町上滝=0.7 栃木県 1 真岡市石島*=1.3 益子町益子=0.8 市貝町市塙*=0.8 真岡市田町*=0.7 宇都宮市明保野町=0.6 壬生町壬生甲*=0.6 那須烏山市神長=0.6 小山市神鳥谷*=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*=0.8 桐生市黒保根町*=0.6 千葉県 1 香取市佐原平田=0.6 香取市仁良*=0.5				
45	8 04 21	熊本県球磨地方 熊本県 1 人吉市西間下町=0.7 球磨村渡*=0.5	32° 13.4' N	130° 46.9' E	8km	M: 2.5
46	8 05 57	福島県浜通り 福島県 1 田村市船引町=0.9 田村市都路町*=0.9 大熊町大川原*=0.9 川内村下川内=0.7 檜葉町北田*=0.6	37° 04.5' N	140° 58.4' E	88km	M: 3.6
47	8 08 58	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=1.3	26° 58.9' N	142° 21.5' E	80km	M: -, -
48	8 15 01	埼玉県北部 埼玉県 2 東松山市市ノ川*=1.7 桶川市泉*=1.7 熊谷市大里*=1.6 1 東松山市松葉町*=1.4 滑川町福田*=1.4 さいたま北区宮原*=1.3 上尾市本町*=1.3 川島町下八ツ林*=1.1 さいたま西区指扇*=1.1 加須市大利根*=1.0 伊奈町中央*=1.0 吉見町下細谷*=0.9 さいたま大宮区大門*=0.9 さいたま見沼区堀崎*=0.9 春日部市粕壁*=0.9 北本市本町*=0.9 熊谷市江南*=0.8 鴻巣市中央*=0.8 川口市中青木分室*=0.8 狭山市入間川*=0.8 久喜市下早見=0.7 嵐山町杉山*=0.7 春日部市金崎*=0.7 加須市騎西*=0.6 埼玉美里町木部*=0.6 宮代町笠原*=0.6 さいたま大宮区天沼町*=0.6 小川町大塚*=0.5 茨城県 1 土浦市常名=1.4 筑西市門井*=1.2 桜川市真壁*=0.9 笠間市石井*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 小美玉市小川*=0.8 石岡市柿岡=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 小美玉市上玉里*=0.8 水戸市内原町*=0.7 取手市寺田*=0.7 坂東市役所*=0.7 笠間市中央*=0.7 土浦市藤沢*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 境町旭町*=0.6 水戸市千波町*=0.6 笠間市笠間*=0.5 石岡市若宮*=0.5 石岡市石岡*=0.5 水戸市金町=0.5 つくば市小莖*=0.5 笠間市下郷*=0.5 つくばみらい市福田*=0.5 坂東市岩井=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.1 佐野市高砂町*=1.1 下野市笹原*=0.8 野木町丸林*=0.7 下野市田中*=0.7 小山市神鳥谷*=0.6 壬生町壬生甲*=0.6 栃木市藤岡町藤岡*=0.6 栃木市岩舟町静*=0.6 佐野市葛生東*=0.5 宇都宮市中里町*=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*=1.1 渋川市吹屋*=1.0 桐生市黒保根町*=0.9 前橋市粕川町*=0.8 桐生市元宿町*=0.8 板倉町板倉=0.7 千葉県 1 野田市鶴奉*=1.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.7 白井市復*=0.7 柏市旭町=0.5 東京都 1 東京中野区中野*=1.4 東京練馬区豊玉北*=1.1 小平市小川町*=1.0 国分寺市泉町*=0.9 西東京市中町*=0.9 東京千代田区大手町=0.8 東京杉並区高井戸*=0.8 東京北区西ヶ原*=0.7 東京世田谷区三軒茶屋*=0.6 調布市西つつじヶ丘*=0.6 青梅市日向和田*=0.6 東京新宿区上落合*=0.5 東京板橋区相生町*=0.5				
49	8 20 59	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町*=1.1	37° 31.8' N	137° 14.8' E	13km	M: 3.0
50	9 00 40	日高地方東部 北海道 1 浦幌町桜町*=1.4 幕別町忠類錦町*=1.3 十勝大樹町生花*=1.0 浦河町野深=0.9 本別町向陽町*=0.8 浦河町築地*=0.8 浦河町潮見=0.8 更別村更別*=0.7 新ひだか町静内山手町=0.6 新ひだか町三石旭町*=0.6 芽室町東2条*=0.5	42° 20.7' N	142° 59.4' E	55km	M: 3.8
51	9 02 11	網走地方 北海道 2 津別町幸町*=1.8 1 美幌町東3条=0.9	43° 45.4' N	143° 57.3' E	11km	M: 2.7
52	9 03 52	徳島県北部 徳島県 1 石井町高川原*=0.7 徳島市新蔵町*=0.6	34° 02.5' N	134° 29.0' E	6km	M: 2.3
53	9 10 11	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.5	32° 42.1' N	130° 39.5' E	10km	M: 2.2
54	9 11 51	愛知県西部 岐阜県 2 恵那市上矢作町*=1.5 1 中津川市本町*=1.2 中津川市福岡*=1.2 多治見市三笠町*=1.2 瑞浪市上平町*=1.0 各務原市川島河田町*=0.9 中津川市山口*=0.9 多治見市笠原町*=0.9 恵那市明智町*=0.9 八百津町八百津*=0.9 中津川市かやの木町=0.8 中津川市坂下*=0.8 土岐市肥田*=0.7 土岐市泉町*=0.7 美濃加茂市太田町=0.6 岐南町八剣*=0.6 愛知県 2 豊田市藤岡飯野町*=2.2 豊田市保見町*=2.0 豊田市足助町*=1.9 豊田市長興寺*=1.8 豊田市大沼町*=1.7 岡崎市榎山町*=1.5 1 新城市作手高里松風呂*=1.3 豊田市大洞町=1.3 新城市作手清岳=1.2 豊田市小坂本町=1.2 豊田市小坂町*=1.1 安城市和泉町*=1.1 安城市横山町*=1.1 名古屋名東区名東本町*=1.0	35° 06.7' N	137° 17.4' E	40km	M: 3.7

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		豊田市小原町＊=1.0 新城市東入船＊=1.0 高浜市稗田町＊=1.0 一宮市木曽川町＊=0.9 豊橋市向山=0.9 名古屋千種区日和町=0.9 日進市蟹甲町＊=0.9 東郷町春木＊=0.9 大口町下小口＊=0.9 愛知みよし市三好町＊=0.9 長久手市岩作城の内＊=0.9 西尾市矢曾根町＊=0.8 新城市作手高里縄手上＊=0.8 名古屋瑞穂区塩入町＊=0.8 幸田町菱池＊=0.8 豊田市小渡町＊=0.8 岡崎市若宮町=0.8 犬山市五郎丸＊=0.7 愛知江南市赤童子町＊=0.7 名古屋緑区有松町＊=0.7 豊川市一宮町＊=0.7 蒲郡市水竹町＊=0.7 豊根村下黒川＊=0.7 清須市西枇杷島町住吉＊=0.7 刈谷市寿町＊=0.7 常滑市飛香台=0.6 小牧市安田町＊=0.6 大府市中央町＊=0.6 豊明市杏掛町＊=0.6 豊川市赤坂町＊=0.6 豊根村富山＊=0.6 豊川市御津町＊=0.6 蒲郡市御幸町＊=0.6 名古屋北区萩野通＊=0.5 名古屋西区八筋町＊=0.5 名古屋中村区大宮町＊=0.5 西尾市一色町=0.5 清須市春日振形＊=0.5 尾張旭市東大道町＊=0.5 北名古屋市井瀬木＊=0.5 あま市甚目寺＊=0.5 一宮市緑＊=0.5 長野県 1 売木村役場＊=1.4 泰阜村役場＊=1.2 長野高森町下市田＊=1.1 根羽村役場＊=0.6 下條村睦沢＊=0.5 静岡県 1 浜松天竜区佐久間町＊=0.8 浜松天竜区春野町＊=0.6 浜松北区三ヶ日町=0.6 浜松北区引佐町＊=0.6				
55	10 03 45	与那国島近海 沖縄県 3 与那国町役場＊=2.5 2 与那国町久部良=2.4 与那国町祖納=2.1 竹富町上原青年会館＊=1.7 1 竹富町上原小学校=1.2 竹富町大原=1.1 石垣市新栄町＊=1.1 竹富町黒島=0.9 石垣市登野城=0.9 石垣市平久保=0.8	24° 19.3' N	122° 57.4' E	49km	M: 5.0
56	10 04 11	釧路地方北部 北海道 1 弟子屈町サウンチサップ＊=1.4	43° 37.1' N	144° 25.5' E	3km	M: 2.0
57	10 05 05	福島県中通り 福島県 1 浪江町幾世橋=0.6 浅川町浅川＊=0.5	37° 12.6' N	140° 31.4' E	81km	M: 3.1
58	10 15 03	沖縄本島近海 沖縄県 1 座間味村座間味＊=1.0	26° 19.1' N	127° 19.4' E	53km	M: 3.3
59	10 16 07	滋賀県北部 滋賀県 1 高島市朽木柏＊=0.5	35° 19.0' N	135° 55.8' E	14km	M: 2.6
60	10 20 05	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町＊=1.0 珠洲市大谷町＊=0.8	37° 28.0' N	137° 09.8' E	13km	M: 3.2
61	11 04 56	新潟県中越地方 新潟県 1 出雲崎町米田=0.7 小千谷市旭町＊=0.5	37° 21.7' N	138° 44.8' E	23km	M: 2.3
62	11 09 09	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=1.1	26° 57.8' N	142° 30.8' E	73km	M: -, -
63	12 00 38	十勝沖 北海道 2 浜中町茶内＊=2.4 標茶町塘路＊=2.3 根室市厚床＊=2.2 十勝大樹町生花＊=2.0 浦幌町桜町＊=1.8 豊頃町茂岩本町＊=1.8 別海町西春別＊=1.8 釧路町別保＊=1.8 鶴居村鶴居東＊=1.7 釧路市黒金町＊=1.7 十勝池田町西1条＊=1.7 弟子屈町弟子屈＊=1.6 釧路市音別町中園＊=1.5 広尾町並木通=1.5 釧路市阿寒町中央＊=1.5 標茶町川上＊=1.5 1 新得町2条＊=1.4 幕別町忠類錦町＊=1.4 別海町常盤=1.4 別海町本別海＊=1.4 釧路市音別町尺別=1.3 白糠町西1条＊=1.3 中標津町丸山＊=1.3 標津町北2条＊=1.3 幕別町本町＊=1.3 釧路市幸町=1.3 帯広市東6条＊=1.2 根室市落石東＊=1.2 根室市瑤瑤＊=1.2 芽室町東2条＊=1.1 本別町向陽町＊=1.1 中札内村東2条＊=1.1 中標津町養老牛=1.1 広尾町白樺通=1.1 十勝大樹町東本通＊=1.0 本別町北2丁目=1.0 更別町更別＊=0.9 弟子屈町美里=0.9 厚岸町真栄＊=0.9 浜中町湯沸=0.9 音更町元町＊=0.8 羅臼町緑町＊=0.8 十勝清水町南4条=0.8 帯広市東4条=0.8 幕別町忠類明和=0.8 鹿追町東町＊=0.8 根室市牧の内＊=0.7 厚岸町尾幌=0.7 南富良野町役場＊=0.7 浦河町潮見=0.6 足寄町上螺旋湾=0.6 士幌町士幌＊=0.5 釧路市阿寒町阿寒湖温泉＊=0.5 えりも町目黒＊=0.5	42° 35.2' N	143° 42.1' E	99km	M: 4.3
64	12 00 44	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.6	26° 59.3' N	141° 40.9' E	59km	M: -, -
65	12 05 10	千葉県西北部 東京都 2 東京渋谷区本町＊=1.5 東京北区西ヶ原＊=1.5 1 東京荒川区東尾久＊=1.3 東京練馬区豊玉北＊=1.3 東京江戸川区中央=1.3 調布市西つつじヶ丘＊=1.3 小平市小川町＊=1.3 東京足立区伊興＊=1.2 東京江戸川区鹿骨＊=1.2 東京江戸川区船堀＊=1.2 東京文京区スポーツセンタ＊=1.0 東京足立区神明南＊=1.0 八王子市堀之内＊=1.0 東京千代田区大手町=1.0 東京中央区勝どき＊=1.0 東京杉並区桃井＊=0.9 東京葛飾区金町＊=0.9 東京港区海岸=0.9 東京新宿区百人町＊=0.9 国分寺市戸倉=0.9 東京江東区越中島＊=0.9 東京品川区北品川＊=0.9 東京品川区平塚＊=0.9 東京世田谷区成城＊=0.9 東京中野区中野＊=0.9 東京葛飾区立石＊=0.8 東京文京区大塚＊=0.8 東京墨田区東向島＊=0.8 東京目黒区中央町＊=0.8 西東京市中町＊=0.8 多摩市関戸＊=0.8 東京世田谷区世田谷＊=0.8 東京世田谷区三軒茶屋＊=0.8 東京渋谷区宇田川町＊=0.8 東京千代田区富士見＊=0.8 東京板橋区相生町＊=0.8 東京新宿区上落合＊=0.8 東京豊島区南池袋＊=0.7 東京北区赤羽南＊=0.7 狛江市和泉本町＊=0.7 東大和市中央＊=0.7 東京国際空港=0.7 東京練馬区東大泉＊=0.7 東京大田区本羽田＊=0.7 東京足立区千住中居町＊=0.7 東京文京区本郷＊=0.7 東京杉並区高井戸＊=0.7 東京府中市朝日町＊=0.7	35° 39.4' N	140° 06.5' E	70km	M: 3.9

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		調布市小島町※=0.7 小金井市本町※=0.6 日野市神明※=0.6 東京港区白金※=0.6 町田市森野※=0.6 東京江東区森下※=0.5 東京中野区江古田※=0.5 1 坂東市岩井=1.2 桜川市真壁※=1.1 つくば市小笠※=1.0 取手市寺田※=0.8 笠間市石井※=0.7 土浦市常名=0.5 石岡市柿岡=0.5 笠間市笠間※=0.5 群馬県 1 邑楽町中野※=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原※=1.1 八潮市中央※=1.1 春日部市金崎※=1.0 さいたま大宮区大門※=1.0 狭山市入間川※=1.0 川口市安行領家※=0.9 春日部市粕壁※=0.9 草加市中央※=0.9 さいたま大宮区天沼町※=0.8 新座市野火止※=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 三郷市中央※=0.8 朝霞市本町※=0.8 入間市豊岡※=0.7 久喜市下早見=0.7 幸手市東※=0.7 さいたま南区別所※=0.7 白岡市千駄野※=0.6 加須市騎西※=0.6 さいたま北区宮原※=0.6 久喜市青葉※=0.6 川口市中青木分室※=0.6 春日部市谷原新田※=0.6 吉川市きよみ野※=0.6 さいたま緑区中尾※=0.6 川口市三ツ和※=0.5 越谷市越ヶ谷※=0.5 加須市大利根※=0.5 さいたま見沼区堀崎※=0.5 千葉県 1 野田市鶴泰※=1.3 千葉花見川区花島町※=1.3 船橋市湊町※=1.2 柏市旭町=1.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=1.2 千葉稲毛区園生町※=1.2 市川市大町※=1.2 千葉美浜区ひび野=1.1 習志野市鷺沼※=1.1 千葉緑区おゆみ野※=1.1 千葉佐倉市海隣寺町※=1.0 柏市柏※=1.0 流山市平和台※=1.0 八千代市大和田新田※=1.0 市川市本行徳※=1.0 千葉中央区中央港=0.9 木更津市富士見※=0.9 君津市久留里市場※=0.9 松戸市西馬橋※=0.9 市原市姉崎※=0.9 千葉若葉区小倉台※=0.8 浦安市日の出=0.8 白井市復※=0.8 富津市下飯野※=0.8 長南町総合グラウンド=0.7 千葉美浜区稲毛海岸※=0.7 東金市日吉台※=0.5 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺※=1.4 横浜神奈川区広台太田町※=1.3 横浜港北区日吉本町※=1.3 横浜中区山手町=1.0 川崎川崎区千鳥町※=1.0 横浜鶴見区末広町※=0.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=0.9 横浜旭区川井宿町※=0.9 横浜緑区十日市場町※=0.9 川崎川崎区宮前町※=0.9 川崎中原区小杉町※=0.9 相模原中央区上溝※=0.8 横浜旭区今宿東町※=0.7 横須賀市光の丘=0.7 三浦市城山町※=0.7 大和市下鶴間※=0.6 川崎中原区小杉陣屋町=0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=0.7				
66	12 05 18	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 郡上市和良町※=0.8 郡上市八幡町旭※=0.5	35° 46.3' N	137° 06.7' E	8km	M: 2.6
67	12 12 54	島根県東部 島根県 3 雲南市掛合町掛合※=2.8 雲南市三刀屋町三刀屋※=2.6 2 飯南町頓原※=2.1 雲南市木次町里方※=1.9 川本町川本※=1.9 雲南市加茂町加茂中※=1.8 島根美郷町粕淵※=1.8 出雲市湖陵町二部※=1.7 雲南市大東町大東=1.6 雲南市吉田町吉田※=1.5 1 島根美郷町君谷=1.1 邑南町下口羽※=1.1 出雲市斐川町上荘原※=1.0 飯南町下赤名※=0.9 奥出雲町三成※=0.9 大田市温泉津町小浜※=0.9 出雲市塩冶有原町※=0.9 松江市宍道町宍道※=0.9 邑南町淀原※=0.8 大田市仁摩町仁万※=0.8 安来市伯太町東母里※=0.6 大田市大田町※=0.5 江津市桜江町川戸※=0.5 広島県 2 庄原市高野町※=1.8 1 福山市松永町=0.6 広島三次市三次町※=0.5 広島三次市君田町※=0.5 庄原市西城町大佐※=0.5 広島西区己斐※=0.5 鳥取県 1 境港市東本町=1.2 岡山県 1 総社市清音軽部※=0.9 倉敷市児島小川町※=0.7 真庭市禾津※=0.6 浅口市天草公園=0.5 香川県 1 観音寺市坂本町=0.9	35° 10.3' N	132° 44.6' E	8km	M: 3.9
68	12 15 20	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.7 笠間市石井※=0.5	36° 36.8' N	140° 25.3' E	71km	M: 3.0
69	12 16 37	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.8	36° 25.3' N	140° 48.3' E	26km	M: 2.8
70	12 17 45	福島県沖 福島県 3 川内村上川内早渡※=2.8 いわき市三和町=2.6 2 矢祭町戸塚※=2.1 福島広野町下北迫大谷地原※=2.1 川内村上川内小山平※=2.1 大熊町大川原※=2.1 白河市新白河※=2.0 檜葉町北田※=2.0 田村市都路町※=1.9 田村市大越町※=1.8 いわき市錦町※=1.8 いわき市平梅本※=1.7 川内村下川内=1.7 飯館村伊丹沢※=1.7 小野町小野新町※=1.6 白河市郭内=1.6 田村市常葉町※=1.6 矢祭町東館※=1.5 葛尾村落合落合※=1.5 富岡町本岡※=1.5 1 須賀川市岩瀬支所※=1.4 田村市滝根町※=1.4 福島広野町下北迫苗代替※=1.4 双葉町長塚※=1.4 浪江町幾世橋=1.4 泉崎村泉崎※=1.3 いわき市小名浜=1.3 玉川村小高※=1.3 浅川町浅川※=1.2 大熊町野上※=1.2 古殿町松川新桑原※=1.2 小野町中通※=1.2 白河市大信※=1.2 白河市表郷※=1.2 石川町長久保※=1.1 いわき市平四ツ波※=1.1 南相馬市小高区※=1.1 田村市船引町=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 郡山市開成※=1.0 須賀川市八幡町※=1.0 天栄村下松本※=1.0 平田村永田※=1.0 西郷村熊倉※=1.0 須賀川市八幡山※=1.0 二本松市針道※=0.9 川俣町五百田※=0.9 鏡石町不時沼※=0.9 福島伊達市霊山町※=0.9 白河市東※=0.9 新地町谷地小屋※=0.8 南相馬市原町区三島町=0.7 南相馬市原町区高見町※=0.7 郡山市湖南町※=0.7 郡山市朝日=0.6 二本松市油井※=0.6 本宮市本宮※=0.6 大玉村南小屋=0.5 古殿町松川横川=0.5 宮城県 1 岩沼市桜※=0.8 山元町浅生原※=0.7 茨城県 1 北茨城市磯原町※=1.4 大子町池田※=1.3 日立市十王町友部※=1.0 日立市助川小学校※=0.9 北茨城市中郷町※=0.8 常陸大宮市山方※=0.8 常陸大宮市野口※=0.8 高萩市安良川※=0.8 笠間市石井※=0.7 常陸太田市大中町※=0.7 城里町小勝※=0.7 高萩市本町※=0.7 日立市役所※=0.6 常陸大宮市北町※=0.6 桜川市岩瀬※=0.5 水戸市内原町※=0.5 城里町石塚※=0.5 土浦市常名=0.5 栃木県 1 大田原市湯津上※=1.0 栃木那珂川町小川※=0.9 宇都宮市明保野町=0.7 那須町寺子※=0.6 芳賀町祖母井※=0.6 栃木那珂川町馬頭※=0.5	37° 04.3' N	141° 12.3' E	48km	M: 4.0

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
71	13 05 28	茨城県沖 茨城県	36° 14.8' N	140° 55.4' E	43km	M: 3.5 2 東海村東海*=1.6 1 日立市助川小学校*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.8 水戸市千波町*=0.7 茨城鹿嶋市宮中*=0.5
72	13 06 54	和歌山県北部 和歌山県	34° 01.9' N	135° 14.6' E	3km	M: 2.3 2 湯浅町青木*=1.8
73	13 08 12	国後島付近 北海道	43° 27.3' N	145° 54.0' E	92km	M: 3.7 1 別海町常盤=1.2 根室市牧の内*=1.1 根室市瑤瑤瑯*=0.7 根室市落石東*=0.6
74	13 15 35	十勝沖 北海道	42° 35.3' N	143° 41.9' E	97km	M: 3.6 1 標茶町塘路*=0.7 根室市厚床*=0.7
75	13 19 18	日高地方西部 北海道	42° 44.1' N	142° 20.9' E	131km	M: 3.3 1 新千歳空港=0.7
76	13 22 24	父島近海 東京都	26° 58.2' N	142° 30.5' E	67km	M: -, - 1 小笠原村母島=0.6
77	13 23 33	愛知県西部 岐阜県 愛知県	35° 16.4' N	136° 52.6' E	39km	M: 3.3 1 各務原市川島河田町*=1.0 可児市広見*=0.9 恵那市上矢作町*=0.7 海津市平田町*=0.7 美濃市役所*=0.6 川辺町中川辺*=0.6 瑞浪市上平町*=0.5 揖斐川町東杉原*=0.5 1 愛西市石田町*=1.2 一宮市木曽川町*=1.1 あま市甚目寺*=1.1 蟹江町蟹江本町*=1.0 知多市緑町*=0.9 愛西市江西町*=0.9 東郷町春木*=0.7 犬山市五郎丸*=0.7 大府市中央町*=0.7 弥富市前ヶ須町*=0.7 大治町馬島*=0.6 稲沢市平和町*=0.6 愛知津島市埋田町*=0.6 北名古屋市内井瀬木*=0.6 尾張旭市東大道町*=0.6 岩倉市川井町*=0.6 稲沢市稲府町*=0.5 一宮市緑*=0.5 一宮市西五城*=0.5 愛西市諏訪町*=0.5 清須市西枇杷島町住吉*=0.5 稲沢市祖父江町*=0.5 あま市木田*=0.5 大口町下小口*=0.5
78	14 02 36	能登半島沖 石川県	37° 31.1' N	137° 12.8' E	13km	M: 2.9 1 珠洲市正院町*=0.9
79	14 03 08	長野県北部 長野県	36° 48.7' N	138° 40.2' E	3km	M: 2.5 2 栄村小赤沢*=1.6
80	14 10 04	父島近海 東京都	26° 57.0' N	142° 35.0' E	63km	M: -, - 1 小笠原村母島=0.7
81	14 11 10	福島県沖 福島県	37° 38.0' N	141° 31.2' E	54km	M: 3.7 1 相馬市中村*=1.0
82	15 00 53	釧路沖 北海道	42° 53.6' N	145° 30.5' E	38km	M: 3.7 1 根室市瑤瑤瑯*=0.6
83	15 00 59	岡山県北部 岡山県 鳥取県	35° 03.9' N	133° 25.1' E	11km	M: 2.9 2 新見市千屋実*=1.7 1 真庭市禾津*=0.8 新見市新見=0.7 新見市哲多町本郷*=0.6 新見市唐松*=0.6 1 鳥取日野町根雨*=0.8
84	15 07 25	千葉県東方沖 茨城県	35° 49.1' N	140° 54.0' E	11km	M: 3.0 1 神栖市波崎*=0.5
85	15 09 23	根室半島南東沖 北海道	43° 05.3' N	145° 34.8' E	47km	M: 3.9 2 根室市厚床*=1.7 根室市落石東*=1.7 1 別海町本別海*=1.2 根室市牧の内*=1.1 標津町北2条*=1.0 根室市瑤瑤瑯*=0.6
86	15 11 40	岩手県沖 岩手県 宮城県 青森県	39° 08.7' N	142° 23.7' E	45km	M: 4.3 2 大船渡市大船渡町=2.1 遠野市青笹町*=2.0 釜石市中妻町*=1.9 宮古市田老*=1.7 一関市千厩町*=1.7 山田町大沢*=1.7 宮古市五月町*=1.6 一関市室根町*=1.6 釜石市只越町=1.6 住田町世田米*=1.5 1 宮古市鍛ヶ崎=1.4 矢巾町南矢幅*=1.4 野田村野田*=1.3 大船渡市猪川町=1.3 普代村銅屋*=1.3 遠野市宮守町*=1.3 一関市大東町=1.3 花巻市東和町*=1.2 一関市藤沢町*=1.1 宮古市川井*=1.1 一関市東山町*=1.0 花巻市大迫町=1.0 陸前高田市高田町*=0.9 奥州市胆沢*=0.9 盛岡市山王町=0.9 一関市花泉町*=0.9 盛岡市藪川*=0.9 八幡平市田頭*=0.8 大船渡市盛町*=0.8 北上市相去町*=0.8 盛岡市渋民*=0.7 平泉町平泉*=0.7 宮古市区界*=0.7 大槌町小鍵*=0.7 山田町八幡町=0.7 北上市柳原町=0.6 花巻市石鳥谷町*=0.6 久慈市枝成沢=0.5 盛岡市馬場町*=0.5 2 気仙沼市赤岩=1.8 気仙沼市笹が陣*=1.6 気仙沼市唐桑町*=1.5 1 石巻市桃生町*=1.2 大崎市田尻*=1.1 栗原市栗駒=1.0 栗原市金成*=0.7 登米市迫町*=0.7 南三陸町歌津*=0.6 登米市中田町=0.5 1 八戸市南郷*=0.7 八戸市湊町=0.6 五戸町古館=0.5

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
87	16 15 14	紀伊水道 和歌山県 徳島県	33° 44.1' N	135° 04.6' E	39km	M: 3.4 御坊市菌=0.8 海南市下津*=0.7 御坊市湯川*=0.7 湯浅町青木*=0.7 紀美野町下佐々*=0.7 田辺市本宮町本宮*=0.7 田辺市中屋敷町*=0.7 有田市初島町*=0.7 日高川町土生*=0.6 みなべ町芝*=0.5 阿南市山口町*=0.8
88	16 17 42	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.2' N	130° 02.6' E	4km	M: 2.4 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.7
89	16 20 48	大隅半島東方沖 宮崎県	31° 26.7' N	131° 27.8' E	37km	M: 3.4 日南市油津=0.6
90	17 00 45	熊本県熊本地方 熊本県 福岡県 長崎県 宮崎県	32° 39.3' N	130° 38.8' E	10km	M: 3.6 宇土市浦田町*=3.0 宇城市不知火町*=2.9 熊本南区富合町*=2.6 熊本南区城南町*=2.3 宇城市豊野町*=2.1 熊本西区春日=1.9 宇城市小川町*=1.6 熊本美里町永富*=1.5 八代市鏡町*=1.4 嘉島町上島*=1.4 氷川町島地*=1.4 熊本美里町馬場*=1.2 山都町浜町*=1.1 甲佐町豊内*=1.0 上天草市大矢野町=1.0 熊本中央区大江*=0.9 熊本東区佐土原*=0.9 玉名市天水町*=0.9 山鹿市鹿本町*=0.8 御船町御船*=0.8 八代市坂本町*=0.8 八代市東陽町*=0.7 熊本北区植木町*=0.7 菊池市旭志*=0.7 八代市泉支所*=0.7 宇城市三角町*=0.6 八代市新地町*=0.6 氷川町宮原*=0.6 八代市平山新町=0.6 山鹿市鹿央町*=0.5 八代市泉町=0.5 みやま市高田町*=0.6 雲仙市小浜町雲仙=0.8 宮崎美郷町田代*=0.9 西都市上の宮*=0.7
91	17 02 25	福島県沖 福島県 宮城県 茨城県 栃木県	37° 10.7' N	141° 23.9' E	46km	M: 4.8 檜葉町北田*=4.0 大熊町大川原*=3.5 富岡町本岡*=3.4 福島広野町下北迫大谷地原*=3.3 双葉町長塚*=3.1 いわき市三和町=2.8 相馬市中村*=2.7 田村市大越町*=2.7 浪江町幾世橋=2.7 田村市都路町*=2.6 川内村上川内早渡*=2.6 いわき市小名浜=2.5 いわき市平四ツ波*=2.5 田村市常葉町*=2.4 南相馬市小高区*=2.4 福島広野町下北迫苗代替*=2.3 白河市新白河*=2.3 古殿町松川新桑原*=2.2 葛尾村落合落合*=2.2 田村市船引町=2.2 平田村永田*=2.1 大熊町野上*=2.1 中島村滑津*=2.0 田村市滝根町*=2.0 いわき市錦町*=2.0 玉川村小高*=2.0 須賀川市岩瀬支所*=2.0 国見町藤田*=2.0 泉崎村泉崎*=2.0 川内村上川内小山平*=1.9 いわき市平梅本*=1.9 小野町小野新町*=1.9 南相馬市鹿島区西町*=1.9 川内村下川内=1.9 南相馬市鹿島区栴窪=1.8 南相馬市原町区高見町*=1.8 須賀川市八幡山*=1.8 浅川町浅川*=1.7 福島伊達市梁川町*=1.7 福島伊達市霊山町*=1.7 新地町谷地小屋*=1.7 南相馬市原町区三島町=1.7 郡山市湖南町*=1.7 石川町長久保*=1.7 天栄村下松本*=1.7 須賀川市八幡町*=1.7 飯館村伊丹沢*=1.6 白河市大信*=1.6 川俣町五百田*=1.6 鏡石町不時沼*=1.6 小野町中通*=1.6 白河市表郷*=1.6 二本松市油井*=1.6 二本松市針道*=1.6 桑折町谷地*=1.5 本宮市本宮*=1.5 本宮市白岩*=1.5 西郷村熊倉*=1.5 郡山市開成*=1.4 白河市東*=1.4 二本松市金色*=1.4 大玉村南小屋=1.4 棚倉町棚倉中居野=1.4 白河市郭内=1.3 矢祭町戸塚*=1.3 南相馬市原町区本町*=1.3 郡山市朝日=1.3 福島市五老内町*=1.2 矢祭町東館*=1.2 古殿町松川横川=1.2 福島伊達市前川原*=1.2 福島伊達市保原町*=1.2 白河市八幡小路*=1.2 福島市松木町=1.2 福島市桜木町*=1.1 福島市飯野町*=1.1 矢吹町一本木*=1.0 須賀川市長沼支所*=1.0 福島伊達市月館町*=1.0 猪苗代町千代田*=1.0 大玉村玉井*=0.9 天栄村湯本支所*=0.7 猪苗代町城南=0.6 岩沼市桜*=2.2 山元町浅生原*=1.8 大河原町新南*=1.6 名取市増田*=1.6 宮城川崎町前川*=1.5 角田市角田*=1.4 蔵王町円田*=1.4 亘理町悠里*=1.4 石巻市桃生町*=1.4 大崎市田尻*=1.2 柴田町船岡=1.2 丸森町鳥屋*=1.2 仙台空港=1.2 宮城加美町中新田*=1.2 仙台青葉区作並*=1.1 大崎市松山*=1.1 大崎市古川三日町=1.0 白石市亘理町*=1.0 七ヶ宿町関*=1.0 仙台若林区遠見塚*=1.0 仙台泉区将監*=1.0 登米市米山町*=1.0 色麻町四竈*=0.9 利府町利府*=0.9 大衡村大衡*=0.9 仙台宮城野区五輪=0.9 登米市迫町*=0.9 仙台北白区山田*=0.9 村田町村田*=0.9 石巻市大街道南*=0.8 仙台青葉区落合*=0.8 松島町高城=0.8 大崎市鹿島台*=0.8 宮城美里町木間塚*=0.8 登米市中田町=0.8 塩竈市今宮町*=0.7 東松島市矢本*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 仙台青葉区雨宮*=0.7 栗原市築館*=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 日立市十王町友部*=1.7 北茨城市磯原町*=1.7 北茨城市中郷町*=1.7 日立市助川小学校*=1.6 笠間市石井*=1.6 大子町池田*=1.6 城里町小勝*=1.5 常陸大宮市山方*=1.4 水戸市内原町*=1.3 東海村東海*=1.3 常陸大宮市野口*=1.3 水戸市栗崎町*=1.2 常陸太田市大中町*=1.2 高萩市安良川*=1.2 笠間市中央*=1.2 笠間市笠間*=1.2 城里町石塚*=1.2 桜川市岩瀬*=1.2 那珂市瓜連*=1.1 土浦市常名=1.1 桜川市真壁*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 日立市役所*=1.1 常陸太田市高柿町*=1.1 那珂市福田*=1.0 小美玉市堅倉*=1.0 石岡市柿岡=1.0 筑西市舟生=1.0 常陸太田市金井町*=1.0 桜川市羽田*=1.0 高萩市本町*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=1.0 水戸市千波町*=1.0 常陸太田市町屋町=0.9 常陸太田市町田町*=0.9 水戸市金町=0.9 筑西市門井*=0.9 鉾田市汲上*=0.8 城里町阿波山*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 美浦村受領*=0.8 笠間市下郷*=0.8 つくば市研究学園*=0.7 常陸大宮市高部*=0.7 土浦市藤沢*=0.7 石岡市若宮*=0.7 常陸大宮市中富町=0.6 石岡市石岡*=0.6 取手市寺田*=0.6 つくば市天王台*=0.6 守谷市大柏*=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.6 筑西市二本成*=0.6 かすみがうら市上土田*=0.5 鉾田市鉾田=0.5 大田原市湯津上*=1.7 那須町寺子*=1.6 益子町益子=1.3 宇都宮市明保野町=1.2 宇都宮市中岡本町*=1.2 市貝町市塙*=1.2 高根沢町石末*=1.2 栃木那珂川町小川*=1.2 芳賀町祖母井*=1.1 栃木那珂川町馬頭*=1.1 大田原市本町*=1.0 茂木町茂木*=0.9 大田原市黒羽田町=0.8 宇都宮市中里町*=0.8

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		真岡市田町※=0.7 壬生町壬生甲※=0.7 栃木さくら市喜連川※=0.7 那須烏山市神長=0.7 那須烏山市役所※=0.7 那須塩原市鍋掛※=0.7 小山市神鳥谷※=0.6 日光市鬼怒川温泉大原※=0.5 岩手県 1 一関市千厩町※=0.8 一関市室根町※=0.7 山形県 1 米沢市林泉寺※=1.1 白鷹町荒砥※=0.6 米沢市アルカディア=0.6 群馬県 1 渋川市赤城町※=0.9 桐生市黒保根町※=0.7 邑楽町中野※=0.7 沼田市白沢町※=0.6 前橋市富士見町※=0.6 埼玉県 1 久喜市下早見=0.6 春日部市粕壁※=0.6 宮代町笠原※=0.6 千葉県 1 千葉美浜区ひび野=0.6				
92	17 07 16	岐阜県飛騨地方 岐阜県 3 高山市高根町※=2.6 1 下呂市小坂町※=1.3 高山市久々野町※=0.8 飛騨市神岡町東町※=0.7 長野県 2 木曽町開田高原西野※=1.7 1 王滝村鈴ヶ沢※=1.0 松本市奈川※=0.7 王滝村役場※=0.7 木曽町新開※=0.6	36° 01.5' N	137° 33.0' E	6km	M: 3.3
93	17 07 29	石狩地方南部 北海道 1 北広島市共栄※=1.0	42° 59.3' N	141° 30.4' E	13km	M: 2.2
94	17 14 36	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=0.9 浪江町幾世橋=0.7	37° 31.4' N	141° 21.6' E	51km	M: 3.4
95	18 07 17	宗谷地方北部 北海道 1 豊富町西6条※=0.9	45° 08.7' N	141° 49.5' E	9km	M: 2.4
96	18 17 03	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名※=0.6 本部町役場※=0.6 名護市港※=0.5	26° 40.6' N	127° 46.2' E	46km	M: 3.2
97	18 21 56	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.1	29° 46.5' N	129° 50.0' E	11km	M: 2.1
98	19 09 37	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=1.2 珠洲市大谷町※=1.2	37° 28.0' N	137° 11.8' E	12km	M: 3.1
99	20 02 23	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町青木※=1.2 御坊市湯川※=0.7 日高川町土生※=0.6	33° 58.6' N	135° 05.7' E	10km	M: 2.9
100 (注)	20 09 42	父島近海 父島近海 26° 58.3' N 142° 37.2' E 59km M: -. - 東京都 1 小笠原村母島=0.9 26° 55.8' N 142° 47.9' E 4km M: -. -	26° 58.3' N	142° 37.2' E	59km	M: -. -
101	20 12 33	石川県能登地方 石川県 3 珠洲市正院町※=2.8 2 珠洲市三崎町=2.2 1 珠洲市大谷町※=0.8	37° 28.4' N	137° 17.2' E	7km	M: 3.2
102	21 03 07	大阪府北部 大阪府 1 能勢町森上※=0.6	34° 57.2' N	135° 26.8' E	10km	M: 2.5
103	21 13 46	長野県南部 長野県 1 木曽町開田高原西野※=0.7	35° 57.1' N	137° 34.7' E	4km	M: 1.8
104	21 16 19	父島近海 東京都 4 小笠原村母島=3.6 2 小笠原村父島西町=2.3 小笠原村父島三日月山=2.3	26° 59.0' N	142° 15.1' E	84km	M: -. -
105	21 17 16	岐阜県美濃中西部 岐阜県 2 各務原市川島河田町※=2.1 瑞穂市別府※=1.8 岐阜市京町※=1.6 瑞穂市宮田※=1.5 本巣市三橋※=1.5 1 岐阜山県市美山支所※=1.4 北方町北方※=1.3 大垣市墨俣町※=1.3 岐阜山県市高富※=1.3 大野町大野※=1.2 岐南町八剣※=1.2 本巣市文殊※=1.1 揖斐川町谷汲※=1.0 岐阜市柳津町※=1.0 美濃市役所※=0.9 岐阜山県市大門※=0.9 関市武芸川町※=0.9 揖斐川町東杉原※=0.9 本巣市下真桑※=0.9 岐阜市加納二之丸=0.8 笠松町司町※=0.8 関市若草通り※=0.7 大垣市丸の内※=0.7 美濃加茂市太田町=0.6 神戸町神戸※=0.6 富加町滝田※=0.6 揖斐川町東津汲※=0.5 安八町氷取※=0.5 羽島市竹鼻町※=0.5 輪之内町四郷※=0.5 愛知県 1 大山市五郎丸※=0.9 名古屋中区県庁※=0.8 一宮市木曽川町※=0.8 名古屋西区八筋町※=0.7 あま市甚目寺※=0.6 清須市春日振形※=0.5 清須市西枇杷島町住吉※=0.5 名古屋北区萩野通※=0.5	35° 26.0' N	136° 45.8' E	11km	M: 3.3
106	21 20 25	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町※=0.6	38° 39.7' N	141° 55.5' E	61km	M: 3.4
107	21 21 43	岩手県沖 青森県 1 青森南部町平※=0.7 青森南部町苦米地※=0.6 八戸市内丸※=0.6 八戸市南郷※=0.6 五戸町古館=0.6 岩手県 1 岩手洋野町大野※=0.7 盛岡市洺民※=0.7 八幡平市田頭※=0.6 軽米町軽米※=0.5	40° 16.8' N	142° 27.3' E	34km	M: 3.7

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
108	22 01 09	石垣島近海 沖縄県 1 石垣市平久保=0.8 竹富町大原=0.5	24° 53.7' N	123° 27.3' E	107km	M: 4.4
109	22 10 41	福島県沖 宮城県 2 岩沼市桜*=1.6 1 石巻市桃生町*=1.3 名取市増田*=1.1 宮城川崎町前川*=0.9 仙台空港=0.8 山元町浅生原*=0.8 登米市中田町=0.8 東松島市小野*=0.8 柴田町船岡=0.8 亘理町悠里*=0.7 大崎市松山*=0.7 石巻市北上町*=0.7 角田市角田*=0.7 仙台若林区遠見塚*=0.6 色麻町四竈*=0.5 松島町高城=0.5 福島県 2 川内村上川内早渡*=1.8 白河市新白河*=1.6 川内村上川内小山平*=1.6 大熊町大川原*=1.6 1 田村市船引町=1.3 田村市都路町*=1.3 田村市滝根町*=1.3 檜葉町北田*=1.3 双葉町長塚*=1.3 富岡町本岡*=1.2 福島広野町下北迫大谷地原*=1.2 浪江町幾世橋=1.2 玉川村小高*=1.1 いわき市三和町=1.1 田村市大越町*=1.1 川俣町五百田*=1.0 田村市常葉町*=1.0 南相馬市小高区*=1.0 郡山市湖南町*=0.9 いわき市平四ツ波*=0.9 大熊町野上*=0.8 葛尾村落合落合*=0.8 飯館村伊丹沢*=0.8 小野町小野新町*=0.7 川内村下川内=0.7 本宮市本宮*=0.7 相馬市中村*=0.7 南相馬市鹿島区西町*=0.7 福島伊達市霊山町*=0.6 天栄村下松本*=0.6 新地町谷地小屋*=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 白河市郭内=0.5 浅川町浅川*=0.5 小野町中通*=0.5 岩手県 1 一関市藤沢町*=0.6 一関市千厩町*=0.6 一関市室根町*=0.6 茨城県 1 笠間市石井*=0.7 笠間市笠間*=0.6 桜川市岩瀬*=0.6 城里町小勝*=0.5 桜川市真壁*=0.5	37° 13.1' N	141° 23.0' E	29km	M: 4.2
110	22 14 30	茨城県北部 茨城県 2 東海村東海*=1.5 1 水戸市千波町*=0.9 水戸市栗崎町*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.8 土浦市常名=0.8 鉾田市汲上*=0.8 日立市助川小学校*=0.7 水戸市金町=0.6 常陸大宮市北町*=0.6	36° 23.0' N	140° 37.4' E	52km	M: 3.3
111	22 19 42	渡島地方東部 北海道 2 函館市新浜町*=1.5 1 函館市日ノ浜町*=0.8	41° 48.2' N	141° 09.7' E	5km	M: 2.5
112	22 20 54	石川県能登地方 石川県 2 珠洲市正院町*=1.5	37° 28.4' N	137° 17.0' E	7km	M: 2.5
113	23 12 29	岡山県北部 岡山県 1 真庭市下方*=0.7 岡山区北建部町*=0.5	34° 55.8' N	133° 57.5' E	10km	M: 2.7
114	23 21 45	和歌山県北部 和歌山県 2 湯浅町青木*=1.5 1 有田川町下津野*=0.7	34° 01.6' N	135° 15.3' E	5km	M: 2.5
115	23 23 45	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=0.5	37° 02.3' N	139° 19.9' E	3km	M: 1.6
116	24 00 42	宮城県沖 福島県 1 田村市大越町*=0.7 田村市船引町=0.5	37° 52.2' N	141° 41.7' E	58km	M: 3.8
117	24 01 09	茨城県沖 福島県 茨城県 1 白河市新白河*=1.1 白河市郭内=0.5 1 日立市助川小学校*=0.5	36° 43.2' N	141° 08.4' E	51km	M: 3.5
118	24 06 22	愛媛県南予 広島県 愛媛県 1 大崎上島町中野*=0.9 1 大洲市肱川町*=1.4 宇和島市三間町*=1.3 西予市三瓶町*=1.3 久万高原町久万*=1.2 西条市丹原町鞍瀬=1.1 宇和島市丸穂*=1.0 砥部町宮内*=1.0 八幡浜市保内町*=0.8 砥部町総津*=0.7 内子町小田*=0.7 伊方町湊浦*=0.7 松野町松丸*=0.7 宇和島市吉田町*=0.7 伊予市中山町*=0.6 西予市明浜町*=0.6 西予市野村町=0.6 大洲市河辺町*=0.5 今治市菊間町*=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=0.7 高知市春野町芳原=0.5	33° 28.2' N	132° 42.1' E	41km	M: 3.6
119	24 06 33	父島近海 東京都 2 小笠原村母島=1.7	26° 19.7' N	142° 19.1' E	47km	M: -, -
120	24 11 35	和歌山県北部 和歌山県 2 湯浅町青木*=1.5 1 有田川町下津野*=0.6	34° 01.6' N	135° 15.1' E	5km	M: 2.4
121	24 17 35	有明海 熊本県 1 玉名市天水町*=1.2 玉名市横島町*=0.9	32° 47.1' N	130° 33.1' E	8km	M: 2.8
122	25 00 29	愛知県西部 岐阜県 1 各務原市川島河田町*=0.7	35° 22.5' N	136° 53.0' E	8km	M: 2.5
123	25 08 31	日向灘 宮崎県 1 川南町川南*=0.5	32° 14.9' N	132° 08.3' E	19km	M: 2.7

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時刻 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
124	25 14 31	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原※=1.5	37° 02.3' N	139° 22.3' E	7km	M: 2.2
125	25 21 59	和歌山県北部 和歌山県 2 湯浅町青木※=1.8 1 由良町里※=0.5	34° 01.6' N	135° 15.2' E	5km	M: 2.5
126	25 22 31	岩手県沿岸北部 青森県 2 青森南部町苫米地※=2.1 階上町道仏※=2.0 八戸市内丸※=2.0 八戸市湊町=1.9 青森南部町平※=1.5 1 八戸市南郷※=1.4 三戸町在府小路町※=1.4 五戸町古館=1.2 五戸町倉石中市※=0.7 青森南部町沖田面※=0.7 東北町上北南※=0.7 八戸市島守=0.7 十和田市奥瀬※=0.7 三沢市桜町※=0.6 田子町田子※=0.5 岩手県 2 宮古市田老※=2.2 久慈市枝成沢=2.2 田野畑村田野畑=2.1 久慈市川崎町=2.0 田野畑村役場※=2.0 普代村銅屋※=1.9 宮古市鍛ヶ崎=1.8 宮古市五月町※=1.7 一関市室根町※=1.7 一関市千厩町※=1.6 宮古市茂市※=1.6 野田村野田※=1.5 釜石市只越町=1.5 住田町世田米※=1.5 二戸市福岡=1.5 軽米町軽米※=1.5 宮古市区界※=1.5 1 宮古市川井※=1.4 岩手洋野町種市=1.4 盛岡市薮川※=1.4 一戸町高善寺※=1.4 八幡平市田頭※=1.4 花巻市大迫総合支所※=1.4 遠野市青笹町※=1.4 遠野市宮守町※=1.4 釜石市中妻町※=1.3 久慈市長内町※=1.2 九戸村伊保内※=1.2 盛岡市洪民※=1.2 北上市相去町※=1.2 二戸市浄法寺町※=1.2 葛巻町葛巻元木=1.2 一関市東山町※=1.2 花巻市大迫町=1.1 岩泉町大川※=1.1 岩泉町岩泉※=1.1 山田町大沢※=1.1 岩手洋野町大野※=1.1 一関市大東町=1.1 矢巾町南矢幅※=1.1 一関市藤沢町※=1.1 盛岡市山王町=1.0 盛岡市馬場町※=1.0 山田町八幡町=1.0 紫波町紫波中央駅前※=0.9 花巻市東和町※=0.9 奥州市江刺※=0.9 奥州市胆沢※=0.9 大船渡市猪川町=0.9 大船渡市大船渡町=0.8 岩手町五日市※=0.8 平泉町平泉※=0.7 奥州市前沢※=0.7 花巻市石鳥谷町※=0.6 奥州市水沢佐倉河※=0.6 葛巻町消防分署※=0.6 金ケ崎町西根※=0.6 奥州市衣川※=0.6 奥州市水沢大鐘町=0.5 北上市柳原町=0.5 八幡平市叭田※=0.5 宮城県 1 栗原市栗駒=1.0 気仙沼市笹が陣※=0.9 気仙沼市唐桑町※=0.9 登米市東和町※=0.9 石巻市桃生町※=0.9 気仙沼市赤岩=0.8 登米市中田町=0.5	39° 58.7' N	141° 57.1' E	51km	M: 4.1
127	26 02 49	福島県沖 宮城県 2 亘理町悠里※=2.1 角田市角田※=2.0 山元町浅生原※=2.0 石巻市桃生町※=1.7 岩沼市桜※=1.7 大河原町新南※=1.6 丸森町鳥屋※=1.5 蔵王町円田※=1.5 名取市増田※=1.5 宮城川崎町前川※=1.5 1 柴田町船岡=1.4 仙台青葉区作並※=1.3 東松島市矢本※=1.2 仙台空港=1.1 白石市亘理町※=1.1 大衡村大衡※=1.0 大崎市田尻※=0.9 涌谷町新町裏=0.9 村田町村田※=0.9 栗原市志波姫※=0.9 登米市中田町=0.9 仙台北白区山田※=0.9 東松島市小野※=0.9 登米市南方町※=0.9 七ヶ浜町東宮浜※=0.9 登米市迫町※=0.9 利府町利府※=0.8 石巻市大街道南※=0.8 仙台若林区遠見塚※=0.8 松島町高城=0.8 仙台北区将監※=0.8 栗原市築館※=0.7 仙台宮城野区苦竹※=0.7 栗原市瀬峰※=0.7 七ヶ宿町関※=0.7 大崎市古川三日町=0.7 登米市東和町※=0.7 塩竈市今宮町※=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 石巻市北上町※=0.6 気仙沼市赤岩=0.6 気仙沼市笹が陣※=0.6 気仙沼市唐桑町※=0.6 仙台宮城野区五輪=0.6 栗原市栗駒=0.5 大崎市松山※=0.5 大和町吉岡※=0.5 福島県 2 相馬市中村※=2.3 福島伊達市霊山町※=2.2 大熊町大川原※=2.1 飯館村伊丹沢※=2.1 田村市船引町=1.9 新地町谷地小屋※=1.9 田村市常葉町※=1.9 本宮市本宮※=1.8 二本松市油井※=1.8 檜葉町北田※=1.8 二本松市針道※=1.8 葛尾村落合落合※=1.8 天栄村下松本※=1.8 福島伊達市月館町※=1.8 国見町藤田※=1.7 川俣町五百田※=1.7 浪江町幾世橋=1.7 泉崎村泉崎※=1.7 本宮市白岩※=1.7 須賀川市岩瀬支所※=1.6 福島伊達市前川原※=1.6 福島伊達市梁川町※=1.6 二本松市金色※=1.6 玉川村小高※=1.6 浅川町浅川※=1.6 福島伊達市保原町※=1.5 川内村上川内早渡※=1.5 福島市飯野町※=1.5 1 郡山市朝日=1.4 白河市大信※=1.4 須賀川市八幡山※=1.4 須賀川市八幡町※=1.4 白河市新白河※=1.3 福島市松木町=1.3 郡山市開成※=1.3 鏡石町不時沼※=1.3 田村市都路町※=1.3 南相馬市鹿島区西町※=1.3 福島市五老内町※=1.2 桑折町谷地※=1.2 大玉村南小屋=1.2 大玉村玉井※=1.2 白河市東※=1.2 矢吹町一本木※=1.2 田村市大越町※=1.2 福島広野町下北迫大谷地原※=1.2 川内村下川内=1.2 双葉町長塚※=1.2 福島市桜木町※=1.2 郡山市湖南町※=1.1 いわき市三和町=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 川内村上川内小山平※=1.1 石川町長久保※=1.1 南相馬市鹿島区栞塚=1.1 南相馬市原町区高見町※=1.1 小野町小野新町※=1.1 大熊町野上※=1.0 南相馬市原町区三島町=1.0 富岡町本岡※=1.0 田村市滝根町※=1.0 白河市郭内=1.0 小野町中通※=0.9 猪苗代町千代田※=0.9 古殿町松川新桑原※=0.8 平田村永田※=0.7 いわき市平四ツ波※=0.7 福島広野町下北迫苗代替※=0.5 岩手県 1 一関市室根町※=0.9 一関市千厩町※=0.8 住田町世田米※=0.6 一関市東山町※=0.5 山形県 1 米沢市アルカディア=0.6 上山市河崎※=0.5 米沢市林泉寺※=0.5 茨城県 1 笠間市石井※=0.5	37° 41.3' N	141° 38.9' E	54km	M: 4.3
128	26 16 52	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町※=1.3 新ひだか町静内山手町=0.8 新ひだか町静内御幸町※=0.7 安平町追分柏が丘※=0.7 浦河町潮見=0.6 浦河町築地※=0.6 厚真町鹿沼=0.5	42° 03.2' N	142° 28.8' E	68km	M: 3.9
129	27 04 17	茨城県南部 茨城県 2 城里町小勝※=1.8 笠間市笠間※=1.7 桜川市真壁※=1.6 かすみがうら市上土田※=1.5 城里町石塚※=1.5 1 土浦市常名=1.4 石岡市石岡※=1.4 筑西市舟生=1.4 筑西市門井※=1.4 石岡市若宮※=1.3 笠間市石井※=1.3 桜川市岩瀬※=1.3 笠間市下郷※=1.2 石岡市柿岡=1.1 水戸市内原町※=1.1 土浦市藤沢※=1.0 小美玉市小川※=1.0 土浦市田中※=1.0 取手市寺田※=0.9 笠間市中央※=0.9 常陸太田市町屋町=0.8 稲敷市江戸崎甲※=0.8 小美玉市堅倉※=0.8 茨城町小堤※=0.8	36° 04.8' N	140° 05.7' E	51km	M: 3.4

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		筑西市海老ヶ島＊=0.8 石岡市八郷＊=0.8 つくばみらい市福田＊=0.8 城里町阿波山＊=0.8 下妻市本城町＊=0.8 水戸市千波町＊=0.7 常陸大宮市北町＊=0.7 常陸大宮市野口＊=0.7 守谷市大柏＊=0.7 かすみがうら市大和田＊=0.7 つくば市天王台＊=0.6 筑西市二木成＊=0.5 つくば市研究学園＊=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 美浦村受領＊=0.5 常陸大宮市山方＊=0.5 1 真岡市石島＊=1.2 茂木町茂木＊=1.2 宇都宮市明保野町=0.7 栃木市旭町=0.7 鹿沼市晃望台＊=0.7 益子町益子=0.7 壬生町壬生甲＊=0.6 下野市笹原＊=0.6 栃木市大平町富田＊=0.6 栃木市岩舟町静＊=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉＊=0.8 香取市佐原諏訪台＊=0.7 八千代市大和田新田＊=0.6 香取市佐原平田=0.5				
130	27 09 40	茨城県沖 茨城県 千葉県 1 茨城鹿嶋市宮中＊=1.1 鉾田市造谷＊=0.6 行方市麻生＊=0.5 1 香取市佐原平田=0.5 香取市役所＊=0.5 香取市仁良＊=0.5	36° 01.7' N	140° 47.2' E	29km	M: 3.1
131	27 10 40	青森県東方沖 北海道 青森県 1 函館市泊町＊=1.2 1 東通村砂子又沢内＊=0.7	41° 35.7' N	141° 57.4' E	60km	M: 3.6
132	27 16 43	沖縄本島近海 沖縄県 2 南城市知念久手堅＊=2.0 南城市佐敷字佐敷＊=2.0 糸満市潮崎町＊=1.8 南城市佐敷字新里＊=1.8 与那原町上与那原＊=1.7 八重瀬町東風平＊=1.7 恩納村恩納＊=1.7 名護市港＊=1.7 西原町与那城＊=1.7 那覇市港町＊=1.6 南城市大里仲間＊=1.6 八重瀬町具志頭＊=1.6 うるま市与那城平安座＊=1.5 本部町役場＊=1.5 うるま市石川石崎＊=1.5 南城市玉城字玉城=1.5 1 那覇市樋川=1.4 中城村当間＊=1.3 南風原町兼城＊=1.3 うるま市みどり町＊=1.3 国頭村辺土名＊=1.2 宜野湾市野嵩＊=1.2 沖縄市美里＊=1.2 那覇空港=1.0 読谷村座喜味=0.9 名護市宮里=0.9 国頭村奥=0.7	26° 07.4' N	128° 37.3' E	32km	M: 5.5
133	27 22 43	福島県沖 福島県 2 いわき市三和町=2.0 檜葉町北田＊=2.0 川内村上川内早渡＊=2.0 田村市都路町＊=1.9 川内村下川内=1.8 いわき市錦町＊=1.8 福島広野町下北迫大谷地原＊=1.6 矢祭町戸塚＊=1.6 大熊町大川原＊=1.6 白河市新白河＊=1.5 田村市常葉町＊=1.5 1 泉崎村泉崎＊=1.4 矢祭町東館＊=1.4 小野町中通＊=1.4 小野町小野新町＊=1.4 田村市船引町=1.4 いわき市小名浜=1.4 富岡町本岡＊=1.4 いわき市平四ツ波＊=1.3 二本松市針道＊=1.3 川内村上川内小山平＊=1.3 飯館村伊丹沢＊=1.3 田村市大越町＊=1.3 玉川村小高＊=1.3 浅川町浅川＊=1.2 双葉町長塚＊=1.2 白河市表郷＊=1.2 石川町長久保＊=1.2 いわき市平梅本＊=1.2 福島広野町下北迫苗代替＊=1.2 須賀川市岩瀬支所＊=1.2 田村市滝根町＊=1.1 郡山市開成＊=1.1 古殿町松川新桑原＊=1.1 本宮市本宮＊=1.0 二本松市油井＊=1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 川俣町五百田＊=1.0 浪江町幾世橋=1.0 葛尾村落合落合＊=0.9 本宮市白岩＊=0.9 鏡石町不時沼＊=0.9 二本松市金色＊=0.9 須賀川市八幡町＊=0.8 天栄村下松本＊=0.8 白河市郭内=0.7 郡山市朝日=0.7 大熊町野上＊=0.7 白河市大信＊=0.7 福島伊達市霊山町＊=0.7 大玉村南小屋=0.6 大玉村玉井＊=0.6 古殿町松川横川=0.6 白河市東＊=0.6 須賀川市八幡山＊=0.6 福島市松木町=0.5 宮城県 1 岩沼市桜＊=0.7 茨城県 1 日立市助川小学校＊=1.4 大子町池田＊=1.4 日立市役所＊=1.3 北茨城市磯原町＊=1.3 東海村東海＊=1.2 常陸大宮市北町＊=1.2 常陸大宮市野口＊=1.2 城里町小勝＊=1.2 高萩市安良川＊=1.1 常陸大宮市山方＊=1.1 笠間市石井＊=1.1 ひたちなか市南神敷台＊=1.0 水戸市内原町＊=1.0 常陸太田市大中町＊=1.0 城里町石塚＊=1.0 日立市十王町友部＊=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 常陸太田市町田町＊=0.9 常陸太田市高柿町＊=0.9 水戸市栗崎町＊=0.9 笠間市笠間＊=0.9 水戸市千波町＊=0.8 笠間市下郷＊=0.8 土浦市常名=0.8 高萩市本町＊=0.8 水戸市金町=0.8 北茨城市中郷町＊=0.8 笠間市中央＊=0.7 筑西市門井＊=0.7 桜川市岩瀬＊=0.7 常陸大宮市高部＊=0.7 常陸大宮市中富町=0.6 石岡市柿岡=0.6 桜川市真壁＊=0.6 ひたちなか市東石川＊=0.6 桜川市羽田＊=0.5 小美玉市堅倉＊=0.5 城里町阿波山＊=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.0 栃木那珂川町小川＊=1.0 栃木那珂川町馬頭＊=0.9 芳賀町祖母井＊=0.7 那須町寺子＊=0.6 宇都宮市中里町＊=0.6 那須烏山市神長=0.5	37° 03.3' N	141° 09.7' E	49km	M: 4.0
134	28 07 08	沖縄本島近海 沖縄県 2 うるま市与那城平安座＊=1.7 大宜味村大宜味＊=1.5 本部町役場＊=1.5 恩納村恩納＊=1.5 西原町与那城＊=1.5 国頭村辺土名＊=1.5 1 宜野座村宜野座＊=1.4 南城市知念久手堅＊=1.3 中城村当間＊=1.2 与那原町上与那原＊=1.2 うるま市みどり町＊=1.2 うるま市石川石崎＊=1.2 沖縄市美里＊=1.2 南城市佐敷字佐敷＊=1.2 国頭村奥=1.1 北谷町桑江＊=1.1 北中城村喜舎場＊=1.1 読谷村座喜味=1.0 金武町金武＊=1.0 名護市港＊=1.0 那覇市港町＊=0.9 南城市大里仲間＊=0.9 八重瀬町東風平＊=0.8 名護市豊原=0.8	26° 26.7' N	128° 16.0' E	36km	M: 4.1
135	28 09 38	渡島地方西部 北海道 3 福島町福島＊=3.1	41° 28.5' N	140° 11.7' E	8km	M: 2.9
136	28 13 49	群馬県南部 群馬県 1 桐生市黒保根町＊=0.8	36° 31.6' N	139° 21.5' E	5km	M: 2.4
137	28 16 45	浦河沖 北海道 1 浦河町潮見=1.4 浦河町築地＊=1.3 浦河町野深=1.2 新ひだか町三石旭町＊=1.0 えりも町えりも岬＊=0.8 様似町栄町＊=0.7 えりも町目黒＊=0.6 新ひだか町静内山手町=0.6 新ひだか町静内御幸町＊=0.5	42° 01.0' N	142° 35.7' E	64km	M: 4.1
138	29 02 16	天草灘 熊本県 2 天草市天草町＊=2.1	32° 20.8' N	129° 51.4' E	13km	M: 3.8

令和5年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 天草市河浦町※=1.3 天草市五和町※=1.2 天草市牛深町=1.2 天草市新和町※=0.9 天草市倉岳町※=0.9 上天草市龍ヶ岳町※=0.7 上天草市大矢野町=0.5 長崎県 1 長崎市元町※=1.2 南島原市加津佐町※=1.1 雲仙市小浜町雲仙=1.1 南島原市口之津町※=0.7 雲仙市雲仙出張所※=0.7 雲仙市南串山町※=0.6 鹿児島県 1 長島町鷹巣※=1.4 長島町伊唐島※=1.3 長島町指江※=0.8 薩摩川内市上顧町※=0.6 長島町獅子島※=0.5				
139	29 04 54	徳島県北部 岡山県 徳島県	33° 58.1' N	133° 56.4' E	38km	M: 3.0
		1 倉敷市下津井※=0.7 真庭市下方※=0.5 1 つるぎ町半田※=0.7 つるぎ町貞光※=0.6				
140	29 09 16	天草灘 熊本県 鹿児島県	32° 20.7' N	129° 51.3' E	13km	M: 3.7
		2 天草市天草町※=1.6 天草市牛深町=1.5 1 天草市河浦町※=1.1 1 長島町鷹巣※=1.3 長島町伊唐島※=1.2 長島町指江※=1.0 薩摩川内市上顧町※=0.6				
141	30 00 49	沖縄本島近海 沖縄県	26° 01.6' N	128° 46.8' E	16km	M: 4.7
		1 名護市港※=0.8 国頭村辺土名※=0.6				
142	30 01 19	石川県能登地方 石川県	37° 31.4' N	137° 19.0' E	11km	M: 2.9
		1 珠洲市正院町※=0.8				
143	30 06 23	福島県会津 福島県	37° 04.5' N	139° 21.4' E	8km	M: 2.3
		2 檜枝岐村上河原※=1.5				
144	30 18 52	岐阜県美濃東部 岐阜県	35° 38.5' N	137° 11.3' E	10km	M: 3.7
		3 下呂市金山町※=2.6 2 中津川市付知町※=2.0 川辺町中川辺※=1.8 中津川市加子母※=1.6 関市上之保※=1.6 八百津町八百津※=1.5 郡上市和良町※=1.5 1 瑞浪市上平町※=1.4 富加町滝田※=1.3 東白川村神土※=1.2 関市若草通り※=1.2 美濃市役所※=1.2 中津川市福岡※=1.1 七宗町上麻生※=1.0 恵那市長島町※=1.0 美濃加茂市太田町=1.0 関市中之保※=1.0 土岐市泉町※=1.0 可児市広見※=0.9 恵那市山岡町※=0.8 下呂市馬瀬※=0.8 御嵩町御嵩※=0.7 郡上市八幡町旭※=0.7 土岐市肥田※=0.7 郡上市八幡町島谷=0.6 恵那市長島小学校※=0.6 中津川市かやの木町=0.6 中津川市本町※=0.5 中津川市小栗山※=0.5 白川町黒川=0.5 美濃加茂市西町※=0.5 恵那市明智町※=0.5 岐阜市加納二之丸=0.5 岐阜市京町※=0.5 恵那市上矢作町※=0.5 長野県 2 木曽町日義※=1.7 1 泰阜村役場※=1.1 王滝村役場※=1.1 上松町役場※=1.0 木曽町新開※=0.9 王滝村鈴ヶ沢※=0.8 木曽町開田高原西野※=0.7 木曽町三岳※=0.5 静岡県 1 浜松天竜区佐久間町※=0.7 愛知県 1 新城市作手高里松風呂※=1.1 豊根村富山※=0.8 新城市作手清岳=0.7 豊田市小原町※=0.6 豊田市足助町※=0.5 あま市木田※=0.5				
145	30 20 36	福島県会津 福島県	37° 02.7' N	139° 20.4' E	7km	M: 2.2
		2 檜枝岐村上河原※=1.6				
146	30 21 21	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 32.0' N	140° 58.5' E	34km	M: 3.8
		1 神栖市波崎※=0.9 1 銚子市若宮町※=1.1 銚子市小畑新町=0.9 旭市高生※=0.9 旭市萩園※=0.8 銚子市川口町=0.7 旭市二※=0.7 香取市仁良※=0.7				
147 (注)	30 23 48 30 23 48	トカラ列島近海 トカラ列島近海 鹿児島県	29° 55.2' N 29° 54.9' N	130° 01.8' E 130° 01.5' E	10km 13km	M: 2.5 M: 2.3
		1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.0				

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
〈令和4年（2022年）5月～令和5年（2023年）4月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和4年（2022年）											
5月	97	31	17	3	1					149	22日 茨城県沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （5月中：震度3：3回、震度2：1回、震度1：11回、能登半島沖で発生した地震1回を含む） 福島県沖の地震活動 （5月中：震度3：1回、震度2：6回、震度1：11回、宮城県沖で発生した地震2回を含む） 京都府南部の地震活動 （5月中：震度4：1回、震度2：1回、震度1：5回）
6月	121	44	13	3	1	1	1			184	19日 石川県能登地方（震度6弱） （6月中：震度6弱：1回、震度5強：1回、震度4：1回、震度3：3回、震度2：9回、震度1：30回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 26日 熊本県熊本地方（震度5弱） 福島県沖の地震活動 （6月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：13回、宮城県沖で発生した地震5回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （6月中：震度2：4回、震度1：8回） 京都府南部の地震活動 （6月中：震度2：1回）
7月	89	35	9	2						135	石川県能登地方の地震活動 （7月中：震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） 福島県沖の地震活動 （7月中：震度2：3回、震度1：4回、宮城県沖で発生した地震4回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （7月中：震度2：4回、震度1：1回）
8月	106	30	14	5	1	1				157	11日00時35分 上川地方北部（震度5弱） 11日00時53分 上川地方北部（震度5強） （8月中：震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：4回、震度1：17回） 石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 福島県沖の地震活動 （8月中：震度4：2回、震度2：1回、震度1：3回、宮城県沖で発生した地震1回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （8月中：震度1：1回）
9月	102	35	13	2						152	石川県能登地方の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） トカラ列島近海（平島・諏訪之瀬島付近）の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：13回）
10月	96	29	12		2					139	2日 大隅半島東方沖（震度5弱） 21日 福島県沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度1：10回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）の地震活動 （10月中：震度3：4回、震度2：2回、震度1：5回）
11月	104	23	17	2			1			147	9日 茨城県南部（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：18回、富山湾で発生した地震7回、能登半島沖で発生した地震3回を含む）
12月	89	38	11	3						141	石川県能登地方の地震活動 （12月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：9回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
令和5年（2023年）											
1月	91	29	9	2						131	石川県能登地方の地震活動 （1月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
2月	63	24	11		1					99	25日 釧路沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （2月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：5回、能登半島沖で発生した地震を1回含む）
3月	70	30	8	4						112	石川県能登地方の地震活動 （3月中：震度3：3回、震度2：1回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震を3回含む）
4月	90	43	12	2						147	石川県能登地方の地震活動 （4月中：震度3：1回、震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震3回を含む） 父島近海の地震活動 （4月中：震度4：1回、震度3：2回、震度2：2回、震度1：15回）
2023年計	314	126	40	8	1	0	0	0	0	489	
過去1年計	1118	391	146	28	6	3	1	0	0	1693	（令和4年5月～令和5年4月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈令和4年（2022年）5月～令和5年（2023年）4月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和4年（2022年）								
5月	459	76	18	3		556	97	9日 与那国島近海（M6.6） 22日 茨城県沖（M6.0） 23日 八丈島東方沖（M6.1）
6月	441	96	12	2		551	110	20日 台湾付近（M6.4） 21日 父島近海（M6.1）
7月	383	71	12			466	83	
8月	449	107	28	1		585	136	7日 北海道東方沖（M6.0）
9月	467	104	18	3	1	593	126	17日22時41分 台湾付近（M6.6） 17日23時45分 台湾付近（M6.0） 18日15時44分 台湾付近（M7.3） 18日17時09分 沖縄本島北西沖（M6.0）
10月	382	74	12			468	86	
11月	334	85	12	1		432	98	14日 三重県南東沖（M6.4）
12月	350	67	9	1		427	77	13日 奄美大島近海（M6.0）
令和5年（2023年）								
1月	333	60	12			405	72	
2月	306	62	6	1		375	69	25日 釧路沖（M6.0）
3月	326	81	7	1		415	89	28日 青森県東方沖（M6.2）
4月	331	60	7			398	67	
2023年計	1296	263	32	2	0	1593	297	
過去1年計	4561	943	153	13	1	5671	1110	（令和4年5月～令和5年4月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和5年4月に長周期地震動階級※1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和5年4月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0									2

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動 階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動 階級1	室内にいたほとんどの 人が揺れを感じる。驚 く人もいる。	ブラインドなど吊り下げ ものの大きく揺れる。	—
	長周期地震動 階級2	室内で大きな揺れを感じ、 物につかまりたいと感じる。 物につかまらな いと歩くことが難 しいなど、行動に支障 を感じる。	キャスター付き什器がわ ずかに動く。棚にある食 器類、書棚の本が落ちる ことがある。	—
	長周期地震動 階級3	立っていることが困難 になる。	キャスター付き什器が大 きく動く。固定していな い家具が移動することが あり、不安定なものは倒 れることがある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が入るこ とがある。
	長周期地震動 階級4	立っていることができ ず、はわないと動くこ とができない。揺れに ほんろうされる。	キャスター付き什器が大 きく動き、転倒するもの がある。固定していない 家具の大半が移動し、倒 れるものもある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が多くな る。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和4年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202212/202212furoku_10.pdf

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和5年4月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は70回であった。

平成19年10月～令和5年4月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)									2(230)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。